科目名（英）	ミュージックセオリーⅠ （ Music TheoryⅠ ）	選択必修	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科・コース	全学科	授業形態	講義	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】

譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。

※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラッシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当

【到達目標】

プロミュージシャンや声優、俳優には移調や楽曲制作、演奏に必要な基礎知識、裏方には照明や台本に照らし合わせてタイミングや間の取り方を、そして音楽の基礎知識をあまり必要としない学科の学生にも、学び方や、考え方の多面性を育てることが目標。

授業計画・内容	
1回目	＜楽譜の歴史＞ ファンデーションカリキュラムの説明、楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への移り変わりを知る
2回目	＜音名＞ 鍵盤と音名の一致 楽器ごとの音域を知る
3回目	＜音符、休符＞ 音符、休符の表し方
4回目	＜拍子記号＞ 小節線について、単純拍子、複合拍子は紹介のみ、タイ、シンコペーション
5回目	＜反復記号＞ 反復記号を学び、音源を使用して楽譜を終えるようにする
6回目	＜スコアリーディング＞ 楽譜と音源を使用し、前半の総復習
7回目	＜確認テスト＞確認テスト
8回目	＜メジャースケール＞ メジャースケールの仕組み、♯系のメジャースケールの仕組み
9回目	＜メジャースケール＞ 5度圏、♭系のメジャースケールの仕組み
10回目	＜記譜法、臨時記号＞ 調号を臨時記号の違い、臨時記号の効力、正しい楽譜の書き方
11回目	＜テンポ、強弱記号＞ 速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12回目	＜スコアリーディング＞ 楽譜と音源を使用し、後半の総復習
13回目	＜期末テスト＞ 期末テスト
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	宿題はほぼありませんが。毎回プリントを提出して頂きます。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生へのメッセージ	基礎ですので面白くはないかもしれませんが、楽しく学べるよう準備しています。よろしくお願いいたします。

【使用教科書・教材・参考書】

Ipad教科書、ワークブック

科目名（英）	ミュージックセオリーⅡ （ Music TheoryⅡ ）	選択必修	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	全学科					曜日・時限	

【授業の学習内容】

譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。

※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラッシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当

【到達目標】

コード理論を学ぶにあたって、楽曲分析や作曲など創作に必要な知識を得る。

授業計画・内容	
1回目	＜マイナースケール＞　マイナースケールの仕組み、5度圏を用いてナチュラルマイナーの説明
2回目	＜マイナースケール＞　ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの説明
3回目	＜近親調＞　各調の関係を楽譜を用いて知る
4回目	＜移調＞　5線を用いて移調をできるようになる
5回目	＜奏法＞　省略記号、奏法記号、装飾記号を知る
6回目	確認テスト
7回目	＜トライアド＞　コードの概念とトライアドの構造について知る
8回目	＜7thコード＞　トライアドの知識を踏まえ7thコードに発展させる
9回目	＜dim7と7thコードの復習＞トライアドと7thコードの響きの違いを曲を用いて知る。dimコードの構造と響き
10回目	＜その他のコード＞　add9,sus4,6thコードについて知る
11回目	期末予備テスト
12回目	期末テスト
13回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	コードについてのプリントで宿題がでます。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生へのメッセージ	コードについて学ぶことは全ての演奏者にとって大切なことです。頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

Ipad教科書、ワークブック

科目名（英）	音楽理論 Ⅲ （ Music Theory ）	選択必修	必修選択	年次	2	担当教員	宗正恭平
学科・コース	プロミュージシャン科（ヴォーカル）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日4限目

【授業の学習内容】

・楽譜に書いてあるリズム、及びメロディを読む能力を身に付ける。
・バンドメンバーに配布できる楽譜(コード譜)を書く能力を身に付ける。
・楽曲のアレンジ(サイズチェンジ・キーチェンジ)の能力・理論を身に付ける。

【到達目標】

・ある程度の楽譜(リズム譜)を初見で読める。
・自分の好きな曲の楽譜(コード譜)が書ける。
・コード、コード進行などの音楽理論の知識が身に付く。
・楽譜を通して楽器陣との円滑なコミュニケーションをとることができる。

授業計画・内容	
1回目	読譜(コード譜、リズム譜)
2回目	採譜①(リピート記号、リズム)
3回目	採譜②(コードチェンジ、リズム)
4回目	採譜③(1コーラス)
5回目	コード譜のキーチェンジ①
6回目	コード譜のキーチェンジ②
7回目	課題曲コード譜作成①1コーラス
8回目	課題曲コード譜作成②1コーラス
9回目	課題曲コード譜作成③1コーラス
10回目	コード譜のサイズチェンジ
11回目	課題曲コード譜作成④1コーラス
12回目	前期復習
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	・一年次で習った音楽理論の内容を復習する ・授業でもらった資料をもとに、継続的に復習する
評価方法	・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生へのメッセージ	バンドのフロントマンという立場で、楽譜を読める・書けるという能力は非常に大切です。 楽譜への苦手意識を克服し、ミュージシャン同士の円滑なコミュニケーションができるようこのクラスで成長していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

・筆記用具
・iPad,Mac
・課題テキスト(授業で配布します)
・五線譜

科目名 （英）	音楽理論 Ⅳ （ Music Theory ）	選択 必修	必修選択	年次	2	担当教員	宗正恭平
学科・コース	プロミュージシャン科（ヴォーカル）	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日4限目

【授業の学習内容】

・楽譜に書いてあるリズム、及びメロディを読む能力を身に付ける。
・バンドメンバーに配布できる楽譜(コード譜)を書く能力を身に付ける。
・楽曲のアレンジ(サイズチェンジ・キーチェンジ)の能力・理論を身に付ける。

【到達目標】

・ある程度の楽譜(リズム譜)を初見で読める。
・自分の好きな曲の楽譜(コード譜)が書ける。
・コード、コード進行などの音楽理論の知識が身に付く。
・楽譜を通して楽器陣との円滑なコミュニケーションをとることができる。

授業計画・内容	
1回目	課題曲コード譜作成⑧
2回目	課題曲コード譜作成⑨
3回目	コード理論①
4回目	コードアレンジ①
5回目	コード理論②
6回目	コードアレンジ②
7回目	コード理論③
8回目	コードアレンジ③
9回目	課題曲コード譜作成⑩
10回目	課題曲コード譜作成⑪
11回目	課題曲コード譜作成⑫
12回目	課題曲コード譜作成⑬
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	・一年次で習った音楽理論の内容を復習する ・授業でもらった資料をもとに、継続的に復習する
評価方法	・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生への メッセージ	バンドのフロントマンという立場で、楽譜を読める・書けるという能力は非常に大切です。 楽譜への苦手意識を克服し、ミュージシャン同士の円滑なコミュニケーションができるようこのクラスで成長していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

・筆記用具
・iPad,Mac
・課題テキスト(授業で配布します)
・五線譜

科目名（英）	イヤートレーニングⅠ（Ear Training Ⅰ）	選択必修	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科・コース	プロミュージシャン科・商業音楽科・音楽プロデュース科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】

譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。

※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラッシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当

【到達目標】

音程1～8度、音程のまとめ、メジャーとマイナーの聞きわけ。四分音符から16分音符まで。

授業計画・内容	
1回目	＜音名＞ リズ゛ムは四分音符と四分休符、2線紙を使って音の高低を判定。
2回目	＜音符、休符＞ 5線紙を使っての書きとり、八分音符が入ったリズ゛ム打ち、3線紙を使って音の高低判定。
3回目	＜拍子記号＞ リズ゛ム八分休符の書きとり、5線紙を使ってC～Eの書きとり、全音、半音と度数のみ
4回目	＜反復記号＞ リズ゛ム復習、休符の多い書きとり問題、音程は1,2,3,8のみ
5回目	＜スコアリーディング＞ リズ゛ム復習、16分音符の導入、メロディー暗記問題、音程1，2，3，8度のみ、変化記号がついた場合。
6回目	＜中間テスト＞
7回目	＜メジャースケール＃系＞ リズ゛ム復習、16分音符、書きとり、メロディーは跳躍進行、八分音符の導入、新曲視唱、音程は1～5，8 トライトーン
8回目	＜メジャースケール♭系＞ リズ゛ム八分休符、八分音符の導入、メロディーはC～Fまでの順次進行、音程は1～5，8 トライトーン②
9回目	＜記譜法、臨時記号＞ リズ゛ム8分と16分の組み合わせの導入、メロディーC～Gまでの順次進行、音程1～6と8度
10回目	＜テンポ、強弱記号＞ リズ゛ム16分と8分の組み合わせの導入、メロディーC～Gまでの跳躍進行、音程1～8度
11回目	＜スコアリーディング＞ リズ゛ム総復習、メロディー総復習、音程1～8度
12回目	＜予備テスト＞
13回目	＜期末テスト＞
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習時間外学習	宿題はありませんが、進行に差し支える学生には復習プリントを用意しています。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生へのメッセージ	歌う事によって、体で音を感じていきましょう！！

【使用教科書・教材・参考書】

プリント

科目名 （英）	イヤートレーニングⅡ （　Ear TrainingⅡ　）	選択 必修	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
		授業 形態	講義 演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・商業音楽科・音楽プロデュース科					曜日・時限	

【授業の学習内容】

譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。

※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラッシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当

【到達目標】

コードを聞きとる力、メロディを書きとる力を養い、実践に生かすこと。

授業計画・内容	
1回目	＜マイナースケール＞　リズ゛ム総復習、マイナーメロディの視唱、音程ドリル、メジャー、マイナーの聞きわけ
2回目	＜マイナースケール＞　リズ゛ム、3連譜の導入、メロディ復習C～Gまで、Cマイナースケールのメロディ視唱、コードC,F,Gの聞きわけ
3回目	＜近親調＞　リズ゛ムC,F,Gコード付け導入、後付け、メロディC～Aまでの臨時記号後付け、マイナースケールのメロディ視唱、音程ドリル
4回目	＜移調＞リズ゛ム　16分8分16分の導入、メロディC～Aまで臨時記号後付け、音程ドリル復習
5回目	＜奏法＞　リズ゛ム符点8分16分の導入、タイの導入、後付け、メロディC～Bまで臨時記号後付け、音程ドリル復習
6回目	＜中間テスト＞
7回目	＜コード＞　リズ゛ム復習、メロディ低音部の書きとり、音程ドリル復習メジャーマイナーの聞きわけ
8回目	＜コード4和音＞　リズ゛ム8分の6拍子、8分16分16分の導入、低音部の書きとり、音程ドリル復習
9回目	<Dim7と7thコード復習＞　リズ゛ム16分休符の導入、8分の6拍子、16、16、8分の導入、2声メロディ聞きとり
10回目	＜その他のコード＞　復習リズ゛ム打ち8分の6拍子、3連譜の導入、2声メロディ、音程ドリル復習
11回目	＜期末テスト予備＞
12回目	＜期末テスト＞
13回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外 学習	特にはなし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	慣れるとどんどんできてきます、お楽しみに！

【使用教科書・教材・参考書】

プリント

科目名（英）	イヤートレーニング Ⅲ (Ear Training Ⅲ)	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	池田祥子
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/シンガーソングライター					曜日・時限	火曜日3限目

【授業の学習内容】

ソルフェージュの授業を通して習得するスキルは、今後長く音楽と関わっていくにあたり、必ず役に立つものばかりです。
内容はリズム・音程・コードなど、多方面から着実にスキルアップできるように組み立てており、本授業終了時にはバランスの取れたスキルが身に付きます。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

リズム・メロディー・ピッチ・音感・ハーモニー・コード・採譜・読譜など、様々な角度から「音楽」を知り学ぶことで、体系的に音楽を聴き、実践出来るようになります。　具体的には①相対音感が身に付きます②譜面の初見対応が出来るようになります③歌唱時のピッチやリズムが良くなります。

授業計画・内容	
1回目	理解度チェック（クラス分け）／自己の課題を知り、前期の目標を決めよう！
2回目	8分音符のシンコペーションを学ぼう！（シンコペーションや8分音符・16分音符が使われた譜面に慣れていこう）
3回目	リズムデュエットにチャレンジ！（二人一組でセッション→発表）／ソルファエクササイズ（DoReMi言葉のみの譜面を歌ってみよう）
4回目	Gメジャーをマスターしよう！（Transposeして歌えるようになろう）
5回目	Gメジャーのメロディーデュエットをしてみよう！（二人一組で歌唱練習→発表）
6回目	4・5週目のスキルを使って、Gメジャーで作曲し譜面を書いてみよう！（ラストは指揮をしながら一人ずつ歌唱発表）
7回目	音感トレーニングをしてみよう！（メジャーセカンドとマイナーセカンドの音幅の違いを体感しよう）／4種のダイアトニックテトラコードを学ぼう！
8回目	16分音符と8分音符が組み合わさったリズムパターンを習得しよう！
9回目	リズムトリオセッションにチャレンジ！（8週目のスキルを活かし3人一組でリズムセッションをしてみよう→発表）
10回目	ソルファエクササイズ（DoReMi言葉のみの譜面を正確なピッチで歌えるようになろう）
11回目	理解度チェック（前期に出来るようになったことを確認し、後期の目標を設定しよう）
12回目	先週のフィードバック／JPOP曲を二人一組で読譜しハモって歌ってみよう！
13回目	前期発表会
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習時間外学習	1週目～12週目までの内容が連動しています。不明点は都度解決し、復習をして次の週に臨んでください。
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	疑問点を残したまま次へ進まず、ぜひ沢山質問してくださいね！一緒に解決し、学んで、音楽スキルや知識を沢山身につけていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

参考文献：　EAR　TRAINING　WORKBOOK、Cheryl Porter Vocal Method

科目名（英）	イヤートレーニング Ⅳ (Ear Training Ⅳ)	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	池田祥子
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/シンガーソングライター					曜日・時限	火曜日3限目

【授業の学習内容】
ソルフェージュの授業を通して習得するスキルは、今後長く音楽と関わっていくにあたり、必ず役に立つものばかりです。
内容はリズム・音程・コードなど、多方面から着実にスキルアップできるように組み立てており、本授業終了時にはバランスの取れたスキルが身に付きます。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】
①自分の声と向き合う習慣を持つ。
②このトレーニングで行う3つのスケールを覚えて、歌うことができる。(5ノート、オクターブ、オクターブ＆ハーフ)
③楽曲練習にボーカライゼイションを取り入れる習慣を持つ。
④ステージ経験をする。

授業計画・内容	
1回目	後期の目標を決めよう！B♭メジャーをマスターしよう！（Transposeして歌えるようになろう）
2回目	B♭メジャーの曲を1曲歌えるようになろう。同時に譜面記号や強弱記号も覚えよう。
3回目	Chorale歌唱にチャレンジ！（３人一組でアカペラ練習→発表）
4回目	音感トレーニングをしてみよう！（メジャー・マイナー・フリジアン・リディアンの音幅の違いを体感しよう）
5回目	16ビートのリズム打ちを出来るようになろう！
6回目	5週目のスキルを活かし、一人で2パートのリズム打ちをやってみよう！（左右手バラバラ）
7回目	リズムトリオセッションにチャレンジ！（5.6週目のスキルを活かし3人一組でリズムセッションをしてみよう→発表）
8回目	ソルファエクササイズ（DoReMi言葉のみの譜面を正確なピッチで歌えるようになろう）
9回目	Dメジャーをマスターしよう！（Transposeして歌えるようになろう）
10回目	Chorale歌唱にチャレンジ！（４人一組でアカペラ練習→発表）
11回目	理解度チェック（後期に出来るようになったことを確認し、卒業後の目標を設定しよう）
12回目	後期発表会
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習時間外学習	1週目～12週目までの内容が連動しています。不明点は都度解決し、復習をして次の週に臨んでください。
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	疑問点を残したまま次へ進まず、ぜひ沢山質問してくださいね！一緒に解決し、学んで、音楽スキルや知識を沢山身につけていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

参考文献： EAR TRAINING WORKBOOK、Cheryl Porter Vocal Method

科目名 （英）	韓国語講座 Ⅰ （ Korean Language ）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松浦彩李
学科・ｺｰｽ	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日1限目

【授業の学習内容】

文字の読み、書き、発音。挨拶をする/ 自己紹介をする。国籍、趣味、職業、好みを尋ねる。家族紹介をする。場所を尋ねる。

(講師プロフィール)
韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。
日本認定心理士の資格を持つ。

【到達目標】

文字を読める書ける。
簡単な挨拶が出来る。
平易な韓国語が理解でき、初歩的な韓国語でコミュニケーションがとれるようになる

授業計画・内容	
1回目	ハングルの仕組みと基本母音字
2回目	子音字（1）平音
3回目	子音字（2）激音、濃音
4回目	合成母音字
5回目	パッチム （一文字パッチム、二文字パッチム）
6回目	日本語のハングル表記、辞書引き方、キーボードの打ち方 、発音上手になるコツ、小テスト（単語の正しい表記、発音通りの表記）
7回目	自己紹介：私は日本人です （～は、～です、～と申します、～といいます）
8回目	趣味は何ですか？（～が、～は、～ですか）語彙 単語
9回目	韓国人ではありません（～でいらしゃいますか、～ではありません）
10回目	今、日本にいます（あります・います/ありません・いません）、こそあど言葉
11回目	週末には普段何をしていますか？ （します、しています、～です、～ですか）
12回目	演劇を見ます（です，ますのかしこまった丁寧語、用言の否定語、動詞の反対語、ハッピーバースデーの歌）
13回目	何料理が好きですか（です，ますの打ち解けた丁寧語）
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	特にありません。
評価方法	■出席率50％ ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50％
受講生への メッセージ	前期の授業ですべての韓国語の文字が読めます。文字が読めるとKPOPももっと楽しめます。。 自分の名前も韓国語で書いて簡単な自己紹介もできます。

【使用教科書・教材・参考書】

楽しく学べる韓国語

科目名 （英）	韓国語講座 Ⅱ （ Korean Language ）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松浦彩李
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	後期 水曜日1限目

【授業の学習内容】
値段を尋ねる（買い物）。予定について話す。道を尋ねる。食事や映画を誘う。希望を述べる。

（講師プロフィール）
韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。
日本認定心理士の資格を持つ。

いつ、どこ、誰が、なぜ、どのように、いくらなどを使って簡単な会話できる。韓国旅行で買い物ができる。
電車に乗ったり、道を尋ねる事が出来る。食堂で好きな食べ物を注文することなど簡単な会話ができる。

授業計画・内容	
1回目	とても素敵でよっかたです　用言の過去形（～した、～かった、だった）形容詞の反対語
2回目	この靴いくらですか？漢数詞いち、に　さん,,,,　けれど～ですね
3回目	夕方6時から10時まであります、固有数詞一つ、二つ、三つ,,,,
4回目	運転できますか　可能、不可能の表現
5回目	食事はされましたか　敬語（現在の尊敬語、～なさる、～される/過去の敬語、～なさった）
6回目	旅行はどこへ行きましょうか　勧誘形、しましょう/ざんざいな言い方/助詞～で、～の方へ
7回目	映画を見たいです　～がしたい/~したがる
8回目	写真を撮ってもいいですか　してもいい/してみる/しないでください禁止
9回目	報告書を作らなければなりません　義務、条件　しなければなりまでん
10回目	コンビニがあるのでそこで尋ねてください　原因、理由　～だから、～ので
11回目	何をなさいますか　～します意志や推測の表現
12回目	冬休みの時何をするつもりですか　～と思います、～のために
13回目	
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業

準備学習 時間外学習	特にありません。
評価方法	■出席率50％ ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50％
受講生への メッセージ	文字は読めるようになったので、楽しく、しっかり基礎を勉強することによって、ますます興味を持つようになると思います。　　　これからは自分で言いたいことを会話文を作ってどんどん会話しましょう。 日本語の語順とほぼ同じなので単語はたくさん覚えましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

楽しく学べる韓国語

科目名（英）	韓国語講座 Ⅲ （ Korean Language ）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	松浦彩李
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト	授業形態	講義	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日2限目

【授業の学習内容】
初対面の人と話す。趣味、家族、職業について話す。手紙やメールを書く。道案内をする。誘ったり、希望を述べる 感想をいう。

(講師プロフィール)
韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。
日本認定心理士の資格を持つ。

【到達目標】
自己紹介と他人の紹介ができる。交通手段を尋ねる事ができる。手紙やメールを書ける。誘ったり、希望を述べたり、 感想をいう事ができる。

授業計画・内容	
1回目	お名前は何とおっしゃいますか （インタビューする）会話 単語 表現
2回目	打ち解けた敬語 ～でいらっしゃいますか/条件、仮定 ～たら /意図、計画 ～しようと思います①練習問題 日本語を韓国語に訳する
3回目	朝子といいますが、日本から来ました （自己紹介）会話 単語 表現
4回目	説明、紹介 ～なので/ 以来、期間～してから/動作の順序～した後で、～する前に 1） メールを読む
5回目	魚は焼かないでください（決まりを言う）会話 単語 表現
6回目	義務～しなければなりません 2)メールを読む ② 練習問題 日本語を韓国語に訳する
7回目	丁寧な命令、許可、禁止～ください/～でもいいですか/～してはいけません
8回目	ファンの集いに行くことになりました（約束をする）会話 単語 表現
9回目	形容詞の連体形～な、～い/理由～で、～なので/決心～することにしました ③ 練習問題 日本語を韓国語に訳する
10回目	道を渡って左にずっと行ってください（道案内をする）会話 単語 表現
11回目	位置を表す語 前、後、左、右/ 手段～で/動作の順序～してから 3)メールを書く
12回目	ファンの集いに行ってみたんですけど…（感想を言う）会話 単語 表現
13回目	動作、存在しの現在連体形 ～している、～する～/試行、経験 ～してみました
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	特にありません。
評価方法	■出席率50％ ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50％
受講生へのメッセージ	日常会話が少しずつ言えるようになります。 KPOPの歌詞も少しずつ訳することができます。

【使用教科書・教材・参考書】

楽しく学べる韓国語

科目名 （英）	韓国語講座 Ⅳ （ Korean Language ）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松浦彩李
		授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト					曜日・時限	水曜日2限目

【授業の学習内容】

一日の日課を話す。敬語で丁寧に依頼する。体の具合を言う。人の趣向や性格を言う。間接話法で伝える。

(講師プロフィール）
韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。
日本認定心理士の資格を持つ。

【到達目標】

最近のマイブームや経験したことを話すことが出来る。敬語を使ってより丁寧な依頼をすることができる。
体の具合を説明できる。間接話法で伝えることができる。

授業計画・内容	
1回目	「朝子さんの一日」 読解 読んで韓国語で質問したり、答えましょう
2回目	「少し安くしてください」店での買い物 依頼
3回目	～してみてください（勧誘/アドバイス）/～してくださいますか（より丁寧な依頼）
4回目	「私の気持ちですから受け取ってください」（プレゼントする） ～だから（理由）
5回目	～ですね（感嘆）/～そうです、～だろうと思います（推測）
6回目	「咳がひどくて眠れませんでした」（体の具合をいう）
7回目	～出来ない（不可能）/～時、するとき（時間、場合）
8回目	「字幕を見ながら勉強しています」（勉強の仕方を話す）
9回目	～する方です（傾向）/～しながら（同時、並行動作）/～するのが（事柄）
10回目	「今日は来られないそうです」（話を伝える、間接話法）
11回目	～だそうです、～だったそうです（間接話法過去）
12回目	久しぶりに来てみて、どうですか（思い出を話す）
13回目	
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	特にありません。
評価方法	■出席率50％ ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50％
受講生への メッセージ	日常会話が出来て、 一人で韓国に行った場合でも基本的な事柄に対応が出来るようになります。

【使用教科書・教材・参考書】

ちょこっとチャレンジ！韓国語

科目名 （英）	デジタルテクノロジー基礎 Ⅰ （ Digital Technology Fundamentals Ⅰ ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	古谷望・吉田菜々
		授業 形態	講義 演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・シンガーソングライター					曜日・時限	木曜日4限目

【授業の学習内容】

画像編集・動画編集・その他資料作成ソフトの基礎的な使い方の学習

〈講師プロフィール〉

福岡スクールオブミュージック専門学校 総合音楽研究科卒業。在学中には全国ハモネプ選手権に福岡代表としてTV出演。卒業後、ゴスペルグループに所属し、九州各地の様々なイベントに出演。アーティストのバックコーラスやワークショップ開催など多岐に渡り、活動を経験。近年では、若手アーティストの育成やJ:COM大分ケーブルテレコムのCMソングに参加、また自身の楽曲リリースなど幅広く活動中。

【到達目標】

Pages・Youtube・GarageBand・Canvaを使えるようになる。
今までPCやiPadに触れてこなかった子達も、慣れていき、抵抗をなくす。
これからのデジタル化において、必要性を理解してもらう。

授業計画・内容	
1回目	資料作成①Keynoteを使用→基本操作・簡単な自己紹介制作→発表会
2回目	資料作成②オーディション用プロフィール作成
3回目	Youtube①Youtubeチャンネルを作る！(Youtube Studioの使い方・動画アップ方法)
4回目	Youtube②アイコン・ホーム画像の設定→アイコン・ホーム画像の制作→設定する
5回目	画像制作①プレビュー・Pagesを使用→既存のポスター等を真似て画像制作(写真切り抜き・色調補正)
6回目	画像制作②プレビュー・Pagesを使用→オリジナルで制作(各SNSアスペクト比等)
7回目	GarageBand①音源編集
8回目	Canva①基本操作　 便利なサイト紹介
9回目	Canva②ロゴ作り・名刺作り
10回目	Canva③写真加工・動画加工
11回目	Canva④ポスター作り
12回目	Canva⑤(①～④)を駆使して、プレゼンテーション制作(自己紹介)
13回目	Canva⑥制作発表
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	みんながどんどんチャレンジして、アーティストとしての活動の幅を広げられるように、サポートします！

【使用教科書・教材・参考書】

Macbook・iPad

科目名（英）	デジタルテクノロジー基礎 Ⅱ （ Digital Technology Fundamentals Ⅱ ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	古谷望・吉田菜々
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・シンガーソングライター					曜日・時限	木曜日4限目

【授業の学習内容】
作品作りを一から始めて、演者側だけでなくスタッフ側も体験をする。

〈講師プロフィール〉
福岡スクールオブミュージック専門学校 総合音楽研究科卒業。在学中には全国ハモネプ選手権に福岡代表としてTV出演。卒業後、ゴスペルグループに所属し、九州各地の様々なイベントに出演。アーティストのバックコーラスやワークショップ開催など多岐に渡り、活動を経験。近年では、若手アーティストの育成やJ:COM大分ケーブルテレコムのCMソングに参加、また自身の楽曲リリースなど幅広く活動中。

【到達目標】
今まで学んできたことを活かし、一から作品作りをすることで、2年生になった時や将来の作品制作の時に注意すべき点や工夫していくべき点を知る。ロオーディションやSNSでの発信の際、自己プロデュースができるようになってもらう。

授業計画・内容	
1回目	動画制作の準備・iMovieでの動画編集①基本操作の習得→練習用動画を使用し、メディアの追加・カット・文字入れ・色調補正等を行う
2回目	iMovieでの動画編集②3人１ペアで動画作成(どんな動画にするか・作業分担)
3回目	iMovieでの動画編集③撮影・制作
4回目	iMovieでの動画編集④撮影・制作
5回目	iMovieでの動画編集⑤撮影・制作
6回目	歌唱動画制作①クラス2チーム(役割分担)
7回目	歌唱動画制作②準備・撮影・制作
8回目	歌唱動画制作③準備・撮影・制作
9回目	歌唱動画制作④準備・撮影・制作
10回目	歌唱動画制作⑤完成させる
11回目	作品発表会
12回目	～今までの作品振り返り～
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	自分の活動の場を、自分で作っていって、どんどん発信していって欲しいです！

【使用教科書・教材・参考書】

Macbook・iPad

科目名（英）	キャリア教育 （ Career Education ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	田原　佑一朗
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科（ヴォーカル）					曜日・時限	木曜日3限目

【授業の学習内容】
MUSICAL業界、LDHやK-POP業界、または俳優業界へのヴォーカルトレーニング、ゴスペルのプロジェクトや教育を軸に活動するヴォーカル集団、THE SOULMATICSのメンバーが教員を務める。実学教育、国際教育、人間教育の人間教育の機能を育成する授業であり、現役でアーティストとして活動する教員が、音楽のワークショップ、コミュニケーションワーク、デザイン思考を用いてコンストラクティブに学ぶ環境をデザイン。

【到達目標】
人との比較を克服する方法を学び、自身の課題と向き合うことの重要さを理解すること。
実践は難しくても、理論的な面を説明することができるようになること。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、名前を覚えるワークから、夢を共有するアクティビティを行う。
2回目	Zone of Potemtial confidenceの理論に基づいてZPCボードを作成する。
3回目	だまし絵使用。パラダイムと原則について学び、思考の枠組みをワークを通して学ぶ。
4回目	選択理論を用いて、物事への意味付けを学ぶ。
5回目	魔法の質問を用いて、1年後、3年後、5年後のビジョンを描く。
6回目	ゴールを明確にし、ミッションステートメントを作成する。
7回目	4つの領域を学び、レバレッジ時間術参考に時間割をつくる。
8回目	自信の作り方ワークショップ。自己信頼残高の概念の理解。
9回目	勇気ゾーンと快適ゾーンを分別し、優先事項を認識する。
10回目	学びをデザインする概念について学び、LEGOブロックを用いてスケジュールをデザインする
11回目	エイミーカーディの講義の鑑賞から、ボディランゲージの効能を学ぶ。
12回目	LEGOブロックを用いて前期の振り返りシェアを行い、未来への決意表明をする。
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	グループでの作品、プレゼンの作成、準備。
評価方法	出席率50% ワーク時の参加率や姿勢30% 積極的な活動の有無（発言だけではなく） 20%
受講生へのメッセージ	前期は、自分自身の土台を作っていきます。可能性を信じて共に進みましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

7つの習慣・ビジネス選択理論能力検定テキスト・一生折れない自信の作り方
NVC 人と人との関係にいのちを吹き込む法・ソーシャルスタイル仕事術
※購入は必須ではありません。

科目名 （英）	キャリア教育 （ Career Education ）	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	田原　佑一朗
学科・コース	プロミュージシャン科（ヴォーカル）	授業 形態	講義 演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	後期 木曜日3限目

【授業の学習内容】
MUSICAL業界、LDHやK-POP業界、または俳優業界へのヴォーカルトレーニング、ゴスペルのプロジェクトや教育を軸に活動するヴォーカル集団、THE SOULMATICSのメンバーが教員を務める。実学教育、国際教育、人間教育の人間教育の機能を育成する授業であり、現役でアーティストとして活動する教員が、音楽のワークショップ、コミュニケーションワーク、デザイン思考を用いてコンストラクティブに学ぶ環境をデザイン。

【到達目標】
健康で思慮深く、思いやりがあり、他者と関わり協力し、創造的で、自分の能力を存分に発揮する責任感あふれる人材となる。
夢を描き、計画を立て、実効に向かうマインドセットをできるようになる。
コミュニケーション、学習環境のデザインを音楽と共に学び、常にテーマをもってすべての行動をデザインする習慣とその方法を学ぶ。

授業計画・内容	
1回目	公的成功の概念について学ぶ。他者の自分の関係について。WINWINについて。
2回目	似顔絵ワーク、LEGO高積みワーク。
3回目	NVCを通して、先ず相手を理解して、自分が理解されることを学ぶ。
4回目	ソーシャルスタイルを理解し、他者との違いについて知る。
5回目	ブレインストーミングを通して、協力することで得られる成果について知り、体感する。
6回目	6Hat思考法を使い、アイデアを様々な視点から見てみて体感をシェアする。
7回目	ディベートを通して、論理的思考について知る。
8回目	Active book dialogueを用いて他者と協力して読書に取り組む。
9回目	自分磨きについて学び、デザインする（身体・知性）
10回目	自分磨きについて学び、デザインする（感情・精神）
11回目	パズルを用いてワークを行う。
12回目	ZPC Message board創作
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外 学習	グループでの作品、プレゼンの作成、準備。
評価方法	出席率50% ワーク時の参加率や姿勢30% 積極的な活動の有無（発言だけではなく） 20%
受講生への メッセージ	後期は、他者との関わりを通して可能性を広げていきます。それぞれのベストを尽くしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

7つの習慣・ビジネス選択理論能力検定テキスト・一生折れない自信の作り方
NVC 人と人との関係にいのちを吹き込む法・ソーシャルスタイル仕事術
※購入は必須ではありません。

科目名（英）	キャリア教育 （ Career Education ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	田原　佑一朗
		授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科（ヴォーカル）					曜日・時限	木曜日2限目

【授業の学習内容】
MUSICAL業界、LDHやK-POP業界、または俳優業界へのヴォーカルトレーニング、ゴスペルのプロジェクトや教育を軸に活動するヴォーカル集団、THE SOULMATICSのメンバーが教員を務める。実学教育、国際教育、人間教育の人間教育の機能を育成する授業であり、現役でアーティストとして活動する教員が、音楽のワークショップ、コミュニケーションワーク、デザイン思考を用いてコンストラクティブに学ぶ環境をデザイン。

【到達目標】
健康で思慮深く、思いやりがあり、他者と関わり協力し、創造的で、自分の能力を存分に発揮する責任感あふれる人材となる。

そして、夢を描き、計画を立て、実効に向かうマインドセットをできるようになる。

授業計画・内容	
1回目	理想のアーティスト像、理想と反するアーティスト像を思い描き考えを共有。マンダラート作成。
2回目	ブレンストーミングによりStrong and Weeknessを知る。
3回目	パタンランゲージという手法を音楽とMIXして導入し、コラボレーションについて考える。
4回目	夢を語り、他者の夢を知り、Dream Magazineという手法を用いて他者の将来像をデザインする。
5回目	Story making 、1年間の地図を作製する。シェアにより思考を深める。
6回目	Story telling、他者のこれまでのストーリーを知り、語る。
7回目	音楽を用いた芸能祭を実施、グループでアイデア出しを行う。
8回目	芸能祭実施。
9回目	ヴォーカルの基礎、7つの要素を振り返る。
10回目	姿勢・呼吸チーム、目・耳チームによるプレ授業実施。
11回目	共鳴・声帯チーム、心チームによるプレ授業実施。
12回目	洋楽チームによるプレ授業。 前期の振り返り。
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習時間外学習	グループでの作品、プレゼンの作成、準備。
評価方法	出席率50% ワーク時の参加率や姿勢30% 積極的な活動の有無（発言だけではなく） 20%
受講生へのメッセージ	学びは自分でデザインできます。可能性を広げましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 （英）	キャリア教育 （Career Education）	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	田原　佑一朗
学科・コース	プロミュージシャン科（ヴォーカル）	授業 形態	講義 演習	総時間 （単位）	30 （2）	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日2限目

【授業の学習内容】

MUSICAL業界、LDHやK-POP業界、または俳優業界へのヴォーカルトレーニング、ゴスペルのプロジェクトや教育を軸に活動するヴォーカル集団、THE SOULMATICSのメンバーが教員を務める。実学教育、国際教育、人間教育の人間教育の機能を育成する授業であり、現役でアーティストとして活動する教員が、音楽のワークショップ、コミュニケーションワーク、デザイン思考を用いてコンストラクティブに学ぶ環境をデザイン。

【到達目標】

健康で思慮深く、思いやりがあり、他者と関わり協力し、創造的で、自分の能力を存分に発揮する責任感あふれる人材となる。

そして、夢を描き、計画を立て、実効に向かうマインドセットをできるようになる。

授業計画・内容	
1回目	学校に貢献できることを話し合い、実行に移して成果を作る為の作戦を立てる。アイデア出し。
2回目	前回からの成果発表
3回目	地域に貢献できることを話し合い、実行に移して成果を作る為の作戦を立てる。アイデア出し。
4回目	前回からの成果発表
5回目	社会で変えたいものは何か？　ブレーンストーミング。
6回目	Active book dialogue（君たちはどう生きるか）
7回目	君たちはどう生きるか　プレゼンテーション
8回目	【僕たちは】どう生きるか　プレゼンテーション
9回目	著書、一生折れない自信の作り方をモチーフに、自信について考える。
10回目	他者と自分の未来について語り合い、未来をデザインする。 Create the future
11回目	他者の未来をプレゼンテーションする。 introduction Peers
12回目	一年間のリフレクション。
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外 学習	グループでの作品、プレゼンの作成、準備。
評価方法	出席率50% ワーク時の参加率や姿勢30% 積極的な活動の有無（発言だけではなく）　20%
受講生への メッセージ	学びは自分でデザインできます。可能性を広げましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

<table>
<tr><td rowspan="2">科目名
（英）</td><td>キャリア教育</td><td>必修
選択</td><td>必修</td><td>年次</td><td>3</td><td>担当教員</td><td>田原　佑一朗</td></tr>
<tr><td>（　　　　Career Education　　　　）</td><td rowspan="2">授業
形態</td><td rowspan="2">講義
演習</td><td rowspan="2">総時間
（単位）</td><td>30</td><td>開講区分</td><td>前期</td></tr>
<tr><td>学科・コース</td><td>プロミュージシャン科（ヴォーカル）</td><td>（　2　）</td><td>曜日・時限</td><td>金曜日1限目</td></tr>
</table>

【授業の学習内容】
MUSICAL業界、LDHやK-POP業界、または俳優業界へのヴォーカルトレーニング、ゴスペルのプロジェクトや教育を軸に活動するヴォーカル集団、THE SOULMATICSのメンバーが教員を務める。実学教育、国際教育、人間教育の人間教育の機能を育成する授業であり、現役でアーティストとして活動する教員が、音楽のワークショップ、コミュニケーションワーク、デザイン思考を用いてコンストラクティブに学ぶ環境をデザイン。

【到達目標】
健康で思慮深く、思いやりがあり、他者と関わり協力し、創造的で、自分の能力を存分に発揮する責任感あふれる人材となる。
夢を描き、計画を立て、実効に向かうマインドセットをできるようになる。
コミュニケーション、学習環境のデザインを音楽と共に学び、常にテーマをもってすべての行動をデザインする習慣とその方法を学ぶ。

授業計画・内容	
1回目	ブレーンストーミングしながら、1年間の地図を描く。
2回目	チームのStrong and Weeknessを探す。
3回目	ワークショップデザインの方法をレクチャー。
4回目	音楽を用いて、ワークショップをデザイン、実施。
5回目	音楽を用いた芸能祭の実施に向けてのアイデアを集める。
6回目	芸能祭実施。
7回目	ワークショップデザイン。
8回目	ワークショップ実施
9回目	コンサート実施に向けてのテーマ、セットリスト考察。
10回目	ワークショップ実施。
11回目	ワークショップ実施。
12回目	コンサート実施(形態未定)
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習時間外学習	グループでの作品、プレゼンの作成、準備。
評価方法	出席率50% ワーク時の参加率や姿勢30% 積極的な活動の有無（発言だけではなく）　20%
受講生へのメッセージ	学びは自分でデザインできます。可能性を広げましょう。 学習環境、ワークショップのデザインは、人生のデザインとコミュニケーションのデザインと同じです。音楽のワークショップを通して、ライフデザインを学んで行きましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	キャリア教育	必修選択	必修	年次	3	担当教員	田原　佑一朗
	（　Career Education　）	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30（　2　）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科（ヴォーカル）					曜日・時限	金曜日1限目

【授業の学習内容】
MUSICAL業界、LDHやK-POP業界、または俳優業界へのヴォーカルトレーニング、ゴスペルのプロジェクトや教育を軸に活動するヴォーカル集団、THE SOULMATICSのメンバーが教員を務める。実学教育、国際教育、人間教育の人間教育の機能を育成する授業であり、現役でアーティストとして活動する教員が、音楽のワークショップ、コミュニケーションワーク、デザイン思考を用いてコンストラクティブに学ぶ環境をデザイン。

【到達目標】
健康で思慮深く、思いやりがあり、他者と関わり協力し、創造的で、自分の能力を存分に発揮する責任感あふれる人材となる。
夢を描き、計画を立て、実効に向かうマインドセットをできるようになる。
コミュニケーション、学習環境のデザインを音楽と共に学び、常にテーマをもってすべての行動をデザインする習慣とその方法を学ぶ。

授業計画・内容	
1回目	社会に貢献できることを考え、アイデアをブレーンストーミングする。
2回目	グループごとに活動内容をプレゼンし、全員で意見を出し合ってブラッシュアップ。
3回目	ブラッシュアップしたものを再プレゼン＆編集。
4回目	グループごとに、社会貢献活動の成果発表。
5回目	社会で変えたいものを考え、アイデアをブレーンストーミングする。アイデアに沿ってコンサートテーマを設定し、セットリストを作成。
6回目	ワークショップ実施。
7回目	ワークショップ実施。
8回目	プレコンサート実施（形態未定）
9回目	自分たちの持つ恐れのをブレーンストーミング。恐れを克服し、自信を与えるようなコンサート創作の為のアイデア出し。
10回目	ワークショップ実施
11回目	ワークショップ実施
12回目	コンサート実施（形態未定）
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	グループでの作品、プレゼンの作成、準備。
評価方法	出席率50% ワーク時の参加率や姿勢30% 積極的な活動の有無（発言だけではなく） 20%
受講生へのメッセージ	学びは自分でデザインできます。可能性を広げましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 （英）	ヴォイストレーニング Ⅰ （　　VoiceTraining Ⅰ　　）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	井戸川誠・田中将貴
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科(ヴォーカル）					曜日・時限	月曜日1限目・2限目

【授業の学習内容】

①Chestレジスター内もしくは少しMiddleレジスターに入るくらいのエリアで歌い、安心と安定を作る。
②それぞれの声の特性を知り、それに則したトレーニングをする。
③Headレジスターをじっくり作っていく。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

①自分の声と向き合う習慣を持つ。
②このトレーニングで行う3つのスケールを覚えて、歌うことができる。（5ノート、オクターブ、オクターブ＆ハーフ）
③楽曲練習にボーカライゼイションを取り入れる習慣を持つ。
④ステージ経験をする。

授業計画・内容	
1回目	【どんな授業？】 言葉を構成する要素には子音と母音があり、歌う際はこれのコンビネーションを使う。このクラスではそれらを分解し、スケール練習に入れることで、歌う下地を作る。自己紹介好きなアーティストを教えてもらうがなぜ好きなのか、どういうところをお手本にしたいのかまで聞く。こちらの到達目標も話し共有する。→トレーニング方法の講義、実演。（Liproll、Mum） 次回1コーラス歌ってみよう。
2回目	自分の好きな曲を歌ってみよう!!これを通してそれぞれの声の特徴を知っていきます。3つのトレーニング用スケールのレクチャー。ピアノで弾けるように。
3回目	始めはオの母音を中心にトレーニングをし、口を縦に開ける基礎を作る。課題曲①を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。ボーカライゼーションも。
4回目	オの母音をまず復習し、アの母音にも応用するように口を開ける。課題曲①をセクションを跨いで歌唱。
5回目	ウの母音をレクチャー＆実演。オとアのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲①を1コーラス歌唱してみよう。
6回目	イの母音をレクチャー＆実演。オとアとウのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲②を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
7回目	エの母音をレクチャー＆実演。オとアとウとイのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲②をセクションを跨いで歌唱。
8回目	全ての基本的な母音の口の開け方と共鳴をリラックスした状態でどこからどこまで歌えるのかを知る。課題曲②を1コーラス歌唱してみよう。
9回目	全ての基本的な母音の口の開け方と共鳴をリラックスした状態でどこからどこまで歌えるのかを知る②。課題曲③を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
10回目	3つのスケールをピアノで弾けるかをチェック。エクササイズ。課題曲③をセクションを跨いで歌唱。
11回目	質疑＆応答。エクササイズ。課題曲③を1コーラス歌唱してみよう。
12回目	課題曲①～③の中から1曲を選曲し、ステージで歌唱する。
13回目	振り返りとトレーニング。
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	スケールの理解の為の反復。エクササイズを体現するための反復。
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	常に今のMyBestを録音しよう!!完璧じゃなくていい。後で聞いたときにきっと過去も今も誇れると思いますよ!!練習をする事で自分の事を知ろう!! 経験を重ねることで成長しますので、その経験を重ねる努力をしていこう。

【使用教科書・教材・参考書】

ipad

科目名 （英）	ヴォイストレーニングⅡ （ VoiceTraining Ⅱ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	井戸川誠・田中将貴
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科(ヴォーカル)					曜日・時限	月曜日1限目・2限目

【授業の学習内容】

①Chestレジスター～Middleレジスターに入り、そのエリアで歌い、安心と安定を作る。
②それぞれの声の特性を知り、それに則したトレーニングをする。
③Headレジスターへの行き来をエクササイズに取り入れる。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

①自分の声と向き合う習慣を持つ。
②このトレーニングで行う3つのスケールをゆっくりでも弾きながら、歌うことができる。（5ノート、オクターブ、オクターブ＆ハーフ）
③楽曲練習にボーカライゼイションを取り入れる習慣を持つ。
④ステージ経験を積み重ねる。

	授業計画・内容
1回目	前期を通して自分の声と向き合ってきて気づいたことをシェアしあってみよう!! 3タイプに分ける。課題曲④を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
2回目	LightChest、PullChest、Flipの3タイプのどれに属するかを診て、エクササイズを処方する。（個人をみるアプローチ） 課題曲④をセクションを跨いで歌唱。
3回目	それぞれのエクササイズへのアプローチを聴きながらアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲④を1コーラス歌唱してみよう。
4回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
5回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤をセクションを跨いで歌唱。
6回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤を1コーラス歌唱してみよう。
7回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
8回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥をセクションを跨いで歌唱。
9回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥を1コーラス歌唱してみよう。
10回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。教室内リハ(曲を選んで歌唱)
11回目	後期の課題曲の中から1曲を選曲し、ステージで歌唱する。
12回目	振り返りとトレーニング。
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	自分に処方されたトレーニングを練習し、向き合う時間と歌の練習。
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	今までのMyBestの積み重ね、聞いてみましたか？時に過去の自分の歌から今の自分へのヒントが見つかることがありますよ。沢山の歌の思い出を作って行ってください。

【使用教科書・教材・参考書】

ipad

科目名 （英）	ヴォイストレーニングⅢ （ Voice training Ⅲ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	柴田峰志・上田彩
学科・コース	プロミュージシャン科(ヴォーカル)	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	前期 月曜日1限目・2限目

【授業の学習内容】

①シンガーとって必要なヴォイストレーニングの基礎知識やノウハウを、実践を交えながら教えていく。また練習経過を丁寧に観察し、細やかなフィードバックや更なる練習法の提示、その後再度経過観察、を繰り返しながら声の基礎作りのサポートをする。 ②発声トレーニング（①）で学んだことを活かし歌唱の中で実践出来るようにレクチャーする。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

声の基礎が固まり、様々な課題曲を自信を持って歌いこなすことが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	【発声】1年生の復習・呼吸・低音・表情筋の強化 【歌唱】共通Bridge over troubled water （Simon＆Garfunkel/LeannRimes）発音・コツ・1番を歌ってみよう
2回目	【発声】呼吸・低音・表情筋の徹底トレーニング 【歌唱】共通Bridge over troubled water （Simon＆Garfunkel/LeannRimes）復習・1曲通して歌ってみよう
3回目	【発声】ソルフェージュ・イーストレッチ・裏声 【歌唱】Bridge over troubled water （Simon＆Garfunkel/LeannRimes）ミニ発表会・1人ずつ前で歌ってみよう
4回目	【発声】呼吸・低音・表情筋・イーストレッチの徹底トレーニング 【歌唱】 男Fly me to the moon （FrankSinatra） 女Top of the world （Carpenters）※以下進行は1曲目同様
5回目	【発声】ソルフェージュ・スタッカート・メミマモム 【歌唱】 男Fly me to the moon （FrankSinatra） 女Top of the world （Carpenters）
6回目	【発声】クラシック発声・ロングトーン 【歌唱】 男Fly me to the moon （FrankSinatra） 女Top of the world （Carpenters）
7回目	【発声】まとめの小テスト 【歌唱】 男Your song （EltonJohn） 女The climb （MileyCyrus）
8回目	【発声】1対1での細かいチェックとフィードバック 【歌唱】 男Your song （EltonJohn） 女The climb （MileyCyrus）
9回目	【発声】前回からの経過チェック 【歌唱】 男Your song （EltonJohn） 女The climb （MileyCyrus）
10回目	【発声】呼吸・低音・表情筋の徹底トレーニング 【歌唱】 男Love me tender （ElvisPresley） 女So far away （CaroleKing）※今回のみ仕上げ2週間です
11回目	【発声】スタッカート・メミマモム・ソルフェージュ・ロングトーン・クラシック発声の徹底トレーニング 【歌唱】 男Love me tender （ElvisPresley） 女So far away （CaroleKing）
12回目	曲決定・勘所のチェック・衣装の打ち合わせ・発表会のリハーサル
13回目	全体発表会（1人1曲・課題曲の中から選曲しステージで歌ってみよう）
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	人前で楽しく自信を持って歌えるように全力でサポートします！いっぱい練習して来てください！

【使用教科書・教材・参考書】

歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器

科目名（英）	ヴォイストレーニングⅣ（Voice training Ⅳ）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	柴田峰志・上田彩
		授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科(ヴォーカル)					曜日・時限	月曜日1限目・2限目

【授業の学習内容】

①シンガーとって必要なヴォイストレーニングの基礎知識やノウハウを、実践を交えながら教えていく。また練習経過を丁寧に観察し、細やかなフィードバックや更なる練習法の提示、その後再度経過観察、を繰り返しながら声の基礎作りのサポートをする。 ②発声トレーニング（①）で学んだことを活かし歌唱の中で実践出来るようにレクチャーする。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

声の基礎が固まり、様々な課題曲を自信を持って歌いこなすことが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	【発声】前期の復習・個々の経過チェック 【歌唱】男She （ElvisCostello） 女Rainydays and mondays （Carpenters）発音・コツ・1番を歌ってみよう
2回目	【発声】呼吸・低音・イーストレッチ強化 【歌唱】男She （ElvisCostello） 女Rainydays and mondays （Carpenters）復習・1曲通して歌ってみよう
3回目	【発声】ソルフェージュ・クラシックボイス・裏声強化 【歌唱】男She （ElvisCostello） 女Rainydays and mondays （Carpenters）ミニ発表会・1人ずつ前で歌ってみよう
4回目	【発声】表情筋・ソルフェージュ・イーストレッチ強化 【歌唱】男Can you feel the love tonight（EltonJohn） 女Milion reasons（LadyGaga）※以下進行は1曲目同様
5回目	【発声】1対1での細かいチェックとフィードバック 【歌唱】男Can you feel the love tonight（EltonJohn） 女Milion reasons（LadyGaga）
6回目	【発声】前回からの経過チェック 【歌唱】男Can you feel the love tonight（EltonJohn） 女Milion reasons（LadyGaga）
7回目	【発声】呼吸・低音・表情筋・ソルフェージュテスト 【歌唱】男Home（MichealBuble） 女Killing me softly（RobertaFlack）
8回目	【発声】スタッカート・メミマモム・クラシックボイステスト 【歌唱】男Home（MichealBuble） 女Killing me softly（RobertaFlack）
9回目	【発声】イーストレッチ・裏声テスト 【歌唱】男Home（MichealBuble） 女Killing me softly（RobertaFlack）
10回目	【発声】1年間のまとめ・質疑応答 【歌唱】男Home（MichealBuble） 女Killing me softly（RobertaFlack） 後期発表会の曲決め
11回目	勘所のチェック・衣装の打ち合わせ・発表会のリハーサル
12回目	全体発表会（1人1曲・課題曲の中から選曲しステージで歌ってみよう）
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	人前で楽しく自信を持って歌えるように全力でサポートします！いっぱい練習して来てください！

【使用教科書・教材・参考書】

歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器

科目名 （英）	ヴォーカルテクニック （ Vocal Technique Ⅰ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	権藤勝
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル					曜日・時限	金曜日1限目

【授業の学習内容】

譜面や図を用いてのリズム、リズムパターンの解説とリズムトラックを用いてグループワークトレーニング
譜面を用いてのさまざまなスケールの解説と歌唱実践、トラックを用いてのグループワークトレーニング
リズムとメロディーを合わせたインプロビゼーションの解説と実践、課題曲や小小節フレーズでのダイナミックスのトレーニング
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

リズム、リズムパターンのバリエーションを理解して歌えるようになろう♪
スケールを歌いこなせるようになろう♪
リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンとシンプルなコード進行の中で歌えるようになろう♪
ダイナミックスをコントロールして歌えるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	さまざまなテクニックを知り、可能性を見つけよう
2回目	リズムとリズムパターンを聴き取れるようになろう
3回目	リズムとリズムパターンを体感して再現できるようになろう
4回目	3種類のスケールを聴き取れるようになろう
5回目	3種類のスケールを歌えるようになろう
6回目	リズムパターンの中でリズムを駆使してスケールを歌えるようになろう
7回目	小テスト
8回目	3和音の聴き取りと機能が理解できるようになろう
9回目	シンプルなコード進行の中でリズムとメロディーを用いて歌ってみよう
10回目	2種類のダイナミックスを聴き取れるようになろう
11回目	2種類のダイナミックスを再現できるようになろう
12回目	リズムとメロディーとダイナミックスを用いてシンプルなコード進行の中で歌ってみよう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派を一緒に目指しましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

譜面
図表
リズム、音源トラック
振り返りシート

<table>
<tr><td>科目名
（英）</td><td>ヴォーカルテクニック
（ Vocal Technique Ⅱ ）</td><td>必修
選択</td><td>必修選択</td><td>年次</td><td>1</td><td>担当教員</td><td>権藤勝</td></tr>
<tr><td>学科・コース</td><td>プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル</td><td>授業
形態</td><td>演習</td><td>総時間
（単位）</td><td>30
（ 2 ）</td><td>開講区分
曜日・時限</td><td>後期
金曜日1限目</td></tr>
</table>

【授業の学習内容】
課題曲や小小節フレーズでの音色のトレーニング、音色とダイナミックスを合わせたインプロビゼーションの解説と実践
和音の機能解説と聴感トレーニング、課題曲を用いての歌詞のアナライズ
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】
音色をコントロールして歌えるようになろう♪
音色とダイナミックスを合わせて音楽的に歌えるようになろう♪
リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンと複雑なコード進行の中で歌えるようになろう♪
歌唱の理解と自由解釈を通して、感情と歌唱表現を一致させて歌えるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	3種類の音色を聴き取れるようになろう
2回目	3種類の音色を再現できるようになろう
3回目	ダイナミックスと音色を聴き取れるようになろう
4回目	ダイナミックスと音色を同時に再現できるようになろう
5回目	自由に歌ってみよう
6回目	小テスト
7回目	複雑な3和音を聴き取れるようになろう
8回目	複雑な3和音の中でリズムとメロディーをコントロールして歌えるようになろう
9回目	歌詞の世界観を味わい深く理解できるようになろう
10回目	歌詞を解釈して自身の感情や歌唱表現と繋ぎ合わせれるようになろう
11回目	自由に表現して歌ってみよう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派を一緒に目指しましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】
譜面
図表
リズム、音源トラック
振り返りシート

科目名（英）	ヴォーカルテクニック （ Vocal Technique Ⅲ ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	権藤勝
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル	授業形態	演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日2限目

【授業の学習内容】

譜面や図を用いてのリズム、リズムパターンの解説とリズムトラックを用いてグループワークトレーニング、譜面を用いてのさまざまなスケールの解説と歌唱実践、
トラックを用いてのグループワークトレーニング、リズムとメロディーを合わせたインプロビゼーションの解説と実践
課題曲や小小節フレーズでのダイナミックスのトレーニング

〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

リズム、リズムパターンのバリエーションを理解して歌えるようになろう♪
スケールを歌いこなせるようになろう♪
リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンとシンプルなコード進行の中で歌えるようになろう♪
ダイナミックスをコントロールして歌えるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	さまざまなテクニックを知り、可能性を広げよう
2回目	リズムとリズムパターン聴き取り、その主なジャンルが理解できるようになろう
3回目	リズムとリズムパターンを体感して再現できるようになろう
4回目	6種類のスケールを聴き取れるようになろう
5回目	6種類のスケールを歌えるようになろう
6回目	リズムパターンの中でリズムを駆使してスケールを歌いこなそう
7回目	小テスト
8回目	4和音の聴き取りと機能が理解できるようになろう
9回目	シンプルなコード進行の中でリズムとメロディーを用いて歌いこなせるようになろう
10回目	4種類のダイナミックスを聴き取れるようになろう
11回目	4種類のダイナミックスを再現できるようになろう
12回目	リズムとメロディーとダイナミックスを用いてシンプルなコード進行の中で歌いこなそう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派を一緒に目指しましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

譜面
図表
リズム、音源トラック
振り返りシート

科目名（英）	ヴォーカルテクニック （ Vocal Technique Ⅳ ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	権藤勝
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル	授業形態	演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	後期 金曜日2限目

【授業の学習内容】

課題曲や小小節フレーズでの音色のトレーニング、音色とダイナミックスを合わせたインプロビゼーションの解説と実践
和音の機能解説と聴感トレーニング、課題曲を用いての歌詞のアナライズ
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

音色をコントロールして歌えるようになろう♪
音色とダイナミックスを合わせて音楽的に歌えるようになろう♪
リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンと複雑なコード進行の中で歌えるようになろう♪
歌唱の理解と自由解釈を通して、感情と歌唱表現を一致させて歌えるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	5種類の音色を聴き取れるようになろう
2回目	5種類の音色を再現できるようになろう
3回目	ダイナミックスと音色を聴き取れるようになろう
4回目	ダイナミックスと音色を同時に再現できるようになろう
5回目	ダイナミックスと音色を自由に歌いこなそう
6回目	小テスト
7回目	複雑な4和音を聴き取れるようになろう
8回目	複雑な4和音の中でリズムとメロディーをコントロールして歌いこなそう
9回目	歌詞の世界観を味わい深く理解できるようになろう
10回目	歌詞を解釈して自身の感情や歌唱表現と繋ぎ合わせれるようになろう
11回目	自由に表現して歌えるようになろう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派を一緒に目指しましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

譜面
図表
リズム、音源トラック
振り返りシート

科目名 （英）	ヴォーカルテクニック （ Vocal Technique Ⅰ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	権藤勝
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト					曜日・時限	木曜日2限目

【授業の学習内容】

譜面や図を用いてのリズム、リズムパターンの解説とリズムトラックを用いてグループワークトレーニング、譜面を用いてのさまざまなスケールの解説と歌唱実践、トラックを用いてのグループワークトレーニング
リズムとメロディーを合わせたインプロビゼーションの解説と実践、課題曲や小小節フレーズでのダイナミックスのトレーニング

〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

リズム、リズムパターンのバリエーションを理解して歌えるようになろう♪
スケールを歌いこなせるようになろう♪
リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンとシンプルなコード進行の中で歌えるようになろう♪
ダイナミックスをコントロールして歌えるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	さまざまなテクニックを知り、可能性を見つけよう
2回目	リズムとリズムパターンを聴き取れるようになろう
3回目	リズムとリズムパターンを体感して再現できるようになろう
4回目	3種類のスケールを聴き取れるようになろう
5回目	3種類のスケールを歌えるようになろう
6回目	リズムパターンの中でリズムを駆使してスケールを歌えるようになろう
7回目	小テスト
8回目	3和音の聴き取りと機能が理解できるようになろう
9回目	シンプルなコード進行の中でリズムとメロディーを用いて歌ってみよう
10回目	2種類のダイナミックスを聴き取れるようになろう
11回目	2種類のダイナミックスを再現できるようになろう
12回目	リズムとメロディーとダイナミックスを用いてシンプルなコード進行の中で歌ってみよう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派を一緒に目指しましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

譜面
図表
リズム、音源トラック
振り返りシート

科目名 （英）	ヴォーカルテクニック （ Vocal Technique Ⅱ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	権藤勝
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト					曜日・時限	木曜日2限目

【授業の学習内容】
課題曲や小小節フレーズでの音色のトレーニング、音色とダイナミックスを合わせたインプロビゼーションの解説と実践
和音の機能解説と聴感トレーニング、課題曲を用いての歌詞のアナライズ
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】
音色をコントロールして歌えるようになろう♪
音色とダイナミックスを合わせて音楽的に歌えるようになろう♪
リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンと複雑なコード進行の中で歌えるようになろう♪
歌唱の理解と自由解釈を通して、感情と歌唱表現を一致させて歌えるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	3種類の音色を聴き取れるようになろう
2回目	3種類の音色を再現できるようになろう
3回目	ダイナミックスと音色を聴き取れるようになろう
4回目	ダイナミックスと音色を同時に再現できるようになろう
5回目	自由に歌ってみよう
6回目	小テスト
7回目	複雑な3和音を聴き取れるようになろう
8回目	複雑な3和音の中でリズムとメロディーをコントロールして歌えるようになろう
9回目	歌詞の世界観を味わい深く理解できるようになろう
10回目	歌詞を解釈して自身の感情や歌唱表現と繋ぎ合わせれるようになろう
11回目	自由に表現して歌ってみよう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派を一緒に目指しましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】
譜面
図表
リズム、音源トラック
振り返りシート

科目名 （英）	ヴォーカルテクニック （ Vocal Technique Ⅲ ）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	権藤勝
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト					曜日・時限	木曜日3限目

【授業の学習内容】

譜面や図を用いてのリズム、リズムパターンの解説とリズムトラックを用いてグループワークトレーニング
譜面を用いてのさまざまなスケールの解説と歌唱実践、トラックを用いてのグループワークトレーニング
リズムとメロディーを合わせたインプロビゼーションの解説と実践
課題曲や小小節フレーズでのダイナミックスのトレーニング
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

リズム、リズムパターンのバリエーションを理解して歌えるようになろう♪
スケールを歌いこなせるようになろう♪
リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンとシンプルなコード進行の中で歌えるようになろう♪
ダイナミックスをコントロールして歌えるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	さまざまなテクニックを知り、可能性を広げよう
2回目	リズムとリズムパターン聴き取り、その主なジャンルが理解できるようになろう
3回目	リズムとリズムパターンを体感して再現できるようになろう
4回目	6種類のスケールを聴き取れるようになろう
5回目	6種類のスケールを歌えるようになろう
6回目	リズムパターンの中でリズムを駆使してスケールを歌いこなそう
7回目	小テスト
8回目	4和音の聴き取りと機能が理解できるようになろう
9回目	シンプルなコード進行の中でリズムとメロディーを用いて歌いこなせるようになろう
10回目	4種類のダイナミックスを聴き取れるようになろう
11回目	4種類のダイナミックスを再現できるようになろう
12回目	リズムとメロディーとダイナミックスを用いてシンプルなコード進行の中で歌いこなそう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派を一緒に目指しましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

譜面
図表
リズム、音源トラック
振り返りシート

科目名（英）	ヴォーカルテクニック（Vocal Technique Ⅳ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	権藤勝
		授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト					曜日・時限	火曜日3限目

【授業の学習内容】

課題曲や小小節フレーズでの音色のトレーニング、音色とダイナミックスを合わせたインプロビゼーションの解説と実践
和音の機能解説と聴感トレーニング、課題曲を用いての歌詞のアナライズ
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

音色をコントロールして歌えるようになろう♪
音色とダイナミックスを合わせて音楽的に歌えるようになろう♪
リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンと複雑なコード進行の中で歌えるようになろう♪
歌唱の理解と自由解釈を通して、感情と歌唱表現を一致させて歌えるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	5種類の音色を聴き取れるようになろう
2回目	5種類の音色を再現できるようになろう
3回目	ダイナミックスと音色を聴き取れるようになろう
4回目	ダイナミックスと音色を同時に再現できるようになろう
5回目	ダイナミックスと音色を自由に歌いこなそう
6回目	小テスト
7回目	複雑な4和音を聴き取れるようになろう
8回目	複雑な4和音の中でリズムとメロディーをコントロールして歌いこなそう
9回目	歌詞の世界観を味わい深く理解できるようになろう
10回目	歌詞を解釈して自身の感情や歌唱表現と繋ぎ合わせれるようになろう
11回目	自由に表現して歌えるようになろう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派を一緒に目指しましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

譜面
図表
リズム、音源トラック
振り返りシート

科目名 （英）	バンドアンサンブルⅠ （　　Band Ensemble Ⅰ　　）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	緒方諒使/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/矢上竜也/山崎結
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/ シンガーソングライター					曜日・時限	火曜日3限目

【授業の学習内容】

現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。
イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。
アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用方法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。

【到達目標】

楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	課題曲①　授業概要説明。ステージマナーを身につけていこう！機材や楽器の基本的な使い方を覚えよう！
2回目	課題曲①　カウントの出し方、曲の締め方のやり方を身につけよう！アンサンブルにおける音量バランスを覚えよう！
3回目	課題曲②　基本的な譜面の読み方を理解して、演奏しよう！
4回目	課題曲②　共通譜面におけるリハーサルマーク、リピート記号や括弧、D.S等の記号の意味を理解し演奏しよう！
5回目	課題曲③　演奏中にアイコンタクト等、演奏中にコミュニケーションを取ろう！
6回目	課題曲③　鏡を使い、パフォーマンスを意識した演奏してみよう！
7回目	学園祭に向けて　課題曲より楽曲を仕上げていこう！
8回目	課題曲④　楽曲のリズムを演奏者全員で共有しFeelの合った演奏をしてみよう①
9回目	課題曲④　楽曲のリズムを演奏者全員で共有しFeelの合った演奏をしてみよう②
10回目	課題曲⑤　楽曲における抑揚の付け方、演奏の表現方法を学ぼう①
11回目	課題曲⑤　楽曲における抑揚の付け方、演奏の表現方法を学ぼう②
12回目	テスト週　本番を想定してリハーサルをしよう！
13回目	テスト週　前期で学んだことを活かし、オリジナルバンドを組んで演奏しよう！
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	■授業へ取り組む姿勢（40%） ■各課題曲での目標の達成度、実践度（30%） ■自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにたくさんトライして、共に学ぶ仲間と音楽を楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器

科目名（英）	バンドアンサンブルⅡ （ Band Ensemble Ⅱ ）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	緒方諒使/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/矢上竜也/山崎結
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/ シンガーソングライター					曜日・時限	火曜日3限目

【授業の学習内容】

現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。
イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。
アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用方法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。

【到達目標】

楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作1
2回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作2
3回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作3
4回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作4
5回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作5
6回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作6
7回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作7
8回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作8
9回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作9
10回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作10
11回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作11
12回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作12
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	■授業へ取り組む姿勢(40%) ■各課題曲での目標の達成度、実践度(30%) ■自己実現力と演奏力(歌唱力)の向上度(30%)
受講生へのメッセージ	失敗を恐れずにたくさんトライして、共に学ぶ仲間と音楽を楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

音源、譜面(歌詞)、各自のMac、iPad(録音や動画撮影用)、各パートの楽器

科目名（英）	バンドアンサンブルⅢ （ Band Ensemble Ⅲ ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	緒方諒使/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/矢上竜也/山崎結
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/ シンガーソングライター					曜日・時限	火曜日4限目

【授業の学習内容】

現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。
実際のステージでのパフォーマンスと演奏の中でアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスをより実践的に学んでいく。また、自分たちでステージを作って行けるように選曲からアレンジ、ステージ構成を考えていく。

【到達目標】

様々なジャンルの楽曲より、バンドアレンジやデジタル機材をを用いたアレンジ、ステージパフォーマンスができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①　楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう　テーマ：ストレートなRock①
2回目	課題曲①　楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう　テーマ：ストレートなRock②
3回目	課題曲②　楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう　テーマ：Funk、R＆B、POPSなどの16ビート①
4回目	課題曲②　楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう　テーマ：Funk、R＆B、POPSなどの16ビート②
5回目	課題曲③　楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう　テーマ：Shuffle、Swing16thなどのハネたグルーヴ感①
6回目	課題曲③　楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう　テーマ：Shuffle、Swing16thなどのハネたグルーヴ感②
7回目	学園祭に向けて　課題曲より楽曲を仕上げていこう！
8回目	実演ライブに向けて　選曲、構成、アレンジなどアイデアを出して考えてみよう①
9回目	実演ライブに向けて　選曲、構成、アレンジなどアイデアを出して考えてみよう②
10回目	実演ライブに向けて　鏡を使ってお互いにステージパフォーマンスを確認しよう①
11回目	実演ライブに向けて　鏡を使ってお互いにステージパフォーマンスを確認しよう②
12回目	実演ライブに向けて　本番を想定してリハーサルをしよう！
13回目	実演ライブ　本番　前期で学んだことを活かし最高のパフォーマンスをしよう！
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	■授業へ取り組む姿勢（40％） ■各課題曲での目標の達成度、実践度（30%） ■自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	ひとりひとりの最高のパフォーマンスを磨いていく為に、一緒に表現の幅をどんどん広げていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器

科目名（英）	バンドアンサンブルⅣ （ Band Ensemble Ⅳ ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	緒方諒使/宗正恭平/桐明航平 長谷駿輔/矢上竜也/山崎結
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/ シンガーソングライター	授業形態	演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日4限目

【授業の学習内容】

現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。
イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。
アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用方法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。

【到達目標】

楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作1
2回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作2
3回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作3
4回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作4
5回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作5
6回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作6
7回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作7
8回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作8
9回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作9
10回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作10
11回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作11
12回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ　制作12
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	■授業へ取り組む姿勢（40%） ■各課題曲での目標の達成度、実践度（30%） ■自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生へのメッセージ	ひとりひとりの最高のパフォーマンスを磨いていく為に、一緒に表現の幅をどんどん広げていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器

科目名 （英）	アンサンブル　Ⅰ （　Ensemble Ⅰ　）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	田原佑一朗
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル					曜日・時限	金曜日2限目

【授業の学習内容】

楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。また、知識を教員が教授するだけではなく、構成主義に基づく教育の上で成果物を公に示していくことを定期的に実施し、小さな本番を繰り返して改善するサイクルの中で新たな発見を促す。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積む事ができる。そしてその経験の中で、仮説、試作、実践、振り返り、再構築、実践、、、、という学びのサイクルの本質を学ぶことを目標とする。

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明。男性・女性　カントリーロードを学ぶ
2回目	カントリーロードの復習。歌唱技術・知識を学ぶ
3回目	カントリーロードの仕上げ。歌詞を見ずに歌唱
4回目	男性・Take on me 女性 I feel the earte move を学ぶ
5回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに歌う
7回目	中間発表、配信を通して成果物を発表、振り返り
8回目	男性・The dock of the bay　女性・I say little prayer を学ぶ
9回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに歌う
11回目	前期最後の発表曲を歌唱指導
12回目	前期発表（試験）
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率　　授業態度　　課題曲仕上げ度
受講生へのメッセージ	音楽は、課題曲を通してその曲だけを歌えるようになっても成果は十分ではありません。大切なのは練習の仕方、ステージに立つ経験の中で得る学び、改善してまた次に臨むこと、このサイクルを学ぶことが重要です。練習の仕方を学び、どのような曲でもその習慣が生かされるような基礎力を見に付けましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

譜面・図表・リズム、音源トラック
振り返りシート

科目名 （英）	アンサンブル Ⅱ （ Ensemble Ⅱ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	田原佑一朗
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル					曜日・時限	金曜日2限目

【授業の学習内容】

楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。また、知識を教員が教授するだけではなく、構成主義に基づく教育の上で成果物を公に示していくことを定期的に実施し、小さな本番を繰り返して改善するサイクルの中で新たな発見を促す。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積む事ができる。そしてその経験の中で、仮説、試作、実践、振り返り、再構築、実践、、、、という学びのサイクルの本質を学ぶことを目標とする。

授業計画・内容	
1回目	後期授業プロセスの説明。男性 Honesty 女性 Time after time を学ぶ
2回目	1週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
3回目	1週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに歌う
4回目	男性 Every breath you take 女性 We are never ever getting betterを学ぶ
5回目	2週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに歌う
7回目	中間発表会、配信にて成果物を発表、振り返り
8回目	男性・Perfect 女性 Some one like youを学ぶ
9回目	3週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに歌う
11回目	最終発表（後期試験）
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率　授業態度　課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	成長に重要なのは、経験を活かすことです。前期に学んだことは後期に活かすこと、同じミスを繰り返さない、もし繰り返す場合はその原因をしっかりとみつけて改善していくことが大切です。成長をサイクルをつかみとっていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

譜面・図表・リズム、音源トラック
振り返りシート

科目名 （英）	アンサンブル　Ⅲ （　Ensemble Ⅲ　）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	池田祥子
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日3限目

【授業の学習内容】

世界に通用するヴォーカリストを目指す上で必要最低限の洋楽曲のレパートリーを、様々なジャンル、有名な曲から抜粋しレクチャーされた内容を各自演奏し披露する。観客の前でフロントマンとして説得力のある歌唱力、パフォーマンス力、コーラスワーク、演奏をする上での自身のトータルセルフプロデュース力を身につける。世界的な名曲に真摯に向き合い演奏することにより、好みに左右されることなく良いものから学びを得ていき今後展開していくそれぞれのヴォーカルスタイルの基盤を築く。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

英語での歌唱を楽しめるようになる。好みに左右されないレパートリーを常に練習、準備することで歌唱力、表現力を身につけ様々なシーンで応用、対応出来るようになる。人前で自分のベストパフォーマンスが出来るようになる。かっこよく歌う自分を具体的にプランし体現出来るようになる。コーラスワークの歌唱対応力、コーラス時の動き、立居振る舞いが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①Don’t stop believin’1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
2回目	課題曲①1コーラス発表、フィードバック実践
3回目	課題曲②Careless whisper,Rehub 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
4回目	課題曲②1コーラス発表、フィードバック実践
5回目	課題曲③Livin’ la vida loca,Just missed the train 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
6回目	課題曲③1コーラス発表、フィードバック実践
7回目	課題曲④What’s goin’ on,I wanna dance with somebody 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
8回目	課題曲④1コーラス発表、フィードバック実践
9回目	課題曲⑤Always,Stronger 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
10回目	課題曲⑤1コーラス発表、フィードバック実践
11回目	課題曲⑥This love,I will survive 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
12回目	課題曲⑥1コーラス発表、フィードバック実践
13回目	前期発表会
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	オリジナルアーティストの動画鑑賞等
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	一年生時に学んできたことをいかに土台として応用を効かせられるか、また、これから得る学びに対していかに恐れずチャレンジしていけるか、様々な楽曲を通して体験してもらえると思います。今見えていることに縛られず、まだ知らない自分をたくさんのジャンルやアーティストによって手に入れていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

譜面・図表・リズム、音源トラック
振り返りシート

科目名 （英）	アンサンブル Ⅳ （ Ensemble Ⅳ ）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	池田祥子
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	後期 金曜日3限目

【授業の学習内容】

世界に通用するヴォーカリストを目指す上で必要最低限の洋楽曲のレパートリーを、様々なジャンル、有名な曲から抜粋しレクチャーされた内容を各自演奏し披露する。観客の前でフロントマンとして説得力のある歌唱力、パフォーマンス力、コーラスワーク、演奏をする上での自身のトータルセルフプロデュース力を身につける。世界的な名曲に真摯に向き合い演奏することにより、好みに左右されることなく良いものから学びを得ていき今後展開していくそれぞれのヴォーカルスタイルの基盤を築く。

〈講師プロフィール〉

200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

英語での歌唱を楽しめるようになる。好みに左右されないレパートリーを常に練習、準備することで歌唱力、表現力を身につけ様々なシーンで応用、対応出来るようになる。人前で自分のベストパフォーマンスが出来るようになる。かっこよく歌う自分を具体的にプランし体現出来るようになる。コーラスワークの歌唱対応力、コーラス時の動き、立居振る舞いが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	課題曲①Just the way you are,Theme from Mahogany 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
2回目	課題曲①1コーラス発表、フィードバック実践
3回目	課題曲②All of me,Underdog1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
4回目	課題曲②1コーラス発表、フィードバック実践
5回目	課題曲③Thausand miles1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
6回目	課題曲③1コーラス発表、フィードバック実践
7回目	課題曲④Perfect,Roar1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
8回目	課題曲④1コーラス発表、フィードバック実践
9回目	課題曲⑤Endless love1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
10回目	課題曲⑤1コーラス発表、フィードバック実践
11回目	発表会リハーサル
12回目	後期発表会
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	オリジナルアーティストの動画鑑賞等
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	一年生時に学んできたことをいかに土台として応用を効かせられるか、また、これから得る学びに対していかに恐れずチャレンジしていけるか、様々な楽曲を通して体験してもらえると思います。今見えていることに縛られず、まだ知らない自分をたくさんのジャンルやアーティストによって手に入れていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

譜面・図表・リズム、音源トラック
振り返りシート

<table>
<tr><td>科目名
（英）</td><td>スタイルアナライズⅠ
（ Style AnalysisⅠ ）</td><td>必修
選択</td><td>必修選択</td><td>年次</td><td>1</td><td>担当教員</td><td>柴田峰志</td></tr>
<tr><td>学科・コース</td><td>プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル</td><td>授業
形態</td><td>演習</td><td>総時間
（単位）</td><td>30
（ 2 ）</td><td>開講区分
曜日・時限</td><td>前期
月曜日4限目</td></tr>
</table>

【授業の学習内容】

・楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積む事ができる。また、田原先生と連動しているので、継続してプロセスをふんでいくことができる。

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明。男性・女性　カントリーロードを学ぶ
2回目	カントリーロードの復習。歌唱技術・知識を学ぶ
3回目	カントリーロードの仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
4回目	男性・Take on me 女性 I feel the earte move を学ぼう
5回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
7回目	田原先生の中間発表会への予習（歌唱指導・ステージでの心がけ）
8回目	男性・The dock of the bay　女性・I say little prayer を学ぼう
9回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
11回目	授業発表会に向けての指導・アドバイス
12回目	田原先生授業内発表会リハーサル
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率　　授業態度　　課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	課題曲を通して、授業外でのプロセスの積み方を、学生の間に沢山経験してください。努力した分、必ず結果が出る事を信じて、頑張りましょう

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 （英）	スタイルアナライズⅡ （ Style Analysis Ⅱ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	柴田峰志
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	前期 月曜日4限目

【授業の学習内容】

・楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積む事ができる。また、田原先生と連動しているので、継続してプロセスをふんでいくことができる。

授業計画・内容	
1回目	後期授業プロセスの説明。男性 Honesty 女性 Time after time を学ぼう
2回目	1週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
3回目	1週目課題曲の仕上げ。対面での歌唱・アドバイス
4回目	男性 Every breath you take 女性 We are never ever getting betterを学ぼう
5回目	2週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに、対面での歌唱・アドバイス
7回目	中間発表会へのリハーサル
8回目	男性・Perfect 女性 Some one like youを学ぼう
9回目	3週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに、対面での歌唱・アドバイス
11回目	田原先生の授業内発表会リハーサル
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率　授業態度　課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	1年後期を質の高さを意識したプロセスをふむことによって、2年次に向けて、モチベーションを高くもって迎える事ができます。音楽は積み重ねることで、表現が広がっていきます。後期も頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	スタイルアナライズⅢ (Style Analyze Ⅲ)	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	権藤勝
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト	授業形態	演習	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日4限目

【授業の学習内容】

文字表や短い会話文でのハングルの基礎解説と実践、課題曲を用いての言葉の基礎と音楽的表現の解説と実践、歴史や文化の解説とエンターテイメントについての考察と歌唱への応用実践

〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

ハングルの発音の基礎を理解して歌えるようになろう♪
オギャンの基礎を理解して歌えるようになろう♪
音楽的表現を理解し歌えるようになろう♪
時代背景や文化を知りそれらを理解して歌えるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	ことば、歌唱的発音、楽曲や歌唱分析、時代背景や文化を学ぶことで広がる可能性を見つけよう、デュオの課題曲①
2回目	発音①(母音、ワ行、ヤ行)
3回目	発音②(ㅁ、ㄴ、ㅇ、ㄹ、平音、パッチム①)
4回目	発音③(ㅅ、ㅆ、ㅎ、濃音、激音、パッチム②)、デュオの課題曲②
5回目	オギャン①(低中の基本)、発音を意識して歌えるようになろう
6回目	オギャン②(高高の基本)、リズムとグルーヴと発音を意識して歌えるようになろう
7回目	小テスト、デュオの課題曲③
8回目	発音①バリエーション、ダイナミックスを意識して歌えるようになろう
9回目	発音②バリエーション、音色を意識して歌えるようになろう
10回目	発音③バリエーション、デュオの課題曲④
11回目	オギャン①バリエーション、韓国文化と歴史から学ぼう
12回目	オギャン②バリエーション、K-POPの歴史から学ぼう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	発音練習 楽曲の熟聴 歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	古き良きから最新の楽曲や王道曲の分析や歌唱と、時代背景や文化を知り学ぶことで、長く歌い続けれる自分自身の確かなスタイルを一緒に見つけていきましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

課題曲音源、歌詞
ハングル表、オギャン解説表

科目名 （英）	スタイルアナライズⅣ （ Style Analysis Ⅳ ）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	権藤勝
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト					曜日・時限	火曜日4限目

【授業の学習内容】

課題曲や短いフレーズを用いて、歌唱のためのことばのアプローチ実践、ジャンルや年代ごとの歌唱解説と実践
コーラスワークの解説と実践、自身の歌唱スタイルを構築するための考察と実践
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

ハングルの発音全般とオギャンを歌唱の中で活かせるようになろう♪
ジャンルや年代に対応した歌唱ができるようになろう♪
少人数でのボーカルアンサンブルができるようになろう♪
自分自身のスタイルを見つけ進化成長し続けれるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	発音①ラップMix、デュオ課題曲⑤
2回目	発音②ラップMix、ジャンル年代歌唱比較①
3回目	発音③ラップMix、ジャンル年代歌唱比較②
4回目	オギャン①ラップMix、デュオ課題曲⑥
5回目	オギャン②ラップMix、課題曲⑥でアンサンブルチャレンジ①
6回目	小テスト、課題曲⑥でアンサンブルチャレンジ②
7回目	課題曲⑦、課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ①
8回目	課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ②
9回目	課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ③
10回目	自分自身のアーティストスタイルについて考えてみよう
11回目	成果成長のために、学びを振り返ろう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外 学習	発音練習 楽曲の熟聴 歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	古き良きから最新の楽曲や王道曲の分析や歌唱と、時代背景や文化を知り学ぶことで、長く歌い続けれる自分自身の確かなスタイルを一緒に見つけていきましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

課題曲音源、歌詞
ハングル表、オギャン解説表

科目名 （英）	ディクション Ⅰ （ Diction Ⅰ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	井戸川誠
		授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル					曜日・時限	木曜日2限目

【授業の学習内容】

洋楽の名曲を使用し、言葉を明確に伝え、音を正確に歌う技術を学びます。
【基礎的な練習】 母音、子音の発音練習　早口言葉
【課題曲】 リエゾン、音節の区切り方、アクセントなど、英語の楽曲を使用し、言葉とリズムを正確に歌うテクニックを実践していきます。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

英語を恐れず歌える様になる。
英語の子音、母音を理解し、歌で実践できるようになる。
子音でリズムを明確に再現し、母音のポジションをコントロールしてピッチを明確に歌えるようになる。

授業計画・内容	
1回目	まずは楽しく歌ってみよう！　課題曲①Beatles「Hard days night」□
2回目	まずは楽しく歌ってみよう！　課題曲①Beatles「Hard days night」□
3回目	簡単な子音にチャレンジ（th、f、v）課題曲②Elvis Presley「Can't help falling in love with you」 □
4回目	簡単な母音にチャレンジ（ɑ、e、i、ou、u）　課題曲②Elvis Presley「Can't help falling in love with you」 □
5回目	日本語にない子音にチャレンジ（l、r）　課題曲③Cyndi Lauper「Time after time」
6回目	日本語にない母音にチャレンジ（æ、ʌ、ə、ɔ）　課題曲③Cyndi Lauper「Time after time」
7回目	発音ミニテスト
8回目	テストの全体的なフィードバック、苦手発音の洗い出し　課題曲④Boys town gang「Can't take my eyes off you」□
9回目	苦手発音を強化しましょう　課題曲④Boys town gang「Can't take my eyes off you」□
10回目	ロックをカッコよく　課題曲⑤Bon Jovi 「You give love a bad name」
11回目	ロックをカッコよく　課題曲⑤Bon Jovi 「You give love a bad name」
12回目	テスト課題曲　Gloria Estefan「Conga」 練習
13回目	テスト　Gloria Estefan「Conga」
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	発音の宿題。課題曲の練習□
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	英語の発音を名曲を通してマスターしていきます。 今まで英語が苦手だった人も、「知らなかったことを知る事」「練習する事」で楽しんで克服していきましょう！ 世界を目指すヴォーカリストになりましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 （英）	ディクション Ⅱ （ Diction Ⅱ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	井戸川誠
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日2限目

【授業の学習内容】

前期よりもさらに発音の難易度が上がります。TH、LR、リエゾンなど苦手な部分にフォーカスして練習していきます。
【基礎的な練習】 母音、子音の発音練習　早口言葉
【課題曲】有名な英語の楽曲（スタンダード）を使用します。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

英語の発音を恥ずかしがらずに歌える様になる。
英語の子音、母音を理解し、歌で実践できるようになる。
子音でリズムを明確に再現し、母音のポジションをコントロールしてピッチを明確に歌えるようになる。

授業計画・内容	
1回目	前期の発音の復習、苦手な発音の確認　課題曲①Little Eva「Locomotion」
2回目	苦手に発音に気を付けて課題曲に挑戦してみよう　課題曲①Little Eva「Locomotion」
3回目	リエゾン強化週　課題曲②Earth wind＆Fire「September」
4回目	リエゾン強化週2　課題曲②Earth wind＆Fire「September」
5回目	TH強化週　課題曲③Aerosmith 「I don't wanna miss a thing」
6回目	TH強化週2　課題曲③Aerosmith 「I don't wanna miss a thing」
7回目	発音ミニテスト
8回目	LR強化週　課題曲④Last Christmas
9回目	LR強化週　課題曲④Last Christmas
10回目	現在地を確認しましょう。これまで練習した曲の中から歌唱
11回目	テスト課題曲　Aerosmith「Walk this way」 練習
12回目	テスト Aerosmith「Walk this way」
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外 学習	発音の宿題。課題曲の練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	自分の得意な発音、苦手な発音がそろそろ分かってくる頃だと思います。苦手なものが見つかるたびに、夢に近づいていることを忘れずに！！ 引き続き楽しんでいきましょう！！

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	ディクション Ⅲ（DictionⅢ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	井戸川誠
		授業形態	演習	総時間（単位）	30時間（2単位）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル					曜日・時限	木曜日1限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
1年生の時に学んだ発音を歌のテクニックとしてさらに強化し、それぞれの学生の苦手な発音に着目して強化していきます。

【到達目標】
英語の歌に対する苦手意識を克服する。 子音、母音の発音記号を理解し、課題曲の歌のスタイルに合わせて使い分けられるようになる。

授業計画・内容	
1回目	バラードをゆっくりはっきりしっかりと歌おう！課題曲①Roberta Flack 「Killing me softly」
2回目	バラードをゆっくりはっきりしっかりと歌おう！パート2 課題曲①Roberta Flack 「Killing me softly」
3回目	できてそうで出来てない子音を強化　課題曲②No doubt「Don't speak」
4回目	できてそうで出来てない子音を強化　パート2　課題曲②No doubt「Don't speak」
5回目	リズムを歌おう　課題曲③Carole King「You've got a friend」
6回目	リズムを歌おう　パート2 課題曲③Carole King「You've got a friend」
7回目	発音小テスト
8回目	NY風、バラードをゆっくりしっかりはっきりと！課題曲④Eric Carmenl「All by myself」
9回目	NY風、バラードをゆっくりしっかりはっきりと！　パート2課題曲④Eric Carmenl「All by myself」
10回目	かっこよく発音しましょう　課題曲⑤Michael Jackson「Man in the mirror」
11回目	かっこよく発音しましょう　パート2　課題曲⑤Michael Jackson「Man in the mirror」
12回目	テスト（自由曲）の歌唱
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	発音の宿題 課題曲の練習
評価方法	実技テスト（提示された課題曲に対して、正しい発音で歌唱できているか評価する） 出席率
受講生へのメッセージ	得意なものを伸ばすという意味でも 弱点の克服という意味でも 英語の発音のテクニックは皆さんの歌の将来をに大きく関わってきます。 予習、復習をしっかりとやって、着実に積み上げていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

発音練習用プリント、歌詞

科目名（英）	ディクション Ⅳ （ DictionⅣ ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	井戸川誠
		授業形態	演習	総時間（単位）	30時間 （ 2単位 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル					曜日・時限	木曜日1限目

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

前期同様、英語の課題曲を用いてさらに明確で確実な発音を目指していきます。

引き続きリエゾン、音節の区切り方、アクセントなど、英語をかっこよく歌うたうためのテクニックを実践し、呼吸や発声も学生のレベルに合わせてアドバイスしていきます。
色々な年代のスタンダードな曲を課題曲/アンサンブルの授業の楽曲を課題曲にします。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う

【到達目標】

発音の原則を理解し、様々な楽曲で効果的に使えるようになる。
前期より自由に、大きくダイナミックに発音できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	難曲を完璧に発音しましょう！課題曲①Michael Bolton「How am I sppose to live without you」□
2回目	難曲を完璧に発音しましょう！パート2　課題曲①Michael Bolton「How am I sppose to live without you」□
3回目	リズム！リエゾン！リズム！リエゾン！課題曲②Taylor Swift「You belong with me」□
4回目	リズム！リエゾン！リズム！リエゾン！パート2　課題曲②Taylor Swift「You belong with me」□
5回目	ロックに！かっこよく　課題曲③Avril Lavine「Complicated」□
6回目	ロックに！かっこよく　パート2課題曲③Avril Lavine「Complicated」□
7回目	名曲をかっこよく歌いましょう！課題曲④Robbie Williams「Angels」□
8回目	名曲をかっこよく歌いましょう！　パート2　課題曲④Robbie Williams「Angels」□
9回目	Rを仕上げましょう！課題曲⑤P!nk「Raise your glass」□
10回目	Rを仕上げましょう！パート2　課題曲⑤P!nk「Raise your glass」□
11回目	テスト　今年度、この授業で歌った楽曲の中から1曲発表□
12回目	Sowcase、We areにおいて必要な楽曲の発音をチェック
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	発音の宿題 課題曲の練習□
評価方法	実技テスト（提示された課題曲に対して、正しい発音で歌唱できているか評価する） 出席率□
受講生へのメッセージ	発音に関して言えることは以下の2つです！！ ◎覚えればできる ◎練習すればできる 可能性に蓋をせず、着実に前に進んでいきましょう！□

【使用教科書・教材・参考書】

発音練習用プリント、歌詞

科目名 （英）	ヴォーカルパフォーマンスⅠ	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	池田祥子
	（ Vocal Performance Ⅰ ）	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル					曜日・時限	月曜日3限目

【授業の学習内容】
ピアノと一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】
ピアノデュオというスタイルを、ピアニストと共に創り上げられるようになる。ピアノ以外に頼る部分がないことから、より一層歌唱を仕上げていけるようになる。ピアニストに明確に自分のイメージを演奏の形に指示できるようになる。フレージングやキー設定など、個々のスキルに沿っての歌唱デザインが出来る様になる。

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①The Roseレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
2回目	①復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ,コーラスワークレクチャー
3回目	①復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
4回目	②The long and winding road レクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
5回目	②復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
6回目	②復習、発表、フルコーラス仕上げ
7回目	③You light up my life,Now and foreverレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
8回目	③復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
9回目	③復習、発表、フルコーラス仕上げ
10回目	④I won’t last a day without you,Honestyレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
11回目	④復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
12回目	④復習、発表、フルコーラス仕上げ
13回目	前期発表会
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ピアノデュオというスタイルはヴォーカリストそのものが際立つ、非常にシンプルでダイレクトなスタイルです。このスタイルを習得することにより、ヴォーカリストとしての自信もつけていきながら、より繊細に、よりダイナミックに、自分の持つ力を更に磨いていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器

科目名 （英）	ヴォーカルパフォーマンスⅡ （　Vocal Performance Ⅱ　）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	池田祥子
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル					曜日・時限	月曜日3限目

【授業の学習内容】

ピアノと一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

ピアノデュオというスタイルを、ピアニストと共に創り上げられるようになる。ピアノ以外に頼る部分がないことから、より一層歌唱を仕上げていけるようになる。ピアニストに明確に自分のイメージを演奏の形に指示できるようになる。フレージングやキー設定など、個々のスキルに沿っての歌唱デザインが出来る様になる。

授業計画・内容	
1回目	⑤Colorblind,Sheレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
2回目	⑤復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ,レクチャー
3回目	⑤復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
4回目	⑥Let it rain,Hard to say I’m sorryレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
5回目	⑥復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ,レクチャー
6回目	⑥復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
7回目	⑦Bridge over troubled waterレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
8回目	⑦復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ,レクチャー
9回目	⑦復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
10回目	⑧Let it beレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
11回目	⑧復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ,レクチャー
12回目	総合発表会　本番
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ピアノデュオというスタイルはヴォーカリストそのものが際立つ、非常にシンプルでダイレクトなスタイルです。このスタイルを習得することにより、ヴォーカリストとしての自信もつけていきながら、より繊細に、よりダイナミックに、自分の持つ力を更に磨いていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器

科目名 （英）	ヴォーカルパフォーマンスⅢ （ Vocal Performance Ⅲ ）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	権藤勝
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル					曜日・時限	月曜日3限目

【授業の学習内容】

ピアノと一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

リズムやグルーヴを意識して歌えるようになろう♪
タイミングをコントロールして歌えるようになろう♪
ダイナミックスを用いて音楽的に歌えるようになろう♪
リズム、タイミング、ダイナミックスを用いたアンサンブルができるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	デュオアンサンブルの要素を知り、可能性を見つけよう
2回目	基本となるテンポ、ビートを意識して歌えるようになろう
3回目	グルーヴを体感して躍動感のある歌を歌えるようになろう
4回目	タイミングを意識して歌えるようになろう
5回目	タイミングをコントロールして歌えるようになろう
6回目	リズムとタイミングを用いて歌ってみよう
7回目	小テスト
8回目	楽曲のダイナミックスを意識して歌えるようになろう
9回目	楽曲のダイナミックスをコントロールして歌えるようになろう
10回目	リズムとダイナミックスを意識して歌えるようになろう
11回目	タイミングとダイナミックスを意識して歌えるようになろう
12回目	リズムとタイミングとダイナミックスを意識して歌ってみよう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けれるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

歌唱
音源
振り返りシート

科目名 （英）	ヴォーカルパフォーマンスⅣ （ Vocal Performance Ⅳ ）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	権藤勝
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	後期 月曜日3限目

【授業の学習内容】

ピアノと一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

リズムパターンやテンポ感や曲のムードを指示して、その変化の中で歌えるようになろう♪
伴奏者の意図を読み取り呼吸を合わせて歌えるようになろう♪
合図やアイコンタクトを使い演奏をコントロールしながら歌えるようになろう♪
自身の歌唱力や発声力が活かせるキーで、アンサンブル要素を用いた総合的な歌唱ができるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	リズムパターンやテンポの変化を意識して歌えるようになろう
2回目	リズムパターンやテンポをコントロールして歌えるようになろう
3回目	伴奏者のプランに合わせて歌えるようになろう
4回目	伴奏者と共に演奏をプランして歌えるようになろう
5回目	リズム、タイミング、ダイナミックス、リズムパターン、テンポを用いて歌ってみよう
6回目	小テスト
7回目	合図やアイコンタクトを意識して歌えるようになろう
8回目	合図やアイコンタクトで伴奏をコントロールして歌えるようになろう
9回目	ニュートラルなポイントを見つけ、周りを観て聴いて歌えるようになろう
10回目	周りを観て聴いて、アンサンブル要素を用いて歌えるようになろう
11回目	歌唱要素ととアンサンブル要素を合わせて歌ってみよう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けれるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

歌唱
音源
振り返りシート

科目名 （英）	ダンスパフォーマンスⅠ （ Dance Performane Ⅰ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	高橋　明
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	前期 月曜日3限目・4限目

【授業の学習内容】

・基礎練習
筋トレ、アイソレ、リズトレ、ステップ、基礎ができるようになるまで徹底的に行う。そのため、習ったことは次週毎回テストを行う。
〈講師プロフィール〉
オクゼン不動産 CM振付、fumikaワンマンライブバックダンサー、舞台Collaboart-Q session#01「求」ダンサー出演、Nissy Entertainment "5th Anniversary" BEST DOME TOUR ヤフオク!ドーム公演 エキストラダンサーとして多方面で活動。

【到達目標】

・基礎を応用できるようになる。
・筋力、体幹を鍛え、どんな動きにも対応できるようになる。
・速いテンポの曲でも踊ることができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	基礎練習、基礎の応用(アイソレ、リズトレ)
2回目	ステップ練習(クラブステップ・オープン、クローズ)
3回目	テスト　クラブステップ
4回目	レベル分け
5回目	ステップ練習(シャッフル)
6回目	テスト　シャッフル
7回目	ボディーウェーブ(上下どちらからも通せるように)
8回目	テスト　ボディーウェーブ
9回目	ステップ練習(ドロップ)
10回目	テスト　ドロップステップ
11回目	ステップ練習(サイドウォーク)
12回目	テスト　サイドウォーク
13回目	テスト　一人ずつダンス披露
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	筋トレ、アイソレ、授業で習ったステップ・振りの復習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	基本、授業では筋トレ・アイソレ・リズトレ・振付を必ず行います。 GW明けにレベル分けをし、一人一人に合わせたレッスンをしていきます。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 （英）	ダンスパフォーマンスⅡ （ Dance Performane Ⅱ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	高橋　明
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日3限目・4限目

【授業の学習内容】

基礎練習は引き続き徹底していき、振付をメインにレッスンしていきます。
・ステージでの立ち方、感情の入れ方、強弱のつけ方

〈講師プロフィール〉
オクゼン不動産 CM振付、fumikaワンマンライブバックダンサー、舞台Collaboart-Q session#01「求」ダンサー出演、Nissy Entertainment "5th Anniversary" BEST DOME TOUR ヤフオク!ドーム公演 エキストラダンサーとして多方面で活動。

【到達目標】

・一定の踊りではなく、強弱をつけて踊れるようになる。
・感情、表情をつけて踊れるようになる。
・揃えるところ、個性を出すところの区別をつけれるようになる。
・魅せ方が上手くなる。
・殻を破る。
・自分たちで振りを作れるようになる。

授業計画・内容	
1回目	身体づくり(筋トレ)
2回目	ステップ練習(モネストリー)
3回目	テスト　モネストリー
4回目	振り　歌詞の意味を理解し自分なりに表現してみる
5回目	振り　前回の復習　一人一人にアドバイス
6回目	テスト　振付
7回目	ステップ練習(スポンジボブ)
8回目	テスト　スポンジボブ
9回目	グループに分かれて振り作り
10回目	グループごとに発表
11回目	30秒～1分間のソロダンス
12回目	ショーケース
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外 学習	授業で行った振付、ステップの復習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	後期では、2年間で習ったステップや振付を活かし、生徒たちで振付に挑戦してもらいます。そしてソロでも観客を沸かせられるように、自分の武器を見つけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 （英）	ダンスパフォーマンスⅢ （ Dance Performane Ⅲ ）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	高橋　明
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト					曜日・時限	火曜日1限目・2限目

【授業の学習内容】

基礎練習を徹底的に行う
・アイソレーション、アップ、ダウン、前ノリ、後ノリ、基本的なステップ、身体づくり
〈講師プロフィール〉
オクゼン不動産 CM振付、fumikaワンマンライブバックダンサー、舞台Collaboart-Q session#01「求」ダンサー出演、Nissy Entertainment "5th Anniversary" BEST DOME TOUR ヤフオク!ドーム公演 エキストラダンサーとして多方面で活動。

【到達目標】

・アイソレーション(首、胸、腰、肩)の動きを正確にできるようになる。
・アップ、ダウン、前ノリ、後ノリをしっかり理解し、説明できるようになる。
・アップ、ダウン、前ノリ、後ノリを正確にできるようになる。
・基本的なステップができるようになる。
・筋トレメニューを最後までやり遂げる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション　到達目標の説明
2回目	基礎練習　ストレッチ、筋トレ、アイソレーション、リズムトレーニングの説明
3回目	ステップ練習　パドブレ
4回目	テスト　パドブレ
5回目	ステップ練習　チャールストン
6回目	テスト　チャールストン
7回目	ステップ練習　ポップコーン
8回目	テスト　ポップコーン
9回目	ステップ練習　ロジャーラビット
10回目	テスト　ロジャーラビット
11回目	テスト　これまで習ったステップの名称
12回目	振付（これまで習ったステップを入れて）
13回目	テスト　アイソレ、リズトレ、振付
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	筋トレ、アイソレの自主練、ステップ・振りの復習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	アイソレとリズムはすぐにできるようになるものではないので、毎時間ゆっくり時間をかけて行っていきます。地味な練習になりますが、アイソレとリズムができるようになればダンスも上達していくので諦めずに一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 （英）	ダンスパフォーマンスⅣ （ Dance Performane Ⅳ ）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	高橋 明
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	後期 火曜日1限目・2限目

【授業の学習内容】
基礎練習
・アイソレーション、ダウン、アップ、基本的なステップ、振付
〈講師プロフィール〉
オクゼン不動産 CM振付、fumikaワンマンライブバックダンサー、舞台Collaboart-Q session#01「求」ダンサー出演、Nissy Entertainment "5th Anniversary" BEST DOME TOUR ヤフオク!ドーム公演 エキストラダンサーとして多方面で活動。

【到達目標】
・アイソレーションの可動範囲が広くなる。
・ダウン、アップの切り替えを繰り返しできるようになる。
・ステップの名前と動きを理解し、正確にできるようになる。
・全身を使って大きく踊ることができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	ダウン、アップの応用
2回目	ステップ練習 クラブステップ
3回目	テスト クラブステップ
4回目	ステップ練習 ゲットライト
5回目	テスト チャールストンからのゲットライト
6回目	ステップ練習 サイドリープ
7回目	テスト サイドリープ
8回目	ステップ練習 ヒールトゥー
9回目	テスト ヒールトゥー
10回目	振付
11回目	振付 前回のつづき
12回目	テスト ステップの名前、振付
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	筋トレ、アイソレの自主練、ステップ・振りの復習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	基礎練習を1年間しっかり継続したら必ず変化が出てきます。また、できるようになるまで個人差は必ずあるので、周りと比べず自分のペースでコツコツ頑張っていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 （英）	K-POPパフォーマンス Ⅰ （ K-POP Performance Ⅰ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	高橋 明
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日2限目

【授業の学習内容】

・K-POPアーティストのような身体づくり
・振付、構成
・撮影
〈講師プロフィール〉
オクゼン不動産 CM振付、fumikaワンマンライブバックダンサー、舞台Collaboart-Q session#01「求」ダンサー出演、Nissy Entertainment "5th Anniversary" BEST DOME TOUR ヤフオク!ドーム公演 エキストラダンサーとして多方面で活動。

【到達目標】

・美しい体型を維持できる。
・振りのポイント、コツを掴むことができる。
・踊りながらでもしっかり構成に移動することができる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション 到達目標の説明
2回目	身体づくり 筋力トレーニング
3回目	振付 楽曲未定
4回目	振付 つづき
5回目	振付、構成
6回目	振付、構成確認 撮影
7回目	身体づくり 筋力トレーニング
8回目	振付 楽曲未定
9回目	振付 つづき
10回目	振付、構成
11回目	振付、構成確認 撮影
12回目	グループに分かれて自分たちで作品づくり
13回目	グループ発表
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	筋トレ、振りの復習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	毎回、構成・撮影まで行います。グループとしてのまとまりがとても大事になるので、全員でコミュニケーションをとりながらいい雰囲気作りを心がけましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 （英）	K-POPパフォーマンス Ⅱ （ K-POP Performance Ⅱ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	高橋 明
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト					曜日・時限	金曜日2限目

【授業の学習内容】
・振付、構成、撮影
・かっこいい、美しい魅せ方
〈講師プロフィール〉
オクゼン不動産 CM振付、fumikaワンマンライブバックダンサー、舞台Collaboart-Q session#01「求」ダンサー出演、Nissy Entertainment "5th Anniversary" BEST DOME TOUR ヤフオク!ドーム公演 エキストラダンサーとして多方面で活動。

【到達目標】
・感情、表情、ダンス全てなりきることができる。
・別人の自分を出すことができる。
・ポイント、コツを研究し、自ら見つけて実践することができる。

授業計画・内容	
1回目	身体づくり 筋力トレーニング
2回目	振付 楽曲未定
3回目	振付 つづき
4回目	振付、構成（一つ一つの動きを完璧に揃える）
5回目	振付、構成確認 撮影
6回目	身体づくり 筋力トレーニング
7回目	振付 楽曲未定
8回目	振付 つづき
9回目	振付、構成（表情重視する）
10回目	振付、構成確認 撮影
11回目	ソロ 楽曲決め
12回目	ソロ発表会
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	筋トレ、振りの復習、アーティストの動画を見て研究
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	1年間を通してアーティストになりきる術を学んでほしいです。それは言葉だけでは伝わらないことなので、自らも研究し、自分の武器を見つけていってください。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 （英）	K-POPパフォーマンス Ⅲ （　K-POP Performance Ⅲ　）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	高橋　明
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分 曜日・時限	後期 金曜日2限目

【授業の学習内容】

・K-POPアーティストのような身体づくり
・振付、構成
・撮影
〈講師プロフィール〉
オクゼン不動産 CM振付、fumikaワンマンライブバックダンサー、舞台Collaboart-Q session#01「求」ダンサー出演、Nissy Entertainment "5th Anniversary" BEST DOME TOUR ヤフオク!ドーム公演 エキストラダンサーとして多方面で活動。

【到達目標】

・美しい体型を維持できる。
・振りのポイント、コツを掴むことができる。
・踊りながらでもしっかり構成に移動することができる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション　到達目標の説明
2回目	身体づくり　筋力トレーニング
3回目	振付　楽曲未定
4回目	振付　つづき
5回目	振付、構成
6回目	振付、構成確認　撮影
7回目	身体づくり　筋力トレーニング
8回目	振付　楽曲未定
9回目	振付　つづき
10回目	振付、構成
11回目	振付、構成確認　撮影
12回目	グループに分かれて自分たちで作品づくり
13回目	グループ発表
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	筋トレ、振りの復習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	毎回、構成・撮影まで行います。グループとしてのまとまりがとても大事になるので、全員でコミュニケーションをとりながらいい雰囲気作りを心がけましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 （英）	K-POPパフォーマンス Ⅳ （ K-POP Performance Ⅳ ）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	高橋 明
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト					曜日・時限	金曜日2限目

【授業の学習内容】

・振付、構成、撮影
・かっこいい、美しい魅せ方
〈講師プロフィール〉
オクゼン不動産 CM振付、fumikaワンマンライブバックダンサー、舞台Collaboart-Q session#01「求」ダンサー出演、Nissy Entertainment "5th Anniversary" BEST DOME TOUR ヤフオク!ドーム公演 エキストラダンサーとして多方面で活動。

【到達目標】

・感情、表情、ダンス全てなりきることができる。
・別人の自分を出すことができる。
・ポイント、コツを研究し、自ら見つけて実践することができる。

授業計画・内容	
1回目	身体づくり 筋力トレーニング
2回目	振付 楽曲未定
3回目	振付 つづき
4回目	振付、構成（一つ一つの動きを完璧に揃える）
5回目	振付、構成確認 撮影
6回目	身体づくり 筋力トレーニング
7回目	振付 楽曲未定
8回目	振付 つづき
9回目	振付、構成（表情重視する）
10回目	振付、構成確認 撮影
11回目	ソロ 楽曲決め
12回目	ソロ発表会
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	筋トレ、振りの復習、アーティストの動画を見て研究
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	1年間を通してアーティストになりきる術を学んでほしいです。それは言葉だけでは伝わらないことなので、自らも研究し、自分の武器を見つけていってください。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	ヴォーカルパフォーマンスⅠ（Vocal Performance Ⅰ）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	権藤勝
		授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト					曜日・時限	火曜日5限目

【授業の学習内容】

課題曲を用いての、リズム、タイミング、ダイナミックスなど、アンサンブルに必要な要素の解説と実践
歌唱とフィードバック
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

リズムやグルーヴを意識して歌えるようになろう♪
タイミングをコントロールして歌えるようになろう♪
ダイナミックスを用いて音楽的に歌えるようになろう♪
リズム、タイミング、ダイナミックスを用いたアンサンブルができるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	デュオアンサンブルの要素を知り、可能性を見つけよう
2回目	基本となるテンポ、ビートを意識して歌えるようになろう
3回目	グルーヴを体感して躍動感のある歌を歌えるようになろう
4回目	タイミングを意識して歌えるようになろう
5回目	タイミングをコントロールして歌えるようになろう
6回目	リズムとタイミングを用いて歌ってみよう
7回目	小テスト
8回目	楽曲のダイナミックスを意識して歌えるようになろう
9回目	楽曲のダイナミックスをコントロールして歌えるようになろう
10回目	リズムとダイナミックスを意識して歌えるようになろう
11回目	タイミングとダイナミックスを意識して歌えるようになろう
12回目	リズムとタイミングとダイナミックスを意識して歌ってみよう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けれるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

歌唱
音源
振り返りシート

科目名 （英）	ヴォーカルパフォーマンスⅡ （ Vocal Performance Ⅱ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	権藤勝
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	後期 火曜日5限目

【授業の学習内容】
課題曲を用いてのアンサンブル要素の応用実践、プロセスを通して、歌唱スタイルやキーやジャンルなどを理解構築するための解説と実践
歌唱とフィードバック
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】
リズムパターンやテンポ感や曲のムードを指示して、その変化の中で歌えるようになろう♪
伴奏者の意図を読み取り呼吸を合わせて歌えるようになろう♪
合図やアイコンタクトを使い演奏をコントロールしながら歌えるようになろう♪
自身の歌唱力や発声力が活かせるキーで、アンサンブル要素を用いた総合的な歌唱ができるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	リズムパターンやテンポの変化を意識して歌えるようになろう
2回目	リズムパターンやテンポをコントロールして歌えるようになろう
3回目	伴奏者のプランに合わせて歌えるようになろう
4回目	伴奏者と共に演奏をプランして歌えるようになろう
5回目	リズム、タイミング、ダイナミックス、リズムパターン、テンポを用いて歌ってみよう
6回目	小テスト
7回目	合図やアイコンタクトを意識して歌えるようになろう
8回目	合図やアイコンタクトで伴奏をコントロールして歌えるようになろう
9回目	ニュートラルなポイントを見つけ、周りを観て聴いて歌えるようになろう
10回目	周りを観て聴いて、アンサンブル要素を用いて歌えるようになろう
11回目	歌唱要素ととアンサンブル要素を合わせて歌ってみよう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けれるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

歌唱
音源
振り返りシート

科目名 （英）	ヴォーカルパフォーマンス Ⅲ （ Vocal Performance Ⅲ ）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	権藤勝
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト					曜日・時限	月曜日5限目

【授業の学習内容】

課題曲を用いての、リズム、タイミング、ダイナミックスなど、アンサンブルに必要な要素の解説と実践
歌唱とフィードバック
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

リズムやグルーヴを意識して歌えるようになろう♪
タイミングをコントロールして歌えるようになろう♪
ダイナミックスを用いて音楽的に歌えるようになろう♪
リズム、タイミング、ダイナミックスを用いたアンサンブルができるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	デュオアンサンブルの要素を知り、可能性を見つけよう
2回目	基本となるテンポ、ビートを意識して歌えるようになろう
3回目	グルーヴを体感して躍動感のある歌を歌えるようになろう
4回目	タイミングを意識して歌えるようになろう
5回目	タイミングをコントロールして歌えるようになろう
6回目	リズムとタイミングを用いて歌ってみよう
7回目	小テスト
8回目	楽曲のダイナミックスを意識して歌えるようになろう
9回目	楽曲のダイナミックスをコントロールして歌えるようになろう
10回目	リズムとダイナミックスを意識して歌えるようになろう
11回目	タイミングとダイナミックスを意識して歌えるようになろう
12回目	リズムとタイミングとダイナミックスを意識して歌ってみよう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けれるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

歌唱
音源
振り返りシート

科目名（英）	ヴォーカルパフォーマンス Ⅳ （ Vocal Performance Ⅳ ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	権藤勝
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・K-POPアーティスト					曜日・時限	月曜日5限目

【授業の学習内容】

課題曲を用いてのアンサンブル要素の応用実践、プロセスを通して、歌唱スタイルやキーやジャンルなどを理解構築するための解説と実践
歌唱とフィードバック
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

リズムパターンやテンポ感や曲のムードを指示して、その変化の中で歌えるようになろう♪
伴奏者の意図を読み取り呼吸を合わせて歌えるようになろう♪
合図やアイコンタクトを使い演奏をコントロールしながら歌えるようになろう♪
自身の歌唱力や発声力が活かせるキーで、アンサンブル要素を用いた総合的な歌唱ができるようになろう♪

授業計画・内容	
1回目	リズムパターンやテンポの変化を意識して歌えるようになろう
2回目	リズムパターンやテンポをコントロールして歌えるようになろう
3回目	伴奏者のプランに合わせて歌えるようになろう
4回目	伴奏者と共に演奏をプランして歌えるようになろう
5回目	リズム、タイミング、ダイナミックス、リズムパターン、テンポを用いて歌ってみよう
6回目	小テスト
7回目	合図やアイコンタクトを意識して歌えるようになろう
8回目	合図やアイコンタクトで伴奏をコントロールして歌えるようになろう
9回目	ニュートラルなポイントを見つけ、周りを観て聴いて歌えるようになろう
10回目	周りを観て聴いて、アンサンブル要素を用いて歌えるようになろう
11回目	歌唱要素ととアンサンブル要素を合わせて歌ってみよう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けれるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

歌唱
音源
振り返りシート

科目名 （英）	楽曲制作技法 Ⅰ （ Music production technique Ⅰ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	宮﨑天良
		授業 形態	講義 演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・シンガーソングライター					曜日・時限	水曜日4限目

【授業の学習内容】

昨年度より宮﨑の担当しておりました授業「作曲知識」やその他クリニック等から学生に特に足りないものは何かと考えた結果、
まず間違いなく「聴く力」ではないかと感じた。
前期,後期１年間を通して1年次より「聴く力」を徹底的に鍛えるために、既存の売れている楽曲をとにかく分析し
「リスナー」から「音楽家」の耳になるよう聴き方から変えていく。
その為に楽曲の鳴っている音の種類や位置といった音楽的な楽曲の捉え方について学習する。
〈講師プロフィール〉
FSM作曲コース卒業生。Rock.Popsを得意とし、幅広いジャンルの楽曲を制作している。在学中に作曲家として、株式会社SDRと専属契約。現在はSDRを離れフリーの作曲家・編曲家・ピアニストとして活動中。

【到達目標】

・楽曲を聴いた際、楽器の種類,位置,動き等が理解できるようにする。
・理解した上でなぜそのような種類,位置,動きをしているかを説明できる。
→この2点を到達目標とする。
前期最終日に課題曲を使用した聴き取りテストを行い、その結果に応じた点数を評価得点とする。

授業計画・内容	
1回目	初回授業。授業内容の説明と音楽との向き合い方　イヤホンとヘッドフォンについて
2回目	楽曲分析(1)　音数の少ない簡単なバンドサウンドの分析-1
3回目	楽曲分析(1)　音数の少ない簡単なバンドサウンドの分析-2
4回目	楽曲分析(2)　簡単な打ち込み楽曲(Hiphop)の分析-1
5回目	楽曲分析(2)　簡単な打ち込み楽曲(Hiphop)の分析-2
6回目	楽曲分析(3)　バンドサウンド＋αの楽曲の分析-1
7回目	楽曲分析(3)　バンドサウンド＋αの楽曲の分析-2
8回目	楽曲分析(4)　流行の曲はなぜ売れる？ヒットチャート楽曲の分析-1
9回目	楽曲分析(4)　流行の曲はなぜ売れる？ヒットチャート楽曲の分析-2
10回目	楽曲分析(5)　自分の好きな曲はどう鳴っている？学生の持ち寄った楽曲の分析-1
11回目	楽曲分析(5)　自分の好きな曲はどう鳴っている？学生の持ち寄った楽曲の分析-2
12回目	楽曲分析(5)　自分の好きな曲はどう鳴っている？学生の持ち寄った楽曲の分析-3
13回目	楽曲分析(6)　課題曲の聴き取りテスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	特にありませんが、常日頃より楽曲の聴く視点について意識してください。
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	「音楽家としての耳」を養うことによって、今まで何となくで聴いていた世界が大きく変わります。 別の目線からの感動を味わうことの出来る様になりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

前期は特になし。可能であれば良いモニターイヤホン,ヘッドフォン。

科目名 （英）	楽曲制作技法 Ⅱ （ Music production technique Ⅱ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	宮崎天良
学科・コース	プロミュージシャン科・シンガーソングライター	授業 形態	講義 演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	後期 水曜日4限目

【授業の学習内容】

昨年度より宮崎の担当しておりました授業「作曲知識」やその他クリニック等から学生に特に足りないものは何かと考えた結果、
まず間違いなく「聴く力」ではないかと感じた。
前期,後期1年間を通して1年次より「聴く力」を徹底的に鍛えるために、既存の売れている楽曲をとにかく分析し
「リスナー」から「音楽家」の耳になるよう聴き方から変えていく。
その為に楽曲の鳴っている音の種類や位置といった音楽的な楽曲の捉え方について学習する。
〈講師プロフィール〉
FSM作曲コース卒業生。Rock.Popsを得意とし、幅広いジャンルの楽曲を制作している。在学中に作曲家として、株式会社SDRと専属契約。現在はSDRを離れフリーの作曲家・編曲家・ピアニストとして活動中。

【到達目標】

後期からは実際に楽曲制作に入っていくが、
・最初の1曲のため、「とにかく1曲完成させ、作ることの意義」を理解する
・「自分の曲に何が足りないか,自分の弱点と強み」を探しながら制作し、自分のキャラクターを見つける。
こちら2点を到達目標とする。
後期は楽曲を提出して貰い、「良いメロディか」「コードはそのメロディに対してベストか」「完成形を見据えた曲か」この3点を評価基準とする。

授業計画・内容	
1回目	後期初回。世の中の楽曲はどうやって出来上がるか
2回目	理論はとりあえず要らない。ボイスメモでの作曲方法
3回目	メロディ制作期間(1)
4回目	メロディ制作期間(2)
5回目	メロディ制作期間(3)
6回目	メロディ制作期間(4)、メロディに対するコードの付け方
7回目	メロディに対するコード付け期間(1)
8回目	メロディに対するコード付け期間(2)
9回目	メロディに対するコード付け期間(3)
10回目	作詞について,良い歌詞の作り方
11回目	歌詞制作期間(1)
12回目	歌詞制作期間(2)、楽曲提出
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	特にありませんが、授業外でも日頃から制作は行ってください。
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	センスや技術が重要そうに見えますが、作曲は「どれだけ作るか」。体力勝負です。 こなした量だけ自分のセンスと引き出しになります。根気よく頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

可能であれば良いモニターイヤホン,ヘッドフォン。PC があると尚良し。

科目名 （英）	楽曲制作技法 Ⅲ （　Music production technique Ⅲ　）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	姫野博行
		授業 形態	講義 演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・シンガーソングライター					曜日・時限	水曜日4限目

【授業の学習内容】

楽曲制作に必要な知識と現在のミュージシャンには必須スキルともいえるDAWソフト(主にLogic Pro)の操作方法を学びます。
前期はDAWの使い方とトップラインについて学び、実際に作ってみようと考えています。
＜実務者経験＞
ビクターよりバンドのギターボーカルとしてデビュー、後に作曲家へ転向。オリコン1位、日本年間作曲家売上ランキング3位、同編曲家ランキング３位経験、現在も多数のアーティスト、アイドル、広告音楽、劇伴音楽などを手掛ける

□

【到達目標】

■DAWを使った編集ができるようになる。■トップライン(歌メロ)が作れるようになる。
■作曲(リズム,メロディ,ハーモニーを作る)ができるようになる。■DAWを使った編曲もしくはトラックメイクができるようになる。
上記を目標とし期末に提出の課題楽曲で到達度合いを判断し評価の一部とする。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	制作の知識 ／ 録音音楽はどのように作られているか？
3回目	Logic Proの基本操作_1 ／ 編集ウインドウの理解とコピー＆ペースト□
4回目	Logic Proの基本操作_2 ／ Logic Proの様々な機能□
5回目	Logic Pro基本操作の応用_1／オーディオループを使った作曲方法□
6回目	Logic Pro基本操作の応用_2／オーディオループを使った作曲方法 ※演習□
7回目	Logic Pro基本操作の応用_3／トラックのバランスを整え、2ミックスの書き出し□
8回目	メロディについて／トップライン作りのコツ□
9回目	トップライン演習1／ トラックにメロディをのせる練習□
10回目	トップライン演習2／ オーディオインターフェースを使ったボーカル録音(オーディオ)□
11回目	前期課題曲制作_1
12回目	前期課題曲制作_2
13回目	前期課題曲制作_3 課題曲提出
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	日頃からたくさんの音楽を聴き自分の感性を養いましょう。
評価方法	■期末提出の課題の完成度 ■受講態度（主に出欠席・遅刻など）
受講生への メッセージ	自分のイメージを形にしていく作業は大変ですがとても刺激的で楽しい作業です。 また作曲、編曲は音楽の中でも最もマネタイズしやすい分野の一つとも感じています。 是非楽しみながらトライしてみましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

パソコン、Logic Pro X,その他DAWソフト

科目名 （英）	楽曲制作技法 Ⅳ （ Music production technique Ⅳ ）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	姫野博行
		授業 形態	講義 演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・シンガーソングライター					曜日・時限	水曜日4限目

【授業の学習内容】
楽曲制作に必要な知識と現在のミュージシャンには必須スキルともいえるDAWソフト(主にLogic Pro)の操作方法を学びます。
ジャンルにより様々な制作技法が必要となりますので後期は実習の中で各自必要だと思う知識,技術をお伝えしようと考えています。
＜実務者経験＞
ビクターよりバンドのギターボーカルとしてデビュー、後に作曲家へ転向。オリコン1位、日本年間作曲家売上ランキング3位、同編曲家ランキング３位経験、現在も多数のアーティスト、アイドル、広告音楽、劇伴音楽などを手掛ける

【到達目標】
■DAWを使った編集ができるようになる。■トップライン(歌メロ)が作れるようになる。
■作曲(リズム,メロディ,ハーモニーを作る)ができるようになる。■DAWを使った編曲もしくはトラックメイクができるようになる。
上記を目標とし期末に提出の課題楽曲で到達度合いを判断し評価の一部とする。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	作曲にあたって、様々な制作方法 / ジャンルによる違いや オケが先か？メロが先か？歌詞が先か？ など
3回目	制作目標の検討、参考楽曲の選定
4回目	楽曲制作実習_1
5回目	楽曲制作実習_2
6回目	楽曲制作実習_3
7回目	編曲の基礎知識 / 楽器の知識
8回目	楽曲制作実習_4
9回目	楽曲制作実習_5
10回目	楽曲制作実習_6
11回目	楽曲制作実習_7
12回目	課題曲提出＆試聴会
13回目	We are FSM 卒業進級制作　準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作　準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	日頃からたくさんの音楽を聴き自分の感性を養いましょう。
評価方法	■期末提出の作品の完成度 ■受講態度（主に出欠席・遅刻など）
受講生への メッセージ	自分のイメージを形にしていく作業は大変ですがとても刺激的で楽しい作業です。 また作曲、編曲は音楽の中でも最もマネタイズしやすい分野の一つとも感じています。 是非楽しみながらトライしてみましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

パソコン、Logic Pro X,その他DAWソフト

科目名（英）	楽器演奏基礎Ⅰ （　Basic Instrument Technique　Ⅰ　）	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	平原壽子
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 （　2　）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/シンガーソングライター					曜日・時限	水曜日2限目・3限目

【授業の学習内容】

・鍵盤楽器の基礎知識を身につける。・全調でのスケール表とTonicコード修得し、自分で演奏しながら発声練習出来る様にして音程を正確にする。・全コードタイプ（テンションコードを含む）を理論的、実技的に修得し弾き語りに応用できる様にする。・弾き語りの伴奏形、演奏法を学び自分の音楽表現を学ぶ。・読譜力を身につける為楽譜、CDに合わせて演奏する。
〈講師プロフィール〉
総合音楽教室、Sound Voice Space Jacaranda代表。音、色、香りをテーマとして、音楽全般（楽器、ボイストレーニング、作編曲、音楽療法、ニューマエクササイズ）の指導活動、演奏活動、各種セミナー、教室運営、専門学校講師等、国籍、性別、年令を問わず、指導活動を行っている。

【到達目標】

・弾き語りの技術を習得する。・全コードタイプをマスターする。・全調でのスケール奏、Tonicをマスターし弾けるようにする。・CDに合わせて演奏し、テンポ感、リズム感楽曲表現力を向上させる。

授業計画・内容		
1回目	鍵盤に慣れる（英音名、Scale、運指）Cmajorscale上の和音、長音階、半音階	
2回目	DmajorScaleとTonic	弾き語りの準備（コード表、スケール表）
3回目	EmajorScaleとTonic	一段譜を見ながらコードとPosition、
4回目	FmajorScaleとTonic	伴奏形を考え、声を出しながら
5回目	GmajorScaleとTonic	弾き語りをしてみる。（2～3曲）
6回目	AmajorScaleとTonic	Scale、コードネームとPositionを覚える。
7回目	BmajorScaleとTonic	コード進行譜の作成、読譜力を強化。
8回目	D♭majorScaleとTonic	ジャズのフィーリングに慣れる、各自のレベルに合わせ
9回目	E♭majorScaleとTonic	CDに合わせて弾くことでアンサンブルする。
10回目	G♭majorScaleとTonic	弾き語りの為の伴奏形、変奏、コードの理解力を深める。
11回目	A♭majorScaleとTonic	弾き語り曲、PianoSolo曲の弾きこみ
12回目	B♭majorScaleとTonic	発声練習を各自でできるよ様に12のKeyTonicの徹底。
13回目	期末テスト、12のKeyScaleとTonic、弾き語り曲、PianoSolo曲	
14回目	9月特別授業	
15回目	9月特別授業	
準備学習時間外学習		
評価方法	・毎週の授業の取り組みの意識レベル。・自己評価の認識度（入学時からの成長の具合）・Piano演奏力とコードについての理解度。	
受講生へのメッセージ	・1日1小節を目指し、ゆっくり確実に自分の力をつけていきましょう。・卒業後の自分の姿をイメージし、逆算して毎日を大切に過ごしましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 （英）	楽器演奏基礎Ⅱ （ Basic Instrument Technique Ⅱ ）	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	平原壽子
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/シンガーソングライター					曜日・時限	水曜日2限目・3限目

【授業の学習内容】
・鍵盤楽器の基礎知識を身につける。・全調でのスケール表とTonicコード修得し、自分で演奏しながら発声練習出来る様にして音程を正確にする。・全コードタイプ（テンションコードを含む）を理論的、実技的に修得し弾き語りに応用できる様にする。・弾き語りの伴奏形、演奏法を学び自分の音楽表現を学ぶ。・読譜力を身につける為楽譜、CDに合わせて演奏する。
〈講師プロフィール〉
総合音楽教室、Sound Voice Space Jacaranda代表。音、色、香りをテーマとして、音楽全般（楽器、ボイストレーニング、作編曲、音楽療法、ニューマエクササイズ）の指導活動、演奏活動、各種セミナー、教室運営、専門学校講師等、国籍、性別、年令を問わず、指導活動を行っている。

【到達目標】
・弾き語りの技術を習得する。・全コードタイプをマスターする。・全調でのスケール奏、Tonicをマスターし弾けるようにする。・CDに合わせて演奏し、テンポ感、リズム感楽曲表現力を向上させる。

授業計画・内容		
1回目	全調でScale,Tonic 復習	弾き語り新曲 コード譜作成
2回目	全調でのMajor、minorコード	コードの転回形、Solo曲新曲 読譜力を習得
3回目	全調でのM7th,mM7thコード	弾き語り曲（自選でも良い）弾き込み
4回目	全調での7th、m7thコード	Solo曲 弾き込み
5回目	全調でのdim7thコード	2～3オクターブでのスケール奏（進み具合で左手奏）
6回目	全調でのaugmentコード	弾き語り曲の伴奏形、変奏を考えて
7回目	全調での9th、♭9th ♯9th、add9th	弾いてみる 声量と伴奏を変えて
8回目	全調での11thコード	「曲にする」という表現力を習得する様にする
9回目	全調での6thと13th	弾き語り、Solo曲（読譜力を含む）
10回目	全コードタイプの復習	スケール奏、コードの構成音とPosition.
11回目	全調でのScale	転回形等 自分の進み具合をチェックし
12回目	Tonic,コードの復習	練習する
13回目	期末テスト 弾き語り、Solo曲、Scale、Tonic、chord	
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル	
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番	
準備学習 時間外 学習		
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】	
受講生への メッセージ		

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	楽器演奏基礎 Ⅲ（ Basic Instrument Technique Ⅲ ）	選択必修	必修選択	年次	2	担当教員	宗正恭平
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/シンガーソングライター	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30（ 2 ）	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日1限目

【授業の学習内容】

・ピアノに関する基礎的な演奏方法、及び実践的な伴奏の方法を身に付ける。
・コードなどの理論の知識を深めるようにする。
・ピアノの演奏を通して、ハーモニーの重要性、他楽器とのアンサンブルでの住み分けを覚える。
（講師プロフィール）
福岡中心にPops/Rock/Jazzなどは広いフィールドで活躍するほかにも、編曲・ミュージカルでの演奏アレンジなど活動は多岐にわたる

【到達目標】

・ピアノの基本的な演奏(コード弾き)ができる。
・弾き語り、バンド演奏、レッスン時など、状況に応じて演奏ができる。
・コード、コード進行などの音楽理論の知識が身に付く。

授業計画・内容	
1回目	音階・コードの復習(理論・実演)
2回目	コード弾きの復習(理論・実演)
3回目	課題曲①8ビート系楽曲(実演),初見演奏
4回目	課題曲①(実演),初見演奏
5回目	課題曲①の別スタイルでの演奏(ボサノバ、バラードなど)(実演)
6回目	課題曲②8ビート系楽曲(実演),初見演奏
7回目	課題曲②(実演),初見演奏
8回目	課題曲②キーチェンジ(理論・実演)
9回目	課題曲③コードの数多めの楽曲(実演),初見演奏
10回目	課題曲③(実演),初見演奏
11回目	課題曲③(実演),初見演奏
12回目	初見演奏(コード譜)
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	・一年次で習った音楽理論の内容を復習する ・授業でもらった資料をもとに、継続的に復習する
評価方法	・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生へのメッセージ	ボーカリストも音楽理論の知識、楽器の知識があると音楽の見え方が一層変わります。 ピアノの演奏を通して、音楽の楽しさ・奥深さをさらに掘り下げていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

・筆記用具
・iPad,Mac
・課題テキスト(授業で配布します)

科目名（英）	楽器演奏基礎 Ⅳ （ Basic Instrument Technique Ⅳ ）	選択必修	必修選択	年次	2	担当教員	宗正恭平
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/シンガーソングライター	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日1限目

【授業の学習内容】

・ピアノに関する基礎的な演奏方法、及び実践的な伴奏の方法を身に付ける。
・コードなどの理論の知識を深めるようにする。
・ピアノの演奏を通して、ハーモニーの重要性、他楽器とのアンサンブルでの住み分けを覚える。
（講師プロフィール）
福岡中心にPops/Rock/Jazzなどは広いフィールドで活躍するほかにも、編曲・ミュージカルでの演奏アレンジなど活動は多岐にわたる

【到達目標】

・ピアノの基本的な演奏(コード弾き)ができる。
・弾き語り、バンド演奏、レッスン時など、状況に応じて演奏ができる。
・コード、コード進行などの音楽理論の知識が身に付く。

授業計画・内容	
1回目	課題曲④(実演),初見演奏
2回目	課題曲④(実演),初見演奏
3回目	課題曲④(実演),初見演奏
4回目	初見演奏(メロディ譜)
5回目	課題曲⑤(実演),初見演奏
6回目	課題曲⑤(実演),初見演奏
7回目	課題曲⑤(実演),初見演奏
8回目	課題曲⑥(実演),初見演奏
9回目	課題曲⑥(実演),初見演奏
10回目	課題曲⑥(実演),初見演奏
11回目	課題曲⑦(実演),初見演奏
12回目	課題曲⑦(実演),初見演奏
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	・一年次で習った音楽理論の内容を復習する ・授業でもらった資料をもとに、継続的に復習する
評価方法	・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生へのメッセージ	ボーカリストも音楽理論の知識、楽器の知識があると音楽の見え方が一層変わります。 ピアノの演奏を通して、音楽の楽しさ・奥深さをさらに掘り下げていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

・筆記用具
・iPad,Mac
・課題テキスト(授業で配布します)

科目名（英）	ゴスペル	選択必修	選択必修	年次	1.2	担当教員	池末　信
	Gospel	授業形態	演習	総時間（単位）	60時間	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科（ヴォーカル）				4単位	曜日・時限	木曜日5限目・6限目

【授業の学習内容】

世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。

〈講師プロフィール〉

マサチューセッツ州にあるバークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。

【到達目標】

「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」
それらを体感し信じられること。

授業計画・内容	
1回目	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー
2回目	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲
3回目	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス
4回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー
5回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー
6回目	3曲新曲、ワーク
7回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス
8回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス
9回目	プレイフルワーク、楽曲復習
10回目	楽曲復習、新曲レクチャー
11回目	楽曲復習、新曲レクチャー
12回目	楽曲復習、ケイティワーク
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）
受講生へのメッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身についていきます。

【使用教科書・教材・参考書】

歌詞カード、ボイスレコーダー

科目名（英）	ゴスペル	選択必修	選択必修	年次	1.2	担当教員	池末　信
	Gospel	授業形態	演習	総時間（単位）	60時間	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科（ヴォーカル）				4単位	曜日・時限	木曜日5限目・6限目

【授業の学習内容】

世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。

〈講師プロフィール〉

マサチューセッツ州にあるバークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。

【到達目標】

心技体において確実な成長を体感し、講師からの客観的視点より成長を認めれること。
それらをゴスペルアンサンブルメンバー全員で達成できていること。

授業計画・内容	
1回目	ワーク、新曲3曲レクチャー
2回目	楽曲復習
3回目	海外研修
4回目	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー
5回目	楽曲復習、動き復習
6回目	ケイティワーク、2曲新曲
7回目	楽曲復習、動き復習
8回目	楽曲復習
9回目	新曲2曲レクチャー、楽曲復習
10回目	We Areリハーサル演習
11回目	We Areリハーサル演習
12回目	We Areリハーサル演習
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身についていきます。

【使用教科書・教材・参考書】

歌詞カード、ボイスレコーダー

科目名（英）	ゴスペル	選択必修	選択必修	年次	1.2	担当教員	池末　信
	Gospel	授業形態	演習	総時間（単位）	60時間	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科（ヴォーカル）				4単位	曜日・時限	木曜日5限目・6限目

【授業の学習内容】

世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。

〈講師プロフィール〉

マサチューセッツ州にあるバークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。

【到達目標】

「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」
それらを体感し信じられること。

授業計画・内容	
1回目	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー
2回目	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲
3回目	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス
4回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー
5回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー
6回目	3曲新曲、ワーク
7回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス
8回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス
9回目	プレイフルワーク、楽曲復習
10回目	楽曲復習、新曲レクチャー
11回目	楽曲復習、新曲レクチャー
12回目	楽曲復習、ケイティワーク
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）
受講生へのメッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身についていきます。

【使用教科書・教材・参考書】

歌詞カード、ボイスレコーダー

科目名 （英）	ゴスペル Gospel	選択 必修	選択必修	年次	1.2	担当教員	池末　信
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60時間	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科（ヴォーカル）				4単位	曜日・時限	木曜日5限目・6限目

【授業の学習内容】

世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。

〈講師プロフィール〉

マサチューセッツ州にあるバークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。

【到達目標】

心技体において確実な成長を体感し、講師からの客観的視点より成長を認めれること。
それらをゴスペルアンサンブルメンバー全員で達成できていること。

授業計画・内容	
1回目	ワーク、新曲3曲レクチャー
2回目	楽曲復習
3回目	海外研修
4回目	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー
5回目	楽曲復習、動き復習
6回目	ケイティワーク、2曲新曲
7回目	楽曲復習、動き復習
8回目	楽曲復習
9回目	新曲2曲レクチャー、楽曲復習
10回目	We Areリハーサル演習
11回目	We Areリハーサル演習
12回目	We Areリハーサル演習
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身についていきます。

【使用教科書・教材・参考書】

歌詞カード、ボイスレコーダー

科目名（英）	K-POPゼミ （　K-POP Seminar　）	必修選択	必修選択	年次	1・2	担当教員	キム・ゴンヒョン
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 （　2　）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ダンス＆アクターズ科・K-POPアーティスト/K-POPパフォーマー					曜日・時限	金曜日4限目・5限目

【授業の学習内容】

海外でも高い評価を得ているK-Popの曲や今のトレンドに会う曲をピックアップし，歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音，ピッチ，リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い，業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。

〈講師プロフィール〉

200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

K-Popを学ぶことでアーティストとして，歌，ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-Popに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創，コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし，更に自分を活きる。

授業計画・内容	
1回目	ピッチ，リズム，言葉，アクセント，音色，声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを宿題として出す
2回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー
3回目	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー
4回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー
5回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
6回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー
7回目	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー
8回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー
9回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
10回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー
11回目	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー
12回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー
13回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	今年度から皆さんと一緒にART OF K-POPを作って行くことになったボーカル講師のキムゴンヒョンです！ゴンちゃんと呼んでください！FSMで授業をするのは初めてで緊張もしつつ，皆さんに会うことがとても楽しみです！皆さんが楽しく学べるように、一人ひとりが幸せになれるようなART OF K-POPにして行きたいと思います！まだまだ足りないところも沢山ありますが，是非是非みんなで楽しく，そして真剣に学んでいきましょう！！よろしくお願いいたします！

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	K-POPゼミ （ K-POP Seminar ）	必修選択	必修選択	年次	1・2	担当教員	キム・ゴンヒョン
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・ダンス＆アクターズ科・K-POPアーティスト/K-POPパフォーマー					曜日・時限	金曜日2限目

【授業の学習内容】

海外でも高い評価を得ているK-Popの曲や今のトレンドに会う曲をピックアップし，歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音，ピッチ，リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い，業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

K-Popを学ぶことでアーティストとして，歌，ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-Popに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創，コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし，更に自分を活きる。

授業計画・内容	
1回目	ピッチ，リズム，言葉，アクセント，音色，声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを宿題として出す
2回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー
3回目	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー
4回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー
5回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
6回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー
7回目	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー
8回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー
9回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う(WEARE曲の準備)
10回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー(WEARE曲の準備)
11回目	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー(WEARE曲の準備)
12回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー(WEARE曲の準備)
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	今年度から皆さんと一緒にART OF K-POPを作って行くことになったボーカル講師のキムゴンヒョンです！ゴンちゃんと呼んでください！FSMで授業をするのは初めてで緊張もしつつ，皆さんに会うことがとても楽しみです！皆さんが楽しく学べるように、一人ひとりが幸せになれるようなART OF K-POPにして行きたいと思います！まだまだ足りないところも沢山ありますが，是非是非みんなで楽しく，そして真剣に学んでいきましょう！！よろしくお願いいたします！

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	K-POPゼミ (K-POP Seminar)	必修選択	必修選択	年次	1・2	担当教員	キム・ゴンヒョン
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ダンス＆アクターズ科・K-POPアーティスト/K-POPパフォーマー					曜日・時限	金曜日2限目

【授業の学習内容】

海外でも高い評価を得ているK-Popの曲や今のトレンドに会う曲をピックアップし，歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音，ピッチ，リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い，業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

K-Popを学ぶことでアーティストとして，歌，ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-Popに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創，コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし，更に自分を活きる。

授業計画・内容	
1回目	ピッチ，リズム，言葉，アクセント，音色，声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを宿題として出す
2回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー
3回目	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー
4回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー
5回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
6回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー
7回目	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー
8回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー
9回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
10回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー
11回目	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー
12回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー
13回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	今年度から皆さんと一緒にART OF K-POPを作って行くことになったボーカル講師のキムゴンヒョンです！ゴンちゃんと呼んでください！FSMで授業をするのは初めてで緊張もしつつ，皆さんに会うことがとても楽しみです！皆さんが楽しく学べるように、一人ひとりが幸せになれるようなART OF K-POPにして行きたいと思います！まだまだ足りないところも沢山ありますが，是非是非みんなで楽しく，そして真剣に学んでいきましょう！！よろしくお願いいたします！

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 （英）	K-POPゼミ （ K-POP Seminar ）	必修 選択	必修選択	年次	1・2	担当教員	キム・ゴンヒョン
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・ダンス＆アクターズ科・K-POPアーティスト/K-POPパフォーマー					曜日・時限	金曜日2限目

【授業の学習内容】

海外でも高い評価を得ているK-Popの曲や今のトレンドに会う曲をピックアップし，歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音，ピッチ，リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い，業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

K-Popを学ぶことでアーティストとして，歌，ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-Popに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創，コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし，更に自分を活きる。

授業計画・内容	
1回目	ピッチ，リズム，言葉，アクセント，音色，声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを宿題として出す
2回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー
3回目	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー
4回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー
5回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う
6回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー
7回目	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー
8回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー
9回目	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う(WEARE曲の準備）
10回目	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレックションを宿題としてレクチャー(WEARE曲の準備）
11回目	ダンスのフリと一緒に歌い，その中で歌のレクチャー(WEARE曲の準備）
12回目	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目，口、表情なども共にレクチャー(WEARE曲の準備）
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	今年度から皆さんと一緒にART OF K-POPを作って行くことになったボーカル講師のキムゴンヒョンです！ゴンちゃんと呼んでください！FSMで授業をするのは初めてで緊張もしつつ，皆さんに会うことがとても楽しみです！皆さんが楽しく学べるように、一人ひとりが幸せになれるようなART OF K-POPにして行きたいと思います！まだまだ足りないところも沢山ありますが，是非是非みんなで楽しく，そして真剣に学んでいきましょう！！よろしくお願いいたします！

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	パフォーミングプロジェクト （ Performing Project ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	池田祥子
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル					曜日・時限	火曜日1限目・2限目

【授業の学習内容】

往年の名曲から現代音楽、または世界でもトップクラスのエンターテイメント演目が集結するブロードウェイミュージカル楽曲を主に課題とし、世界に認められているより深い感情表現や体の使い方を学ぶ。また、作品制作などの特定の課題に対し、研究・演習からプレゼンテーションまでを行い、実践力を養う。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

ヴォーカリストとしてステージ上で機能するために必要な歌唱、表現、演出知識、コミュニケーションを含めた自身の総合プロデュースが身に付く。

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①Good morning Baltimore ②I know where I've been レクチャー（発音、音程、リズム、コーラスワーク）
2回目	課題曲①②復習・チェック
3回目	課題曲①②復習・チェック、③Dancing Queen レクチャー（発音、音程、リズム、コーラスワーク）
4回目	課題曲③復習・チェック、リードチェック
5回目	課題曲③復習・チェック、リードチェック、④Littie shop of horrors レクチャー（発音、音程、リズム、コーラスワーク）
6回目	課題曲④復習・チェック、リードチェック
7回目	課題曲④復習・チェック、リードチェック、⑤Zero to hero レクチャー（発音、音程、リズム、コーラスワーク）
8回目	発表会曲リードオーディション
9回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング（イベントを遂行するための各所担当決め）
10回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング
11回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング
12回目	発表会通しリハーサル
13回目	前期発表会本番
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲に関連するミュージカル、映画、動画の鑑賞や歌詞の和訳の準備など
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	世界のトップクラスのエンターテイメントをしっかり学ぶことでより一つでも多くを吸収出来る授業内容です。出来るか出来ないかで判断する前に、まずは一緒に挑戦してみましょう！一つずつ挑戦を繰り返し、その先に待つ自分自身を想像しながら一緒に進んでいきましょう！コーラスの音振りなど、欠席分の授業は自己責任で他の履修生から録音を必ずもらって準備、対応をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器

科目名（英）	パフォーミングプロジェクト（Performing Project）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	池田祥子
		授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル					曜日・時限	火曜日1限目・2限目

【授業の学習内容】

往年の名曲から現代音楽、または世界でもトップクラスのエンターテイメント演目が集結するブロードウェイミュージカル楽曲を主に課題とし、世界に認められているより深い感情表現や体の使い方を学ぶ。また、作品制作などの特定の課題に対し、研究・演習からプレゼンテーションまでを行い、実践力を養う。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

ヴォーカリストとしてステージ上で機能するために必要な歌唱、表現、演出知識、コミュニケーションを含めた自身の総合プロデュースが身に付く。

授業計画・内容	
1回目	課題曲① ②レクチャー
2回目	課題曲①②復習・チェック
3回目	課題曲①②復習・チェック、③レクチャー
4回目	課題曲③復習・チェック、リードチェック
5回目	課題曲③復習・チェック、リードチェック、④レクチャー
6回目	課題曲④復習・チェック、リードチェック
7回目	発表会曲リードオーディション
8回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング
9回目	リード・コーラス総合チェック、役割分担ミーティング
10回目	コーラス総合チェック、演出仕上げ
11回目	通しリハ
12回目	発表会本番
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	課題曲に関連するミュージカル、映画、動画の鑑賞や歌詞の和訳の準備など
評価方法	■授業へ取り組む姿勢（40%） ■各課題曲での目標の達成度、実践度（30%） ■自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生へのメッセージ	世界のトップクラスのエンターテイメントをしっかり学ぶことでより一つでも多くを吸収出来る授業内容です。出来るか出来ないかで判断する前に、まずは一緒に挑戦してみましょう！一つずつ挑戦を繰り返し、その先に待つ自分自身を想像しながら一緒に進んでいきましょう！コーラスの音振りなど、欠席分の授業は自己責任で他の履修生から録音を必ずもらって準備、対応をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器

科目名（英）	ショーケースプロジェクト (Showcase Project)	選択必修	必修	年次	1	担当教員	池田祥子
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/ シンガーソングライター	授業形態	演習	総時間（単位）	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日4限目

【授業の学習内容】

Showcaseに向けて選曲から楽曲を完成させるまでの一連のプロセスのレクチャーとアドバイス
（選曲➡和訳➡楽曲分析➡ポエム（和訳読み）➡英語読み➡パフォーマンス➡振り返り）

〈講師プロフィール〉
年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。

【到達目標】

レパートリーとして英語の曲でパフォーマンスできるようになろう♪ヴォーカリストとしてのマインド、ノウハウ、スキルを身に付けよう♪

授業計画・内容	
1回目	プロセスが大事♪　Showcase説明、課題曲
2回目	成長するための選択をしよう♪　選曲について、アーティスト&楽曲紹介、課題曲
3回目	コレがステージングの基本♪　目線、マイキング　課題曲
4回目	アナライズで歌をもっと身近に♪　歌とキャラクター分析、可能な人は歌　自由曲①
5回目	歌唱力向上の最大の秘訣とは？　聴く力について、歌唱指導　自由曲①
6回目	さあ！歌ってみよう♪　パフォーマンス➡振り返り　自由曲①
7回目	より自分のものにするために♪　訳、ポエム、英語読み、可能な人は歌　自由曲②
8回目	起承転結のあるパフォーマンスと存在感にも繋がる♪　立ち位置分析、歌唱指導　自由曲②
9回目	学びを活かして歌ってみよう♪　パフォーマンス➡振り返り　自由曲②
10回目	更に深さを出せるようになろう♪　歌、キャラクター分析、訳、ポエム、英語読み、可能な人は歌　自由曲③
11回目	歩みを阻むものとそれに打ち勝つ力♪　恐れ、緊張について、歌唱指導　自由曲③
12回目	学びと気づきを武器に歌ってみよう♪　パフォーマンス➡振り返り　自由曲③
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	課題曲、自由曲の歌詞の意味調べ、発音の練習、パフォーマンスの練習
評価方法	実技テスト（各自課題曲の実演発表にて総合評価）
受講生へのメッセージ	毎授業が皆さんのステージです♪沢山のチャレンジが皆さんの可能性を最大限に引き出してくれます♪憧れに向かって着実に前進していきましょう♪

【使用教科書・教材・参考書】

iPad、ボイスレコーダー、自由曲歌詞

科目名（英）	ショーケースプロジェクト（ Showcase Project ）	選択必修	必修	年次	1	担当教員	池田祥子
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/ シンガーソングライター	授業形態	演習	総時間（単位）	60（ 4 ）	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日4限目

【授業の学習内容】

Showcaseに向けて選曲から楽曲を完成させるまでの一連のプロセスのレクチャーとアドバイス(選曲➡和訳➡楽曲分析➡ポエム（和訳読み）➡英語読み➡パフォーマンス➡振り返り)①選曲：無理のない曲でコントロールできる曲を勧める、選んできてもらう②和訳、楽曲分析、ポエム：楽曲の意味、言葉を深く曲を自分の中に落とし込む③英語読み：発音④パフォーマンス：歌唱、目線、表現、ポジショニング⑤振り返り：録音、録画による自己評価

〈講師プロフィール〉

年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。

【到達目標】

レパートリーとして英語の曲でパフォーマンスできるようになろう♪ヴォーカリストとしてのマインド、ノウハウ、スキルを身に付けよう♪

授業計画・内容	
1回目	前期と夏休みの集大成♪　発表会
2回目	客観的な選曲ができるようになろう♪　受容型、克服型、強化型の選曲について　自由曲①
3回目	アンサンブルのためにどんな音楽か演奏形態か探ってみよう♪　ヴォーカル以外の楽曲分析　自由曲①
4回目	楽曲や歌唱に客観性をもって歌ってみよう♪　パフォーマンス➡振り返り　自由曲①
5回目	意味を理解して歌おう♪　楽曲分析、和訳　自由曲②
6回目	更に深く意味を理解して歌おう♪　ポエム　自由曲②
7回目	世界観と感情表現で歌ってみよう♪　パフォーマンス➡振り返り　自由曲②
8回目	目線、表現、ポジショニングでステージングを強化しよう♪　自由曲③
9回目	表情、メイク、衣装でステージングを更に強化しよう♪　自由曲③
10回目	歌とステージングでイキイキとパフォーマンスしよう♪　パフォーマンス➡振り返り　自由曲③
11回目	テスト/振り返り
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習時間外学習	課題曲、自由曲の歌詞の意味調べ発音の練習歌唱の練習パフォーマンスの練習
評価方法	実技テスト（各自課題曲の実演発表にて総合評価）
受講生へのメッセージ	ステージは皆さんの個性が輝く場所です。コピーを徹底し、技術を身に付ける事で、皆さんの個性を輝かせ方を学んでいきましょう。人前に立つ事で緊張する人も、不安要素を一つ一つ克服する事と、楽曲と自分を繋げることで克服できます。気持ちよくステージに立てるよう、沢山勉強していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

iPad、ボイスレコーダー、自由曲歌詞

科目名 （英）	ショーケースプロジェクト （ Showcase Project ）	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	池田祥子
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/ シンガーソングライター					曜日・時限	木曜日3限目

【授業の学習内容】
ショーケース（業界向けライブオーディション）に向けて、自身のシンガーとしてのセールスポイントを客観的に分析し選曲、準備を行い、本番を想定したトータルパフォーマンスを仕上げる。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】
自由曲選曲により自身の音楽の幅を広げていける、新たなチャレンジが出来る。自分の長所・短所を客観的に見ることによりよりニーズに応えられる選択が出来る様になる。ソロシンガーとしての自立心、責任感を持てるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、特別課題曲レクチャー、発表
2回目	自由曲①1コーラス発表、フィードバック
3回目	自由曲①フルコーラス発表、フィードバック
4回目	自由曲①トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
5回目	自由曲②1コーラス発表、フィードバック
6回目	自由曲②フルコーラス発表、フィードバック
7回目	自由曲②トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
8回目	自由曲③1コーラス発表、フィードバック
9回目	自由曲③フルコーラス発表、フィードバック
10回目	自由曲③トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
11回目	自由曲発表会　リハーサル①
12回目	自由曲発表会　リハーサル②
13回目	総合発表会
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	自分の持つ力を最大限に発揮するためには、徹底的に準備をすることです。自分というアーティストにどのような可能性が隠されているかは好みとは別にある様々な良い楽曲と向かい合い、初めて知る事が出来ます。知らなかった音楽、シンガー、楽曲にたくさんトライし、丁寧に準備・練習し隠れた力に気づきそれを育てていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	ショーケースプロジェクト (Showcase Project)	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	池田祥子
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科・ヴォーカルプロフェッショナル/ シンガーソングライター					曜日・時限	木曜日3限目

【授業の学習内容】

ショーケース（業界向けライブオーディション）に向けて、自身のシンガーとしてのセールスポイントを客観的に分析し選曲、準備を行い、本番を想定したトータルパフォーマンスを仕上げる。
〈講師プロフィール〉
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。

【到達目標】

自由曲選曲により自身の音楽の幅を広げていける、新たなチャレンジが出来る。自分の長所・短所を客観的に見ることによりよりニーズに応えられる選択が出来る様になる。ソロシンガーとしての自立心、責任感を持てるようになる。

授業計画・内容	
1回目	自由曲④1コーラス発表、フィードバック
2回目	自由曲④フルコーラス発表、フィードバック
3回目	自由曲④トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
4回目	自由曲⑤1コーラス発表、フィードバック
5回目	自由曲⑤フルコーラス発表、フィードバック
6回目	自由曲⑤トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
7回目	自由曲⑥1コーラス発表、フィードバック
8回目	自由曲⑥フルコーラス発表、フィードバック
9回目	自由曲⑥トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
10回目	自由曲⑦フルコーラス発表、フィードバック
11回目	自由曲⑦トータルパフォーマンス発表（フルコーラス、歌詞暗記、振り付けやステージングを仕上げた状態のもの）
12回目	総合発表会　本番
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生へのメッセージ	自分の持つ力を最大限に発揮するためには、徹底的に準備をすることです。自分というアーティストにどのような可能性が隠されているかは好みとは別にある様々な良い楽曲と向かい合い、初めて知る事が出来ます。知らなかった音楽、シンガー、楽曲にたくさんトライし、丁寧に準備・練習し隠れた力に気づきそれを育てていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	ゼミ（Seminar）	選択必修	必修選択	年次	2	担当教員	宗正恭平
学科・コース	プロミュージシャン科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2限目

【授業の学習内容】
・現代の音楽業界で標準となっているデジタル楽器を扱えるようになる
・DAW(Ableton Live)の操作を覚える
・楽曲制作の経験を通して、アイデアを形にする力を身に付ける
（講師プロフィール）
福岡中心にPops/Rock/Jazzなどは広いフィールドで活躍するほかにも、編曲・ミュージカルでの演奏アレンジなど活動は多岐にわたる

【到達目標】
・デジタル機器を1つの楽器として捉え、その特徴を生かした「生楽器ではできない表現」
と従来の「生楽器でしかできない表現」を融合させた演奏を可能にする知識とアイデアを身につけて新しいスタイルの確立を目指す
・デジタル機器にも精通したマルチなミュージシャン／ボーカリストを目指す

授業計画・内容	
1回目	DAW(Ableton Live)の基本操作1
2回目	DAW(Ableton Live)の基本操作2
3回目	DAW(Ableton Live)の基本操作3
4回目	Ableton Pushの基本操作1
5回目	Ableton Pushの基本操作2
6回目	Ableton Pushの基本操作3
7回目	楽曲制作1-1
8回目	楽曲制作1-2
9回目	楽曲制作1-3
10回目	楽曲制作1-4
11回目	楽曲制作1-5
12回目	楽曲発表1
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習時間外学習	・授業で使用するデジタル機器の音色や設定などの事前準備を行う ・アイデアを固め、制作・演奏に反映させられるよう準備をしておく
評価方法	・授業へ取り組む姿勢（40%） ・各制作曲での目標の達成度、実戦度（30%） ・自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生へのメッセージ	現代の音楽シーンに必要不可欠なデジタル機材・楽器を使用した「新しいパフォーマンス」を作り上げていくプロセスを通じて、 自己実現力、アイデア力、コミュニケーション力を身につけるクラスです。 自由な発想と広い視野を持ち、楽しむ気持ちを忘れずに受講しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

・Mac
・Ableton Push
・各パートの楽器

科目名（英）	ゼミ（Seminar）	選択必修	必修選択	年次	2	担当教員	宗正恭平
学科・コース	プロミュージシャン科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日2限目

【授業の学習内容】

・現代の音楽業界で標準となっているデジタル楽器を扱えるようになる
・DAW(Ableton Live)の操作を覚える
・楽曲制作の経験を通して、アイデアを形にする力を身に付ける
（講師プロフィール）
福岡中心にPops/Rock/Jazzなどは広いフィールドで活躍するほかにも、編曲・ミュージカルでの演奏アレンジなど活動は多岐にわたる

【到達目標】

・デジタル機器を1つの楽器として捉え、その特徴を生かした「生楽器ではできない表現」
と従来の「生楽器でしかできない表現」を融合させた演奏を可能にする知識とアイデアを身につけて新しいスタイルの確立を目指す
・デジタル機器にも精通したマルチなミュージシャン／ボーカリストを目指す

授業計画・内容	
1回目	楽曲制作2-1
2回目	楽曲制作2-2
3回目	楽曲制作2-3
4回目	楽曲制作2-4
5回目	楽曲制作2-5
6回目	楽曲発表2
7回目	楽曲制作3-1
8回目	楽曲制作3-2
9回目	楽曲制作3-3
10回目	楽曲制作3-4
11回目	楽曲制作3-5
12回目	楽曲発表3
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習時間外学習	・授業で使用するデジタル機器の音色や設定などの事前準備を行う ・アイデアを固め、制作・演奏に反映させられるよう準備をしておく
評価方法	・授業へ取り組む姿勢（40%） ・各制作曲での目標の達成度、実戦度（30%） ・自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生へのメッセージ	現代の音楽シーンに必要不可欠なデジタル機材・楽器を使用した「新しいパフォーマンス」を作り上げていくプロセスを通じて、 自己実現力、アイデア力、コミュニケーション力を身につけるクラスです。 自由な発想と広い視野を持ち、楽しむ気持ちを忘れずに受講しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

・Mac
・Ableton Push
・各パートの楽器

科目名（英）	テクニックⅠ（ベース） Bass Technique Ⅰ	選択必修	選択必修	年次	1	担当教員	長谷 俊輔
		授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	1年 前期
学科・コース	プロミュージシャン科 ベースコース					曜日・時限	火曜 2限

【授業の学習内容】

エレキベースを演奏する上で必要な知識と技術、また音楽理論の習得や楽器のメンテナンステクニックなど、演奏以外の面での能力の向上を計り、エレキベースを通して音楽や楽器そのものについて学び、身につけることを目標とする。
（講師プロフィール）
Pops/Rock洋楽邦楽を問わずライブサポートミュージシャンとして活動、また自身のバンドを率いて全国的に活動の幅を広げている

【到達目標】

・演奏時の基本的なフォームの形成・押弦の正しいやり方の理解・2フィンガー奏法の基礎の体得

授業計画・内容	
1回目	エレキベースの各パーツの名称とその役割についてと、演奏時の基本的の楽器の持ち方
2回目	押弦とピッキングの初歩として、メジャースケールをワンポジションで弾いてみる
3回目	押弦する各指のバランスを整えるための基礎トレーニング
4回目	ローポジションからハイポジションまで指板上を動くトレーニング
5回目	2オクターブメジャースケールで指板上を動くトレーニング
6回目	「ハンマリング・オンとプリング・オフ」「マイナースケール」
7回目	ロックンロールフレーズでピッキング強化
8回目	ダンスミュージックでのオクターブ奏法でピッキング強化① BPM＝100～120
9回目	ダンスミュージックでのオクターブ奏法でピッキング強化② BPM＝120～140
10回目	開放弦を混ぜたフレーズ（オクターブフレーズ含む）で開放弦特有のニュアンスに慣れる
11回目	サムピング（親指）を駆使したミュート演奏トレーニング
12回目	押弦側の指でのミュート演奏でスタッカートとテヌートを弾き分けるトレーニング
13回目	まとめ
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	ウォーミングアップとなる継続的な基礎トレーニングと各週で渡すテキストでの復習。
評価方法	授業態度[30%]課題への取り組みとその成果[30%]出席率[40%]
受講生への メッセージ	一緒に学び、ベースの楽しさを知って行きましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

各自のMacBook［もしくはiPad］※基本的にテキストはデータで配信します。

科目名（英）	テクニックⅡ(ベース)	選択必修	選択必修	年次	1	担当教員	長谷 俊輔
	Bass Technique Ⅱ	授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30	開講区分	1年　後期
学科・コース	プロミュージシャン科 ベースコース				2	曜日・時限	火曜 2限

【授業の学習内容】

エレキベースを演奏する上で必要な知識と技術、また音楽理論の習得や楽器のメンテナンステクニックなど、演奏以外の面での能力の向上を計り、エレキベースを通して音楽や楽器そのものについて学び、身につけることを目標とする。
（講師プロフィール）
Pops/Rock洋楽邦楽を問わずライブサポートミュージシャンとして活動、また自身のバンドを率いて全国的に活動の幅を広げている

【到達目標】

・ピック弾き、スラップの基礎の体得。・演奏以外の音作りについての知識や、演奏環境を整える術を身につける。

授業計画・内容	
1回目	高速ロックンロールフレーズでの2フィンガー強化
2回目	異弦同フレットフレーズでの押弦の対応方法
3回目	ピック弾き① ダウン、アップ、オルタネイトでの基礎トレーニング
4回目	ピック弾き② ダウンピッキングを中心としたバッキング練習
5回目	Slap① サムピングとプルでの発音とSlapでのオクターブフレーズ
6回目	Slap② Slapでのオクターブフレーズを用いたバッキング練習
7回目	エレキベースの音作りについて①【数種類のアンプのキャラクターの違いの体感】
8回目	エレキベースの音作りについて②【グラフィックEQでの周波数の理解】
9回目	ライブ、イベントを想定したラインのみでの音作りとその仕組みについて
10回目	前期後期の復習を兼ねた制作課題【演奏動画を作る】① 企画
11回目	前期後期の復習を兼ねた制作課題【演奏動画を作る】② 撮影&編集
12回目	前期後期の復習を兼ねた制作課題【演奏動画を作る】③ アカウント作成とアップロード
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	ウォーミングアップとなる継続的な基礎トレーニングと各週で渡すテキストでの復習。
評価方法	授業態度[30%]課題への取り組みとその成果[30%]出席率[40%]
受講生へのメッセージ	一緒に学び、ベースの楽しさを知って行きましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

各自のMacBook [もしくはiPad] ※基本的にテキストはデータでお渡しします。

科目名（英）	テクニックⅢ(ベース)	選択必修	選択必修	年次	2	担当教員	長谷 俊輔
	Bass Technique Ⅲ	授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30	開講区分	2年 前期
学科・コース	プロミュージシャン科 ベースコース				2	曜日・時限	金曜 2限

【授業の学習内容】

エレキベースを演奏する上で必要な知識と技術、また音楽理論の習得や楽器のメンテナンステクニックなど、演奏以外の面での能力の向上を計り、エレキベースを通して音楽や楽器そのものについて学び、身につけることを目標とする。
（講師プロフィール）
Pops/Rock洋楽邦楽を問わずライブサポートミュージシャンとして活動、また自身のバンドを率いて全国的に活動の幅を広げている

【到達目標】

・細かいリズムの中でのピッキングコントロールの感覚を身につける。・音価のコントロール、休符かゴーストかの選択肢の幅を広げる。

授業計画・内容	
1回目	ファンキーゴーストノート練習フレーズにて16beatのトレーニング① 細かいビートに慣れる。
2回目	ファンキーゴーストノート練習フレーズにて16beatのトレーニング① 細かいビートに慣れる。
3回目	ラッツ&スターの「め組の人」で16beatのポップス練習①
4回目	ラッツ&スターの「め組の人」で16beatのポップス練習②
5回目	ファンキーゴーストノート練習フレーズにて16beatのトレーニング② 隙間のあるフレーズでのテンポキープ。
6回目	ファンキーゴーストノート練習フレーズにて16beatのトレーニング② 隙間のあるフレーズでのテンポキープ。
7回目	細かいビートの中での音価のコントロールトレーニング①
8回目	細かいビートの中での音価のコントロールトレーニング②
9回目	ファンキーゴーストノート練習フレーズにて16beatのトレーニング③ 16beatの裏を強調する。
10回目	ファンキーゴーストノート練習フレーズにて16beatのトレーニング③ 16beatの裏を強調する。
11回目	Foorinの「パプリカ」で16beatとゴーストノートに慣れる①
12回目	Foorinの「パプリカ」で16beatとゴーストノートに慣れる②
13回目	まとめ
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	ウォーミングアップとなる継続的な基礎トレーニングと各週で渡すテキストでの復習。
評価方法	授業態度[30%]課題への取り組みとその成果[30%]出席率[40%]
受講生へのメッセージ	一緒に学び、ベースの楽しさを知って行きましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

各自のMacBook [もしくはiPad] ※基本的にテキストはデータで配信します。

科目名（英）	テクニックⅣ(ベース) Bass Technique Ⅳ	選択必修	選択必修	年次	2	担当教員	長谷 [illegible]
学科・コース	プロミュージシャン科 ベースコース	授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 / 2	開講区分	2年 後期
						曜日・時限	金曜 2限

【授業の学習内容】

エレキベースを演奏する上で必要な知識と技術、また音楽理論の習得や楽器のメンテナンステクニックなど、演奏以外の面での能力の向上を計り、エレキベースを通して音楽や楽器そのものについて学び、身につけることを目標とする。
（講師プロフィール）
Pops/Rock洋楽邦楽を問わずライブサポートミュージシャンとして活動、また自身のバンドを率いて全国的に活動の幅を広げている

【到達目標】

・スタンダードな奏法だけでなく特殊な奏法の習得し、演奏上の選択肢を広げる。・自己発信能力の向上

授業計画・内容	
1回目	歪みペダルを使ったダブルストップでの高速リフ
2回目	フレットレスベースでのバッキングとメロディ演奏
3回目	ナチュラルハーモニクスと人工ハーモニクスについて
4回目	Slap③ サムピングのダウン＆アップでのロータリー奏法
5回目	Slap④ ダブルプルを用いたSlapリフ
6回目	ベースのコードバッキングでの音の選択について[ローインターバルリミット]
7回目	押弦でRoot&5th、タッピングで3rd・7thを弾く特殊バッキングパターン
8回目	jazzスタンダード曲を使ったSoloベース
9回目	ルーパーを使った一人三役[ベース&コード&メロディ]
10回目	前期後期の復習を兼ねた制作課題【演奏動画を作る】① 企画
11回目	前期後期の復習を兼ねた制作課題【演奏動画を作る】② 撮影&編集
12回目	前期後期の復習を兼ねた制作課題【演奏動画を作る】③ アップロード
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	ウォーミングアップとなる継続的な基礎トレーニングと各週で渡すテキストでの復習。
評価方法	授業態度[30%]課題への取り組みとその成果[30%]出席率[40%]
受講生へのメッセージ	一緒に学び、ベースの楽しさを知って行きましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

各自のMacBook [もしくはiPad] ※基本的にテキストはデータでお渡しします。

科目名 （英）	ベースラインコンセプト1 （　　Bassline Consepts Ⅰ　　）	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	丹羽肇
		授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分	1年　前期
学科・コース	プロミュージシャン科 ベースコース					曜日・時限	木曜 4限

【授業の学習内容】

音楽の3要素であるメロディ・リズム・ハーモニーに対する感性、知識、技能を深めるため五線上の音符やリズム譜に親しむ。ベースを専門分野とするために楽器の各部の知識、音が出る仕組み、メンテナンスの基礎を学習する。ベースラインを構築する為に必要なリズムトレーニング(8ビート系)を学習しリズム譜読み、書き取りを学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため読み取った教材のリズムをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。ベースラインを構築する為に必要なコード(3和音、属7)のコードトーンを学習する。ベースラインを構築する為に必要なメジャースケール、ナチュラルマイナースケールを学習する。ベースラインを構築しアンサンブル中で演奏する為に必要な音楽性を身につけるために楽曲を用いてAメロ・Bメロ・サビ等曲の構成を書きとる方法を学習する。ベースラインに彩りを加えるために必要な経過音の知識・センスを学習する。

（講師プロフィール）

【到達目標】

自分の楽器をきちんとした状態で維持できるようになる。 カウント、小節数を数えながら楽曲を聴けるようになる。Aメロ・Bメロ・サビ等の楽曲の構成について理解できるようになる。4小節単位・8小節単位の感覚が身につく。コード譜を見てルート音を弾きながら要所に経過音を挿入できるようになる。主に8ビートについて楽曲毎のベースラインの違い、ドラムとのコンビネーションを聞き取れるようになる。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため教材にそったベースラインをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。

授業計画・内容	
1回目	エレクトリックベース各部の名称、音が出る仕組みを説明できる。楽器の簡単な健康チェックができる。12個の音の場所が説明できる。
2回目	Cメジャースケールが複数の場所で弾ける。 コード譜の8分音符のルート弾きができる① 8ビートのリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
3回目	Cナチュラルマイナースケールが複数の場所で弾ける。 コード譜の8分音符のルート弾きができる② 8ビートのリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
4回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習① コード譜の8分音符のルート＋5度弾きができる① 8ビートのリズムが読める③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
5回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習② コード譜の8分音符のルート＋5度弾きができる② 8ビートのリズムが読める④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
6回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習③ コード譜の8分音符の1＋5＋7度弾きができる① 8ビートのリズムが読める⑤読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
7回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習④ コード譜の8分音符の1＋5＋7度弾きができる② 8ビートのリズムが読める⑥読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
8回目	Aナチュラルマイナースケールを用いたスケール練習① コード譜の8分音符の1＋3＋5度弾きができる① 8ビートのリズムが読める⑦読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
9回目	Aナチュラルマイナースケールを用いたスケール練習② コード譜の8分音符の1＋3＋5度弾きができる② 8ビートのリズムが読める⑧読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
10回目	Aマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習① コード譜の1＋3＋5＋7弾きができる。8ビートのリズム譜が書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
11回目	Aマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習② コード譜の1＋3＋5＋7弾きができる。8ビートのリズム譜が書き取れる②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
12回目	Aマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習③ コード譜のルート弾きをしながら経過音を挿入できる。 8ビートのリズム譜が書き取れる③ 読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。 到達度確認
13回目	まとめ
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	″授業へ取り組む姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）″□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽のノリ(グルーブ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。
テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。
その他、資料配布。

科目名（英）	ベースラインコンセプトⅡ （ Bassline Consepts Ⅱ ）	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	丹羽肇
		授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	1年 後期
学科・コース	プロミュージシャン科 ベースコース					曜日・時限	木曜 4限

【授業の学習内容】

"音楽の3要素であるメロディ・リズム・ハーモニーに対する感性、知識、技能を深めるため五線上の音符やリズム譜に親しむ。ベースラインを構築する為に必要なリズムトレーニング(16ビート系、3連系)を学習しリズム譜読み、書き取りを学習する。ベースラインを構築する為に必要なコード(4和音、属7)のコードトーンを学習する。ベースライン、フィルイン等を構築する為に必要なアイオニアン・ドリアン・フリジアン・フリジアンメジャー・リディアン・ミクソリディアン・エオリアン・ロクリアンの各スケールを学習する。ベースラインを構築しアンサンブル中で演奏する為に必要な音楽性を身につけるために楽曲を用いてAメロ・Bメロ・サビ等曲の構成及びルート音を書きとる方法を学習する。ベースラインに彩りを加えるために必要な経過音の知識・用いる場合の条件等を学習する。重要なコード進行の1つであるツー・ファイブ・ワンについて学習する。 将来のDTM等の制作時の要求に応えるため学習した内容ををクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。

【到達目標】

カウント、小節数を数えながら楽曲を聴けるようになる。Aメロ・Bメロ・サビ等の楽曲の構成について理解できるようになる。ルート音が聞き取れるようになる。4小節単位・8小節単位の感覚が身につき、リピート、ダル・セーニョ、ダ・カーポ等の譜面の進行も読める。コード譜を見てルート音、3度、5度、7度の音を組み合わせて弾きながら要所に経過音を挿入できるようになる。8ビートに加えて16ビート、3連系ついて楽曲毎のベースラインの違い、ドラムとのコンビネーションを聞き取れるようになる。メジャー及びマイナーキーのツー・ファイブ・ワンのコード進行のスケール及びアルペジオが弾けるようになる。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースラインを作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。

授業計画・内容	
1回目	ドリアンスケールの練習① ルート音聞き取り練習① 16ビートのリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
2回目	ドリアンスケールの練習② ルート音聞き取り練習② 16ビートのリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
3回目	フリジアンスケールの練習 ルート音、構成の聞き取り練習① 16ビートのリズムが読める③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
4回目	フリジアンメジャースケールの練習 ルート音、構成の聞き取り練習② 16ビートのリズムが読める④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
5回目	リディアンスケールの練習 ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習① 3連系のリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
6回目	ミクソリディアンスケールの練習① ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習② 3連系のリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
7回目	ミクソリディアンスケールの練習② ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習③ 16ビートのリズムが書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
8回目	エオリアンスケールの練習 ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習④ 16ビートのリズムが書き取れる②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
9回目	ロクリアンスケールの練習 メジャーキーのツー・ファイブ・ワンのスケールの練習 16ビートのリズムが書き取れる③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
10回目	各種スケール総合練習① メジャーキーのツー・ファイブ・ワンのアルペジオ練習 16ビートのリズムが書き取れる④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
11回目	各種スケール総合練習② マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのスケール練習 3連系のリズムが書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
12回目	ダイアトニックスケール及びアルペジオの総合練習 メジャーキー・マイナーキーのツー・ファイブ・ワンの総合練習 到達度確認
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番

準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組む姿勢(60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度(20%) 自己実現力と演奏力(歌唱力)の向上度(20%)"□
受講生へのメッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽のノリ(グルーブ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。
テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。
その他、資料配布。

科目名（英）	ベースラインコンセプトⅢ （ Bassline Consepts Ⅲ ）	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	丹羽肇
学科・コース	プロミュージシャン科 ベースコース	授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	2年 前期 木曜 3限

【授業の学習内容】

"1年次同名授業で習得したダイアトニックスケール及びメジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンにおけるスケール及びアルペジオを用いて様々な曲に対応したベースラインを構築・アレンジする方法を実際の曲などから簡易的なベース譜の作成練習を通して学習する。コード進行の基礎となるダイアトニックコードおよび付帯するセカンダリドミナント・リレイテッドⅡm7を暗記して簡易的なベース譜の作成効率を上げる。ディミニッシュコードのコードトーンとスケールと使用法を学習する。オルタードスケールと使用法を学習する。オリジナル曲に対してベースラインを構築する方法を学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため構築したベースラインをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。

（講師プロフィール）

2010 年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～

【到達目標】

メジャーキーのダイアトニックコード及び付帯するセカンダリドミナント・リレイテッドⅡm7をベースの指板を用いて表にまとめて書けるようになる。ダイアトニックコードのアルペジオ及びメジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのアルペジオが弾ける。曲のコード進行においてルート音、3度、5度、7度等を使用してベースラインを構築できる。構築したベースラインを演奏しながら効果的に経過音を挿入できる。曲のキーに対応したブルーススケールを用いてフィルイン及びベースソロがとれる。曲のコード進行に沿ったスケールを弾ける。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースライン・フィルイン等を作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。

授業計画・内容	
1回目	メジャーキーのダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡm7をまとめた表が書ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
2回目	アイオニアン、ドリアン、フリジアン、フリジアンメジャー、リディアン、ミクソリディアン、エオリアン、ロクリアンの各スケールが弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
3回目	メジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのスケール及びアルペジオが弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
4回目	既存の曲の譜面を見てルート音が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
5回目	既存の曲の譜面を見てルート音＋5度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
6回目	既存の曲の譜面を見てルート音＋3度＋5度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
7回目	既存の曲の譜面を見てルート音＋3度＋5度＋7度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
8回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
9回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける②与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
10回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける③与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
11回目	既存の曲の譜面を見てマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いてソロが取れる①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
12回目	既存の曲の譜面を見てマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いてソロが取れる② 与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。到達度確認
13回目	まとめ
14回目	9月特別講義
15回目	9月特別講義
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組む姿勢(60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度(20%) 自己実現力と演奏力(歌唱力)の向上度(20%)"□
受講生へのメッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽のノリ(グルーブ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。
テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。
その他、資料配布。

科目名 （英）	ベースラインコンセプトⅣ （　Bassline Consepts Ⅳ　）	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	丹羽肇
		授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分	2年　後期
学科・コース	プロミュージシャン科 ベースコース					曜日・時限	木曜 3限

【授業の学習内容】

″既存の曲、オリジナル曲を聴いてキーを特定する方法を学習する。そのキーでのコード進行をまとめた表を書く方法を学習する。またベース、ドラムの基本的なパターンを聞き取る練習をする。ルート音を聞き取る練習をする。聞き取ったルート音をコード進行をまとめた表に照らしてコードネームを類推し、確認する練習をする。それらを基にベースラインを構築する方法を学習する。ディミニッシュやオルタードスケールについて学習する。 リハーモナイズの基本を学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため学習した内容ををクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。

（講師プロフィール）

2010 年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013 年横浜ジャズプロムナードに出演。2015 年大阪高槻ジャズストリート、韓国の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016 年にNHK-FM「Session

【到達目標】

ベース音からその曲のキーを確定できる。そのキーでのコード進行をまとめた表を書ける。曲の構成要素を聞き取ることができる。構成要素ごとのベースとドラムのパターンを聞き取れる。ルート音とコード進行をまとめた表からコードを確定できる。コード進行からベースラインを構築する事ができる。簡単なリハーモナイズができる。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースライン・フィルイン等を作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。

授業計画・内容	
1回目	曲のキーを使ってあるベースの音から類推し、確認して確定できる。そのキーにおけるダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡm7をまとめた表が書ける。曲のキーを使ってあるベースの音から類推し、確認して確定できる。そのキーにおけるダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡm7をまとめた表が書ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音し
2回目	曲を聴きイントロ、Aメロ・Bメロ・サビ等の曲の構成要素を書き取れる。ベースとドラムを聴き基本的なパターンを聞き取れる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
3回目	曲のルート音を聞き取ることができる。そのルート音から曲のキーにおけるダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡm7をまとめた表を用いてコードを類推し確認できる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
4回目	確定したコード進行と聞き取った基本的なパターンから音使いの規則性を探し、曲の構成毎にまとめることができる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
5回目	作成した簡易的なベース譜を見ながらベースを演奏する事ができる。オリジナルのフィルイン等を聞き取り譜面にすることができる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
6回目	ディミニッシュコードのアルペジオとスケールを弾くことができる。パッシングディミニッシュの用法について説明できる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
7回目	オルタードスケールを弾くことができる。オルタードスケールの用法について説明できる。フリジアンメジャースケールとの違いを説明できる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
8回目	課題曲(唱歌等)のコード進行をアレンジし、メロディを阻害しないような別のコード進行を考えられる①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
9回目	課題曲(唱歌等)のコード進行をアレンジし、メロディを阻害しないような別のコード進行を考えられる②与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
10回目	オリジナル曲に対してダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡm7をまとめた表を基に与えられたリズムパターンの上でベースラインを構築する①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う
11回目	オリジナル曲に対してダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡm7をまとめた表を基に与えられたリズムパターンの上でベースラインを構築する①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。 期末テスト
12回目	オリジナル曲に対してダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡm7をまとめた表を基に与えられたリズムパターンの上でベースライン、フィルインを構成する。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。 到達度確認
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	″授業へ取り組む姿勢(60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度(20%) 自己実現力と演奏力(歌唱力)の向上度(20%)″口
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽のノリ(グルーブ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。
テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。
その他、資料配布。

<table>
<tr><td>科目名
（英）</td><td>グルーブアナライズⅠ
（ Groove AnalyzeⅠ ）</td><td>必修
選択</td><td>選択必修</td><td>年次</td><td>1</td><td>担当教員</td><td>松下一弘</td></tr>
<tr><td>学科・コース</td><td>プロミュージシャン科 ベースコース</td><td>授業
形態</td><td>講義/演習</td><td>総時間
（単位）</td><td>30
（ 2 ）</td><td>開講区分
曜日・時限</td><td>1年 前期
木曜 3限</td></tr>
</table>

【授業の学習内容】

世の中に多種あるジャンルや音楽スタイルのグルーヴ(ノリ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。
教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーブ・テクニックが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーブ)と、音楽知識と技術を習得する授業です。
（講師プロフィール）福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・J-Pop・ラテン・ジャズ・ゴスペル R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など、様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや 楽曲に合わせ、コントラバスとエレキベースを使い分けている。

【到達目標】

①コードネームから構成される音が理解できるようになる。②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock,Jazz,Funkといったジャンルと8beat,16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。④その特徴となる奏法技術やグルーブを経験・習得する。⑤演奏する楽器の種類(プレシジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。

授業計画・内容	
1回目	Donald"Duck"Dunn Cコード1発・6thへ繋ぐスライドテクニック・ブルーススタイルグルーブ。
2回目	Donald"Duck"Dunn C7コード1発・テンポ速めの8beat。
3回目	Adam Clayton Rock 8beatスタイル。コードチェンジのとき、少し下の音からスライドさせるグルーブ。
4回目	Adam Clayton Rock 8beatスタイル。左手で休符。休符でノリを作る。ピック弾き。
5回目	指板ポジション把握テキスト・エレキベースの指板にあるすべての音の位置を理解把握する① メジャースケール
6回目	指板ポジション把握テキスト・エレキベースの指板にあるすべての音の位置を理解把握する② ストレッチポジション
7回目	指板ポジション把握テキスト・エレキベースの指板にあるすべての音の位置を理解把握する③ 音使いとグルーブの関係
8回目	Tom Hamilton(Aero Smith) 8beatロックンロール。開放弦を混じえたライン。左手と右手のコンビネーション。
9回目	Tom Hamilton(Aero Smith) シャッフルビート。ブルースロックのウォーキングベース。メトロノームと合わせられる技術。
10回目	Robert"Kool"Bell ディスコグルーブ。16分音符を混じえた定番リズム。音の止め方。ミュート。音価コントロール。
11回目	Robert"Kool"Bell ディスコ風ライン。マンネリ化したベースラインにアイデアを。マイナーペンタトニックスケール。
12回目	グルーブとサウンドメイク(音色)、技術の関係。①
13回目	まとめ
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組む姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）"□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽のノリ(グルーブ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。
テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。
その他、資料配布。

科目名 （英）	グルーブアナライズⅡ （　Groove AnalyzeⅡ　）	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松下一弘
学科・コース	プロミュージシャン科 ベースコース	授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分 曜日・時限	1年 後期 木曜 3限

【授業の学習内容】

世の中に多種あるジャンルや音楽スタイルのグルーヴ(ノリ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。
教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーブ・テクニックが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーブ)と、音楽知識と技術を習得する授業です。
（講師プロフィール）福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・J-Pop・ラテン・ジャズ・ゴスペル R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など、様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや 楽曲に合わせ、コントラバスとエレキベースを使い分けている。

【到達目標】

①コードネームから構成される音が理解できるようになる。②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock,Jazz,Funkといったジャンルと8beat,16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。④その特徴となる奏法技術やグルーブを経験・習得する。⑤演奏する楽器の種類(プレシジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。

授業計画・内容	
1回目	Roscoe Beck ファンキーなR&Bグルーブ。ドラムとのコンビネーション。休符・16分音符の引っ掛け。
2回目	Roscoe Beck 4beat風ブルース。
3回目	Darryl Jones Cm1発コードリフ。ミディアムテンポの16th。
4回目	Darryl Jones ブルース系シャッフルパターン。ブルース12小節コード進行の確認。
5回目	サウンドメイクとグルーブの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ①
6回目	サウンドメイクとグルーブの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ②
7回目	サウンドメイクとグルーブの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ③
8回目	Paul McCartoney ロックンロールリフ。Day Tripper。
9回目	Paul McCartoney ロックブルースリフ。I Saw Her Standing There
10回目	グルーブとサウンドメイク(音色)、技術の関係。②
11回目	Tommy Shannon 7th系シャッフルビート。
12回目	Tommy Shannon 8beatファンクブルース。
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組む姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）"ロ
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽のノリ(グルーブ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。
テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。
その他、資料配布。

科目名 （英）	グルーブアナライズⅢ （ Groove AnalyzeⅢ ）	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	松下一弘
学科・コース	プロミュージシャン科 ベースコース	授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	2年 前期 木曜 4限

【授業の学習内容】
世の中に多種あるジャンルや音楽スタイルのグルーヴ(ノリ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。
教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーブ・テクニックが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーブ)と、音楽知識と技術を習得する授業です。
（講師プロフィール）福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・J-Pop・ラテン・ジャズ・ゴスペル R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など、様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや 楽曲に合わせ、コントラバスとエレキベースを使い分けている。

【到達目標】
①コードネームから構成される音が理解できるようになる。②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock,Jazz,Funkといったジャンルと8beat,16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。④その特徴となる奏法技術やグルーブを経験・習得する。⑤演奏する楽器の種類(プレシジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。

授業計画・内容	
1回目	Anthony Jackson ピック弾きでハーフタイムシャッフル。正確なオルタネイトピッキングとグルーブ。
2回目	Anthony Jackson ラテンブラジルグルーブ。音価コントロール。2拍目と4拍目のスルド。
3回目	Chuck Rainey ダブルストップ奏法。ワンフィンガー奏法でのソウル・ファンク・R&Bグルーブ。
4回目	Chuck Rainey 高速オクターブフレーズ。ポジションシフト。R＆Bスタイル。
5回目	特殊テクニックとグルーブをかけ合わせる①ハーモニクス
6回目	Jaco Pastorius ベースソロ曲「Portrait Of Tracy」
7回目	Jaco Pastorius 16thファンクスタイル。ゴーストノートでノリを作る。
8回目	スラップテクニック復習。サウンドメイク。定番16thファンクグルーブ。
9回目	Marcus Miller 16thファンクスタイルDmのグルーブ。マイナーペンタトニックスケールの定番フィル。
10回目	Marcus Miller Smooth Jazzスタイル。ハーフタイムシャッフルグルーブ。
11回目	Louis Johnson ダブルストップ使用スラップグルーブ。Musicman①
12回目	Louis Johnson ダブルストップ使用スラップグルーブ。Musicman②
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	″授業へ取り組む姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）″□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽のノリ(グルーブ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。
テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。
その他、資料配布。

科目名 （英）	グルーブアナライズⅣ （ Groove AnalyzeⅣ ）	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	松下一弘
学科・コース	プロミュージシャン科 ベースコース	授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	2年　後期 木曜 4限

【授業の学習内容】

世の中に多種あるジャンルや音楽スタイルのグルーヴ(ノリ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。
教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーブ・テクニックが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーブ)と、音楽知識と技術を習得する授業です。
（講師プロフィール）福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・J-Pop・ラテン・ジャズ・ゴスペル R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など、様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや 楽曲に合わせ、コントラバスとエレキベースを使い分けている。

【到達目標】

①コードネームから構成される音が理解できるようになる。②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock,Jazz,Funkといったジャンルと8beat,16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。④その特徴となる奏法技術やグルーブを経験・習得する。⑤演奏する楽器の種類(プレシジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。

授業計画・内容	
1回目	James Jemarson モータウン・ソウルR&Bグルーブ。プレシジョンベース・フラットワウンド。楽器とグルーブの関係。
2回目	James Jemarson モータウングルーブ②16th シンコペーションのグルーブ。
3回目	Willie Weeks ソウル・モータウン。マイナーペンタトニックスケールの定番曲・ベースライン。
4回目	Willie Weeks メロウなリズミックなライン。複雑なシンコペーション・レイキング。
5回目	サウンドメイクとグルーブの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ①
6回目	サウンドメイクとグルーブの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ②
7回目	サウンドメイクとグルーブの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ③
8回目	Sting ハーモニクス入りレゲエライン。
9回目	Sting 呼吸するレゲエグルーブ。Englishman in new york
10回目	Ray Brown ジャズ4beatグルーブ。Med Swing。スウィングとは。
11回目	Ray Brown ジャズBossa Nova。
12回目	Juan Formell ラテン。トゥンバオ・アフロ・キューバンのグルーブ。
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	″授業へ取り組む姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）″ロ
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽のノリ(グルーブ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。
テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。
その他、資料配布。

科目名（英）	テクニックⅠ（ギター） （ Technique I (Guitar) ）	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	桐明航平
		授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	1年次 前期
学科・コース	プロミュージシャン科 ギターコース					曜日・時限	水曜 4限

【授業の学習内容】
ギターで音楽を作る・表現する上で欠かせないテクニックを、基礎から学びます。様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バッキング・コードワーク、フィンガリング・ピッキングなどのリードテクニック、チョーキング・ビブラートなどの表現上のテクニック、それらにリズムのアイデアも加え応用する。
（講師プロフィール）
さまざまなアーティストのサポートギタリストとして、ライブやレコーディングに参加する。

【到達目標】
それぞれのジャンルに適応したコードワークやソロワークができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オクターブポジションの確認
2回目	指板上の音名の把握
3回目	基本的なリズムトレーニング
4回目	フィンガリングとダウンピッキング
5回目	フィンガリングとオルタネイトピッキング
6回目	8th cutting
7回目	16th cutting
8回目	チョーキング・ビブラート
9回目	アルペジオ・エコノミーピッキング
10回目	ソロコピー1
11回目	ソロコピー2
12回目	ソロコピー3
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	三和音の理解・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	12週目に行う実技テスト（60%） 出席,態度(40%)
受講生へのメッセージ	コードワークとリードテクニックはギターにとって最も重要な役割です。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。

【使用教科書・教材・参考書】

I-real pro 、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)

科目名 （英）	テクニックⅡ（ギター） （ TechniqueⅡ（Guitar） ）	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	桐明航平
学科・コース	プロミュージシャン科 ギターコース	授業 形態	講義／演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	1年次 後期
						曜日・時限	水曜 4限

【授業の学習内容】
ギターで音楽を作る・表現する上で欠かせないテクニックを、基礎から学びます。様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バッキング・コードワーク、フィンガリング・ピッキングなどのリードテクニック、チョーキング・ビブラートなどの表現上のテクニック、それらにリズムのアイデアも加え応用する。
（講師プロフィール）
さまざまなアーティストのサポートギタリストとして、ライブやレコーディングに参加する。

【到達目標】
それぞれのジャンルに適応したコードワークやソロワークができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	リズムトレーニング
2回目	ブルースのバッキング1
3回目	ブルースのバッキング2
4回目	ブルースのリード1
5回目	ブルースのリード2
6回目	コードワーク1
7回目	コードワーク2
8回目	アドバンスフィンガリング
9回目	アドバンスピッキング
10回目	ソロコピー4
11回目	ソロコピー5
12回目	期末テスト
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	三和音の理解・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	12週目に行う実技テスト（60%） 出席,態度(40%)
受講生への メッセージ	コードワークとリードテクニックはギターにとって最も重要な役割です。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。

【使用教科書・教材・参考書】

I-real pro 、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)

科目名 （英）	テクニックⅢ（ギター） （ TechniqueⅢ（Guitar） ）	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	桐明航平
		授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	2年次 前期
学科・ｺｰｽ	プロミュージシャン科 ギターコース					曜日・時限	水曜 3限

【授業の学習内容】
ギターで音楽を作る・表現する上で欠かせないテクニックを、より高度かつ具体的に学びます。様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バッキング・コードワーク、フィンガリング・ピッキングなどのリードテクニック、チョーキング・ビブラートなどの表現上のテクニック、それらにリズムのアイデアも加え応用する。
（講師プロフィール）
さまざまなアーティストのサポートギタリストとして、ライブやレコーディングに参加する。

【到達目標】
Blues・Jazz・Latin・Pops・Rockなど、より具体的にそれぞれのジャンルに適応したコードワークやソロワークができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	リズムトレーニング
2回目	Bluesのコードワーク
3回目	Bluesのリードテクニック
4回目	フィンガリングテクニック
5回目	Rockのコードワーク
6回目	Rockのリードテクニック
7回目	ピッキングテクニック
8回目	Funk・R&Bのバッキングテクニック1
9回目	Funk・R&Bのバッキングテクニック2
10回目	アドリブソロ1
11回目	アドリブソロ2
12回目	アドリブソロ3
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	三和音の理解・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	12週目に行う実技テスト（60%） 出席,態度(40%)
受講生への メッセージ	コードワークとリードテクニックはギターにとって最も重要な役割です。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。

【使用教科書・教材・参考書】

I-real pro 、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)

科目名 （英）	テクニックⅣ（ギター） （　TechniqueⅣ（Guitar）　）	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	桐明航平
		授業 形態	講義／演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分	2年次 後期
学科・コース	プロミュージシャン科 ギターコース					曜日・時限	水曜 3限

【授業の学習内容】
ギターで音楽を作る・表現する上で欠かせないテクニックを、基礎から学びます。様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バッキング・コードワーク、フィンガリング・ピッキングなどのリードテクニック、チョーキング・ビブラートなどの表現上のテクニック、それらにリズムのアイデアも加え応用する。
（講師プロフィール）
さまざまなアーティストのサポートギタリストとして、ライブやレコーディングに参加する。

【到達目標】
それぞれのジャンルに適応したコードワークやソロワークができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	Latin バッキングパターン1
2回目	Latin バッキングパターン2
3回目	Jazzのバッキング1
4回目	Jazzのバッキング2
5回目	Jazzのリードテクニック1
6回目	Jazzのリードテクニック2
7回目	ソロギター1
8回目	ソロギター2
9回目	ソロギター3
10回目	まとめ1
11回目	まとめ2
12回目	期末テスト
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	三和音の理解・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	12週目に行う実技テスト（60%） 出席,態度(40%)
受講生への メッセージ	コードワークとリードテクニックはギターにとって最も重要な役割です。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。

【使用教科書・教材・参考書】

I-real pro 、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)

<table>
<tr><td>科目名
（英）</td><td>メロディックコンセプトⅠ
（ Melodic Concepts Ⅰ ）</td><td>必修
選択</td><td>必修
選択</td><td>年次</td><td>1</td><td>担当教員</td><td>山口涼也</td></tr>
<tr><td>学科・コース</td><td>プロミュージシャン科</td><td>授業
形態</td><td>演習</td><td>総時間
（単位）</td><td>30
（ 2 ）</td><td>開講区分
曜日・時限</td><td>1年次 前期
木曜 3限</td></tr>
</table>

【授業の学習内容】

現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。
（講師プロフィール）
20歳で全国のギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動

【到達目標】

メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。

授業計画・内容	
1回目	6弦ルートのメジャー、マイナーペンタトニックスケール
2回目	5弦ルートのメジャー、マイナーペンタトニックスケール
3回目	5,6弦ルートのペンタトニックスケールの復習、両サイドへの派生
4回目	ペンタトニックスケールの派生、ブルーススケール、ブルーノート
5回目	ペンタトニック、ブルーススケールを使用したリックの実演
6回目	メジャースケール1(5,6弦 人差し指、中指スタート)
7回目	メジャースケール2(5,6弦 小指スタート)
8回目	メジャースケール3(3 Note Per String、複合パターン)
9回目	ナチュラルマイナースケール1(5,6弦 人差し指、中指スタート)
10回目	ナチュラルマイナースケール2(5,6弦 小指スタート)
11回目	ナチュラルマイナースケール3(3 Note Per String、複合パターン)
12回目	中間テスト
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト

科目名 （英）	メロディックコンセプト Ⅱ （ Melodic Concepts Ⅱ ）	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	山口涼也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	1年次 後期 木曜 3限

【授業の学習内容】
現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。
（講師プロフィール）
20歳で全国のギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動

【到達目標】
メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。

授業計画・内容	
1回目	メジャートライアド
2回目	マイナートライアド
3回目	オーギュメント、ディミニッシュトライアド
4回目	4音のコードアルペジオ導入
5回目	M7アルペジオ
6回目	7アルペジオ
7回目	m7アルペジオ
8回目	m7b5アルペジオ
9回目	dim7アルペジオ
10回目	代理のアルペジオ
11回目	3,4和音のコードトーンアルペジオを使用したフレージング
12回目	後期テスト
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト

科目名（英）	メロディックコンセプト Ⅲ （ Harmonic Concept Ⅲ ）	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	山口涼也
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	2年次 前期
学科・コース	プロミュージシャン科					曜日・時限	木曜 4限

【授業の学習内容】
メジャースケールから派生する各種スケールを学ぶ。
メロディラインの作り方、ギターソロの作り方。
（講師プロフィール）
20歳で全国のギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動

【到達目標】
初見でコード譜を追えるようになる。それぞ+A11:L16れのジャンルに適応したコードワークができるようになる。
元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	Major Mode Scaleの導入と使用方法、Ionian Scale(IM7)
2回目	Aeolian Scale(VIm7)
3回目	Dorian Scale(IIm7)
4回目	Mixolydian Scale(V7)
5回目	Lydian Scale(IVM7)
6回目	Phrygian Scale(IIIm7)
7回目	Locrian Scale(VIIm7b5)
8回目	IIm7-V7進行を用いてのソロ構築 (Dorian,Mixolydian)
9回目	IIm7-V7進行を用いてのソロ構築 (Dorian,Mixolydian)
10回目	Jazz Blues進行でのソロ構築(Mixolydian,Dorian)
11回目	IM7-bIIIM7進行でのソロ構築(Ionian,Lydian)
12回目	中間テスト
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生へのメッセージ	スケールの理解やメロディワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト

科目名 （英）	メロディックコンセプト Ⅳ Melodic Concepts Ⅳ　)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	山口涼也
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 (　2　)	開講区分	2年次 後期
学科・コース	プロミュージシャン科					曜日・時限	木曜 4限

【授業の学習内容】

メロディックマイナースケールとハーモニックマイナースケールから派生する各種スケールやシンメトリカルスケールを学ぶ。
メロディラインの作り方、ギターソロの作り方。
（講師プロフィール）
20歳で全国のギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動

【到達目標】

メロディックマイナーモードとハーモニックマイナーモードスケールの中から使用頻度が高いスケールを指板上のすべての位置で把握し代表的なJazz Standard進行でアドリブが出来るようになる。
転調があるコード進行上でメロディラインやソロを作成できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	Melodic Minor Mode導入、Melodic Minor Scale
2回目	Altered Scale
3回目	Lydian b7 Scale
4回目	Locrian 9 Scale
5回目	Harmonic Minor Mode導入、Harmonic Minor Scale
6回目	Hmp5↓ Scale
7回目	Half Whole Diminished ScaleとWhole Half Diminished Scale
8回目	Whole Tone Scale
9回目	Jazz Standardsでのソロ構築1 Autumn Leaves
10回目	Jazz Standardsでのソロ構築2 The Days of Wine and Roses
11回目	Jazz Standardsでのソロ構築3 Stella by starlight
12回目	期末テスト
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	スケールの理解やメロディワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト

科目名 （英）	ハーモニックコンセプトⅠ （ Harmonic Concept Ⅰ ）	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山野修作
		授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	1年次 前期
学科・コース	プロミュージシャン科 ギターコース					曜日・時限	火曜 2限

【授業の学習内容】
音楽を作 る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。
様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することによ り応用力を習得する。バッキング・作曲及びアレンジに
必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのア イデアも加え応用する。
〈講師プロフィール〉
これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー

【到達目標】
初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。
元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	指板上の音名・ポジション
2回目	オクターブの位置関係、ルートだけコード進行を追う
3回目	パワーコードの仕組み、ルートの位置と5thの位置関係
4回目	パワーコードで楽曲を演奏
5回目	インターバル、メジャーとマイナーの違い
6回目	トライアドの仕組み1
7回目	トライアドの仕組み2
8回目	3コードの理解
9回目	3コードで楽曲演奏
10回目	コードの機能(ファンクション)、代理コード
11回目	3和音のダイアトニックコード
12回目	中間テスト
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握 時間外学習
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。

【使用教科書・教材・参考書】

I-real pro 、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)

科目名 （英）	ハーモニックコンセプト Ⅱ （ Harmonic Concept Ⅱ ）	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山野修作
		授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	1年次 後期
学科・コース	プロミュージシャン科 ギターコース					曜日・時限	火曜 2限

【授業の学習内容】
音楽を作 る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。
様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することによ り応用力を習得する。バッキング・作曲及びアレンジに
必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのア イデアも加え応用する。
〈講師プロフィール〉
これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー

【到達目標】
初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。
元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	前期の復習、3和音のダイアトニックコード
2回目	4和音・7thコードの理解1
3回目	4和音・7thコードの理解2
4回目	4和音のダイアトニックコード
5回目	楽曲演奏
6回目	その他のコード(sus・6th・add9など)
7回目	楽曲演奏
8回目	ナチュラルマイナーのダイアトニックコード
9回目	平行調など
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要な ことを身に付けてください。

【使用教科書・教材・参考書】

I-real pro 、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)

科目名 （英）	ハーモニックコンセプト Ⅲ （ Harmonic Concept Ⅲ ）	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	山野修作
学科・コース	プロミュージシャン科 ギターコース	授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	2年次 前期
						曜日・時限	火曜 1限

【授業の学習内容】
音楽を作 る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。
様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することによ り応用力を習得する。バッキング・作曲及びアレンジに
必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのア イデアも加え応用する。
〈講師プロフィール〉
これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー

【到達目標】
初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。
元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	4和音・7thコードの理解
2回目	4和音のダイアトニックコード
3回目	4和音のマイナーダイアトニックコード
4回目	カッティングパターン1
5回目	カッティングパターン2
6回目	アルペジオ奏法
7回目	コード進行に沿ったバッキング 1
8回目	コード進行に沿ったバッキング 2
9回目	ナチュラルテンションコード
10回目	オルタードテンションコード
11回目	コード進行に沿ったバッキング 3
12回目	中間テスト
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なこ とを身に付けてください。

【使用教科書・教材・参考書】

I-real pro 、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)

科目名（英）	ハーモニックコンセプト Ⅳ （ Harmonic Concept Ⅳ ）	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	山野修作
学科・コース	プロミュージシャン科 ギターコース	授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	2年次 前期
						曜日・時限	火曜 1限

【授業の学習内容】

音楽を作 る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。
様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することによ り応用力を習得する。バッキング・作曲及びアレンジに
必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのア イデアも加え応用する。
〈講師プロフィール〉
これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー

【到達目標】

初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。
元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	R&Bスタイル
2回目	Funkスタイル
3回目	ボサノヴァ・ラテン スタイル
4回目	ブルーススタイル
5回目	ブルーススタイル2
6回目	ジャズスタイル
7回目	ソロギタースタイル1
8回目	ソロギタースタイル2
9回目	ソロギタースタイル3
10回目	楽曲演奏
11回目	まとめ
12回目	期末テスト
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生へのメッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なこ とを身に付けてください。

【使用教科書・教材・参考書】

I-real pro 、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)

科目名（英）	コントロールセオリーⅠ（Control TheoryⅠ）	選択必修	必修選択	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	1年次 前期
						曜日・時限	金曜1限

【授業の学習内容】
①ルーディメンツをドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。
②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。
③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。
（講師プロフィール）
メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、
ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。

【到達目標】
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールを身につける。

授業計画・内容	
1回目	グリップ&フォーム、フィンガーコントロール
2回目	フットワーク
3回目	アクセレーションコントロール16分音符 3種類
4回目	アクセレーションコントロール3連符 2種類
5回目	ダブルストロークロール
6回目	5.7.9.11.13ストロークロール
7回目	バズ、バズ5、バズ7
8回目	シングルパラディドル
9回目	ダブルパラディドル、トリプルパラディドル
10回目	フラム、フラムアクセント16分&3連符
11回目	フラムパラディドル
12回目	フラムタップ、ラタマキュー
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	期末試験（60%） 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生へのメッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

コントロールセオリーテキスト

科目名（英）	コントロールセオリーⅡ（Control TheoryⅡ）	選択必修	必修選択	年次	1	担当教員	星山哲也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	1年次 後期
						曜日・時限	金曜2限

【授業の学習内容】
①ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。
②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。
③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中での自由度を広げて欲しい。
（講師プロフィール）
メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、
ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。

【到達目標】
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールと連符感を身につける。

授業計画・内容	
1回目	ラフ、4.5ストロークラフ
2回目	ドラッグ、シングルドラッグ、ダブルドラッグ
3回目	ドラッグパラディドルNo.1.2
4回目	ラタマキュー、シングルラタマキュー、ダブルラタマキュー、トリプルラタマキュー
5回目	ルーディメンツ小テスト
6回目	チェンジアップ
7回目	2拍3連、カウント、コンビネーション
8回目	4拍3連、カウント、コンビネーション
9回目	3拍4連、カウント、コンビネーション
10回目	3拍4連on4/4
11回目	5拍4連、カウント、コンビネーション・7拍フレーズの紹介
12回目	期末テスト
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	12週目に行う実技テスト（60%） 各授業内で行うミニ実技テスト(40%）
受講生へのメッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

コントロールセオリーテキスト

<table>
<tr><td>科目名
（英）</td><td>コントロールセオリーⅢ
（ Control TheoryⅢ ）</td><td>選択
必修</td><td>必修
選択</td><td>年次</td><td>2</td><td>担当教員</td><td>星山哲也</td></tr>
<tr><td>学科・コース</td><td>プロミュージシャン科</td><td>授業形態</td><td>演習</td><td>総時間
（単位）</td><td>30
（ 2 ）</td><td>開講区分
曜日・時限</td><td>2年次 前期
金曜1限</td></tr>
</table>

【授業の学習内容】
①ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。各ルーディメンツのマーチングとしての応用。
②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。
③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。
楽曲の中での自由度を更に広げて欲しい。
（講師プロフィール）
メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、
ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。

【到達目標】
①それぞれのエクササイズを丁寧に練習しハイレベルなドラミングに挑戦する。

授業計画・内容	
1回目	シングルストロークコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.1
2回目	ダブルストロークコンビネーション・オールアメリカンドラマーNo.2
3回目	シングルパラディドルコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.3
4回目	ダブルストロークコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.4
5回目	トリプルパラディドルコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.5
6回目	ダブルパラディドルバリエーション・オールアメリカンドラマーNo.6
7回目	トリプルパラディドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.7
8回目	フラムダブルパラディドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.8
9回目	フラムトリプルパラディドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.9
10回目	2拍3連応用、オールアメリカンドラマーNo.10
11回目	2拍3連メトリックモジュレーション、オールアメリカンドラマー復習
12回目	4拍3連応用、オールアメリカンドラマーNo.11
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	期末試験（60%） 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

コントロールセオリーテキスト・All American Drummerテキスト

科目名（英）	コントロールセオリーⅣ （ Control TheoryⅣ ）	選択必修	必修選択	年次	2	担当教員	星山哲也
		授業形態	演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	2年次 後期
学科・コース	プロミュージシャン科					曜日・時限	金曜2限

【授業の学習内容】

①ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。
　各ルーディメンツのマーチングとしての応用。オスティナートやリニアドラミングの習得。ダブルベースドラミングの習得。
②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。
③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中で自由度を更に広げて欲しい。
（講師プロフィール）
メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、
ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。

【到達目標】

①それぞれのエクササイズを丁寧に練習しハイレベルなドラミングに挑戦する。

授業計画・内容	
1回目	3拍4連応用、オールアメリカンドラマーNo.13
2回目	ハイブリッドルーディメンツの紹介、オールアメリカンドラマーNo.14
3回目	サンバオスティナート、オールアメリカンドラマーNo.15
4回目	サンバオスティナートオールアメリカンドラマーNo.16
5回目	サンバオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.17
6回目	クラーベオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.18
7回目	クラーベオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.19
8回目	クラーベオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.20
9回目	リニアエクササイズ・オールアメリカンドラマー復習
10回目	リニアエクササイズ・クレイジーアーミー
11回目	リニア応用・ダブルベースドラミング
12回目	期末テスト
13回目	ミュージカル演習ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	12週目に行う実技テスト(60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生へのメッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

コントロールセオリーテキスト・All American Drummerテキスト

科目名（英）	テクニックⅠ(ドラム) （　Drum Technique Ⅰ　）	選択必修	選択必修	年次	1	担当教員	矢上竜也
		授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科ドラムコース					曜日・時限	木曜4限

【授業の学習内容】
ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。
（講師プロフィール）
専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。
また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。

【到達目標】
ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。

授業計画・内容	
1回目	ドラム譜の読み方、基本的なセッティングと操作方法、8ビート、8分音符の記譜を理解する
2回目	8ビート、4小節感覚を身につける、クリックを使った練習方法、カウンティング、8分音符の記譜を理解する
3回目	8ビート、8小節感覚を身につける、オープンリムショットとクローズリムショット、16分音符の記譜を理解する
4回目	アクセント無しのシングルストローク、両手16ビート、オープンリムショット、16分音符の記譜を理解する
5回目	16ビートのバリエーション、16分裏拍のストロークとバスドラムのタイミングを合わせるエクササイズ①
6回目	16ビートのバリエーション、16分裏拍のストロークとバスドラムのタイミングを合わせるエクササイズ②
7回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニック、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ
8回目	16分音符のアクセント移動（1アクセント）とドラムセットへの応用①
9回目	16分音符のアクセント移動（1アクセント）とドラムセットへの応用②
10回目	16分音符のアクセント移動（2アクセント）とリズムパターン、ドラムセットへの応用①
11回目	16分音符のアクセント移動（2アクセント）とリズムパターン、ドラムセットへの応用②
12回目	ダブルストロークを用いた32分音符と16分音符のコンビネーション、リズムパターン、ドラムセットへの応用①
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度（60%） 出席率（40%）
受講生へのメッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント

科目名（英）	テクニックⅡ（ドラム） （ Drum Technique Ⅱ ）	選択必修	選択必修	年次	1	担当教員	矢上竜也
学科・コース	プロミュージシャン科ドラムコース	授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜4限

【授業の学習内容】
ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。
（講師プロフィール）
専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。
また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。

【到達目標】
ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。

授業計画・内容	
1回目	ダブルストロークを用いた32分音符と16分音符のコンビネーション、リズムパターン、ドラムセットへの応用②
2回目	8ビートシャッフルのリズムパターン、ハイハットのエクササイズ、3連符の手順と記譜を理解する
3回目	8ビートシャッフルの8分裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ、3連符の手順と記譜を理解する
4回目	2拍3連符のエクササイズ、手順の振り分けとドラムセットへの応用
5回目	8ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオープンクローズ
6回目	16ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオープンクローズ①
7回目	16ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオープンクローズ②
8回目	ハイハットを4分音符で演奏する、速いテンポの8ビートとバスドラムの奏法
9回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート①
10回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート② ハイハットを16分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート
11回目	ハイハットを4分音符で演奏する、速いテンポの8ビートシャッフルとバスドラムの奏法
12回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビートシャッフル
13回目	ミュージカル演習
14回目	We Are FSM 卒業進級制作リハーサル
15回目	We Are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度（60％） 出席率（40％）
受講生へのメッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント

科目名（英）	テクニックⅢ(ドラム)	選択必修	選択必修	年次	2	担当教員	矢上竜也
	(　Drum TechniqueⅢ　)	授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 (　2　)	開講区分	前期
学科・コース	プロミュージシャン科ドラムコース					曜日・時限	木曜3限

【授業の学習内容】
ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。
（講師プロフィール）
専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。
また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。

【到達目標】
ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。

授業計画・内容	
1回目	速いテンポの8ビート、ゴーストノート①
2回目	速いテンポの8ビート、ゴーストノート② 速いテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート①
3回目	速いテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート① ツインペダルの基礎練習（8ビート応用）
4回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ①
5回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ②
6回目	ツインペダルの基礎練習（オルタネイト）
7回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニック、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ、バスドラムのシングル3連打、4連打
8回目	16分音符、手足のコンビネーション（バスドラム1打）ドラムセットへの応用①
9回目	16分音符、手足のコンビネーション（バスドラム1打）ドラムセットへの応用②
10回目	16分音符、手足のコンビネーション（バスドラム2打→シングル、ツインペダル）ドラムセットへの応用①
11回目	16分音符、手足のコンビネーション（バスドラム2打→シングル、ツインペダル）ドラムセットへの応用②
12回目	8分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション（シングル、ツインペダル）①
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度（60%） 出席率（40%）
受講生へのメッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント

科目名（英）	テクニックⅣ(ドラム) （ Drum TechniqueⅣ ）	選択必修	選択必修	年次	2	担当教員	矢上竜也
学科・コース	プロミュージシャン科ドラムコース	授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜3限

【授業の学習内容】

ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。
（講師プロフィール）
専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。
また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。

【到達目標】

ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。

	授業計画・内容
1回目	32分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション（シングル、ツインペダル）②
2回目	8ビートシャッフルのシンコペーション01、Fill in手順の応用①
3回目	8ビートシャッフルのシンコペーション01、Fill in手順の応用② 8ビートシャッフルのシンコペーション02
4回目	ツインペダル基礎練習（シャッフル、3連符）
5回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用①
6回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用② 速いテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ①
7回目	速いテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ②
8回目	シングル、ツインペダルの2ビート（HH表、裏）
9回目	シングル、ツインペダルの2ビート（HH表、裏）と手2足2のコンビネーション ツインペダルの16ビート（32分3打）①
10回目	ツインペダルの16ビート（32分3打）② ツインペダルの16ビート（32分4打）と手2足4、手4足4のコンビネーション
11回目	8シャッフル、HHバリエーションとゴーストノート（手順の応用） シングル、ツインペダルを使ったコンビネーションFill in
12回目	16シャッフル、HHバリエーションとゴーストノート（手順の応用） シングル、ツインペダルを使ったコンビネーションFill in
13回目	ミュージカル演習
14回目	We Are FSM 卒業進級制作リハーサル
15回目	We Are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度（60%） 出席率（40%）
受講生へのメッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント

科目名（英）	グルーブメイクⅠ（Groove Making Ⅰ）	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	伊藤公了
		授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	1年次 前期
学科・コース	プロミュージシャン科 ドラムコース					曜日・時限	木曜3限

【授業の学習内容】

様々な楽曲の核となる「グルーヴ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、
リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。
（講師プロフィール）
スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。
また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサとしても活動している。

【到達目標】

ポピュラーミュージックにおいて必要なグルーヴの中で代表的な
「8beat」、「16Beat」、「Shuffle Beat」において
それぞれのBPM120を目標とする。

基本的なドラム譜面の読み書き

授業計画・内容	
1回目	基本となるリズム（4分音符、8分音符等）の考え方　譜面の読み方
2回目	8BeatのBasicパターン BPM=60～90 (High 120)
3回目	8BeatのAdvanceパターン BPM-90～120 (High 140)
4回目	8分音符のシンコペーションを使ったパターン、リズムキープ方法　左足でのテンポキープ
5回目	3連符の説明、リズム感の習得
6回目	Shuffle Beatの説明、右手のダウンアップ奏法の習得
7回目	Shuffle BeatのBasicパターン BPM=90 (High 120)
8回目	Shuffle BeatのAdvanceパターン BPM=120 (High 140) ブルースシャッフルの習得
9回目	3連符系のFill In、及び2拍3連の説明
10回目	2拍3連の習得、2拍3連を使ったパターンやFill In
11回目	16分音符の説明、16BeatのBasicパターン BPM=60～90 (High 120)
12回目	16BeatのAdvanceパターンとFill In BPM=90～120 (High 140)
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、3連符、16分音符の理解とスティックコントロール 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習
評価方法	12週目に行う実技テスト（50%） 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)
受講生へのメッセージ	ドラムの演奏において必要不可欠なパターンなど みなさんが聴いている楽曲はもちろん、様々な音楽が演奏できるようになるためのクラスです。 ドラムキッドでの演奏ですのでリアルなサウンドメイクや表現方法を習得してください。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：Drum Groove Making 1：滋慶出版

科目名（英）	グルーブメイクⅡ （ Groove Making Ⅱ ）	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	伊藤公了
学科・コース	プロミュージシャン科 ドラムコース	授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	1年次 後期
						曜日・時限	木曜3限

【授業の学習内容】
様々な楽曲の核となる「グルーヴ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、
リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。
（講師プロフィール）
スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。
また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサとしても活動している。

【到達目標】
ポピュラーミュージックにおいて必要なグルーヴの中で代表的な
「8beat」、「16Beat」、「Shuffle Beat」をさらに発展させたグルーヴの習得
「Halftime Shuffle」BPM=70、「6/8拍子」BPM=60、「12/8拍子」BPM=75
パーカッションの基本的な演奏方法

授業計画・内容	
1回目	16Beatにおけるゴーストノートについて (4つのストローク（Tap,Down,Up,Full）の確認と習得)
2回目	ゴーストノートを使ったパターン、Fill In BPM=75 (High 90)
3回目	Halftime ShuffleのBasicパターン BPM=60 (High 75)
4回目	Halftime ShuffleのAdvanceパターンとFill In BPM=70 (Hgh 85)
5回目	Halftime Shuffleと4拍3連
6回目	6/8拍子について カウンティング、基本的なリーディング
7回目	6/8拍子のパターン、Fill In BPM=60 (High 75)
8回目	12/8拍子について カウンティング、リーディング
9回目	12/8拍子のパターン、Fill in BPM=75 (High 90)
10回目	Percussion Cajon
11回目	Percussion Conga,Bongo
12回目	Percussion Shaker,Tambalineなど
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、3連符、16分音符の理解とスティックコントロール、裏クリックでのリズムトレーニング 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習
評価方法	12週目に行う実技テスト（50%） 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)
受講生へのメッセージ	″前期に引き続きドラムの演奏において必要不可欠なパターンなど みなさんが聴いている楽曲はもちろん、様々な音楽が演奏できるように なるためのクラスです。 後半ではパーカッションなども演奏できるようにしましょう。″

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版

科目名 （英）	グルーブメイクⅢ （ Groove Making Ⅲ ）	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	伊藤公了
		授業 形態	講義／演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	2年次 前期
学科・コース	プロミュージシャン科 ドラムコース					曜日・時限	木曜4限

【授業の学習内容】

様々な楽曲の核となる「グルーヴ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、
リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。
（講師プロフィール）
スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。
また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサとしても活動している。

【到達目標】

ポピュラーミュージックだけではなく、JAZZやLATINなど幅広いグルーヴの習得
Bossa Nova BPM=120、Samba BPM=105、4Beat Swin BPM=120、Reggae BPM=90
基本的なドラム譜面の読み書き
ラテンパーカッションの奏法の習得

授業計画・内容	
1回目	Bossa Noveについての説明
2回目	Bossa Nova Basicパターン BPM=110 (High 140)
3回目	Bossa Nova Advanceパターン BPM=120 (High 140)
4回目	Sambaについて説明 Samba Kickの練習法
5回目	Samba Basicパターン BPM=90 (High 105)
6回目	Samba Advanceパターン BPM=105 (High 120)
7回目	4Beat Swing についての説明
8回目	4beat Swing Basicパターン BPM=90 (High 120)
9回目	4Beat Swing Advanceパターン BPM=120
10回目	4Beat Swingでの4way インディペンデンス
11回目	Reggae についての説明
12回目	Reggae Basicパターン BPM=70 (High 85)
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、3連符、16分音符の理解とスティックコントロール 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習
評価方法	12週目に行う実技テスト(50%) 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)"
受講生への メッセージ	"今までに習得したグルーヴ以外の様々な演奏スタイルを習得して さらに幅広い技術、知識を身につけるクラスです。 まずは色々な音楽に触れてください。"

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版

科目名（英）	グルーブメイクⅣ (Groove Making Ⅳ)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	伊藤公了
		授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	2年次 後期
学科・コース	プロミュージシャン科 ドラムコース					曜日・時限	木曜4限

【授業の学習内容】

様々な楽曲の核となる「グルーヴ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。
（講師プロフィール）
スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。
また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサとしても活動している。

【到達目標】

ポピュラーミュージックにおける代表的なグルーヴに加え
JAZZやLATINなどさらにジャンル、スタイルを広げたグルーヴの習得
また、Odd Meter（変拍子） やポリリズム、リニアパターンでのグルーヴの構築。
SPDなどサンプリングパッドの使い方、アナログとデジタルの混合パターンの習得

授業計画・内容	
1回目	Aflo Cubanについて説明
2回目	Afro Cuban Basicパターン BPM=60 (High 85)
3回目	Afro Cuban Advance 6/8パターン BPM=60 (High 75)
4回目	ポリリズムを使ったBasicパターン BPM=90 (High 120)
5回目	ポリリズム Advanceパターン BPM=120 (High 135)
6回目	メトリック モジュレーション Basicパターン
7回目	メトリック モジュレーション Advanceパターン
8回目	サンプリング パッドの使い方
9回目	サンプリング パッドとアコースティッグドラムとの混合パターン
10回目	リニアパターン Basic
11回目	Odd Meterの説明とカウンティング
12回目	5/8拍子、7/8拍子のBasicパターンとFill In BPM=120 (High 135)
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	"BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、3連符、16分音符の理解とスティックコントロール 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習"
評価方法	12週目に行う実技テスト(50%) 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)
受講生へのメッセージ	前期に引き続きドラムの演奏において必要不可欠なパターンなど みなさんが聴いている楽曲はもちろん、様々な音楽が演奏できるようになるためのクラスです。 後半では リズムの変形パターンや変拍子も演奏できるようにしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版
Drum Groove Making 2：滋慶出版

科目名（英）	プレイングテクニックⅠ PlayingTechniques Ⅰ	選択必修	必修選択	年次	1	担当教員	北山幸恵
		授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 2	開講区分	1年次 前期
学科・コース	キーボードコース					曜日・時限	火曜3限

【授業の学習内容】

1年を通していろいろなスタンダード音楽を学ぶ。
音楽的テクニックの向上や感性を伸ばす。
指の故障がない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続する。
（講師プロフィール）
式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。

1年間キーボードという楽器を通していろいろなスタンダード音楽を理解し、音楽的感性の役に立てる。

授業計画・内容	
1回目	指の故障がない様、ストレッチエクササイズの仕方を指導。
2回目	ダイアトニックコードの仕組みを理解する。
3回目	基本的な譜面の書き方を指導しコードの仕組みを理解させる。
4回目	一段譜を用いてコードを弾き分ける。
5回目	音程の違いを理解し五線紙に完成させる。
6回目	全音符から16符音符までを聴き分け、五線紙に完成させる。
7回目	ソロピアノ曲を指導する。
8回目	ダイナミックレンジを意識し、強・中・弱音を身につける。
9回目	表現力を意識し、コードの特性を理解する。
10回目	デュオのバッキングについて理解する。
11回目	今までの総合復習。
12回目	小テスト
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	宿題が出た時は、できる範囲でいいので挑戦してみてください。
評価方法	12週目に行う実技テスト（60%） 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生へのメッセージ	コードの性質を理解する事により、1年間で曲を幅広く学びましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

ポピュラーのすべて、ハノン、クラシック集、プリント等

科目名（英）	プレイングテクニックⅡ PlayingTechniquesⅡ	選択必修	必修選択	年次	1	担当教員	北山幸恵
学科・コース	キーボードコース	授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	1年次 後期 火曜3限

【授業の学習内容】

1年を通していろいろなスタンダード音楽を学ぶ。
音楽的テクニックの向上や感性を伸ばす。
指の故障がない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続する。
（講師プロフィール）
式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。

【到達目標】

1年間キーボードという楽器を通していろいろなスタンダード音楽を理解し、音楽的感性の役に立てる。

授業計画・内容	
1回目	夏休み期間の課題を発表。
2回目	今までの復習テスト、理解できなかった箇所を確認する。
3回目	ペンタトニックを理解する。
4回目	ブルーノートとブルーススケールを理解する。
5回目	ブルーススケールを使ったフレーズを耳コピーして役に立てる。
6回目	ブルースを理解する。
7回目	独奏でブルースソロを完成させる。
8回目	ソロピアノ曲を指導する。
9回目	指導した曲を発表する。
10回目	今までの総合復習①
11回目	今までの総合復習②ロ
12回目	実技テスト
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	復習をできれば、たくさん行う事で理解力の向上がより期待できると思います。
評価方法	12週目に行う実技テスト（60%） 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生へのメッセージ	授業以外、プライベートでいろいろな曲を研究してみましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

ポピュラーのすべて、ハノン、クラシック集、スタンダードジャズ集、プリント等

科目名（英）	プレイングテクニックⅢ PlayingTechniquesⅢ	選択必修	必修選択	年次	2	担当教員	北山幸恵
学科・コース	キーボードコース	授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 2	開講区分 曜日・時限	2年次 前期 木曜3限

【授業の学習内容】

ソロピアニストにとって必要なテクニック、表現力の向上、対応力を身につける。
指の故障のない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続。
（講師プロフィール）
式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。

【到達目標】

テクニックや表現も含め、人の前で心打つ演奏、独奏を目標とする。

授業計画・内容	
1回目	指の故障がない様、全部のキーでストレッチエクササイズを行う。
2回目	ダイナミックレンジを意識し、強・中・弱音を身につける。
3回目	ダイナミックマークの付いた楽譜を用いて指定されたとおりに実践する。
4回目	曲を完成する。
5回目	スタッカートとテヌートの違いを理解し弾き分ける。
6回目	音を採譜し、五線紙上に完成させる。
7回目	コードの特性を理解し、いろいろなパターンでリハーモナイズを行う。
8回目	ソロピアノ曲を指導する。
9回目	指導した曲を発表する。
10回目	初見力を充実させ初心者の指導できる様、指導する。
11回目	今までの総合復習
12回目	実技テスト
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	人の前で、心打つ演奏する事をこの1年間で意識する。
評価方法	12週目に行う実技テスト（60%） 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生へのメッセージ	心打つ演奏とは何なのかを自らよく、この1年間考えてください。

【使用教科書・教材・参考書】

スタンダード曲集、ハノン、クラシック集、スタンダードジャズ集、プリント等

科目名 （英）	プレイングテクニックⅣ PlayingTechniquesⅣ	選択 必修	必修選択	年次	2	担当教員	北山幸恵
		授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 2	開講区分	2年次 後期
学科・コース	キーボードコース					曜日・時限	木曜3限

【授業の学習内容】

ソロピアニストにとって必要なテクニック、表現力の向上、対応力を身につける。
指の故障のない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続。
（講師プロフィール）
式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。

【到達目標】

テクニックや表現も含め、人の前で心打つ演奏、独奏がたくさんできる事を目標とする。

授業計画・内容	
1回目	夏休み期間の課題を発表。
2回目	今までの復習テスト、理解できなかった箇所を確認する。
3回目	ロングトーンアルペジオのエクササイズを指導。
4回目	ジャンルによるバッキングを理解する。
5回目	ジャンルによるバッキングを実践する。
6回目	ボーカルとのデュオの実践を希望する。
7回目	ソロピアノ曲を指導。
8回目	指導した曲を発表。
9回目	初心者指導の実習を希望する。
10回目	今までの総合復習①
11回目	今までの総合復習②□
12回目	実技テスト
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	授業以外、プライベートでいろいろな曲の研究を希望します。
評価方法	12週目に行う実技テスト（60%） 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	できれば人の前で発表できる曲をたくさん集めて暗譜する事を希望します。

【使用教科書・教材・参考書】

スタンダード曲集、ハノン、クラシック曲集、プリント等

科目名 （英）	ハーモニックコンセプトⅠ （ Harmonic Concepts Ⅰ ）	選択 必修	必修選択	年次	1	担当教員	田中華愛
学科・コース	プロミュージシャン科・キーボードコース	授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	1年次 前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】

この授業ではキーボーディスト、ピアニスト、作編曲家としても大切なコードやハーモニーを中心に学びます。
また実践として、学んだコードを使いアレンジにも取り組み、メロディー、ハーモニー、リズムのバランス感覚を身に付け、鍵盤上でのアプローチや作編曲へ反映させます。
あらゆるジャンルや音色に合った奏法が出来るよう、楽器の歴史や特徴も学びます。
初見についても、今後講師試験に限らずあらゆる現場で必須となるので、メロディー譜や伴奏譜やクラシックを含め早めに取り組みます。
（講師プロフィール）　メジャーアーティストのライブサポートやソロピアニストとして、店舗・様々な式典での演奏を行う。

【到達目標】

コードが理解出来る。理解したコードを使ってメロディーに合ったボイシングを作る事が出来る。

8ビートや16ビート、またシャッフルのリズムに合わせてバッキングが出来る。曲に合う音色選びが出来、正しい奏法が出来る。
簡単なアレンジが出来るようになる。初見により、楽譜を見る力を養える。

授業計画・内容	
1回目	コードの種類
2回目	ダイアトニックコード/転回型と伴奏の構築　　※3コード
3回目	コードアレンジ/分数コード　　※「let it be」「アナ雪」／※カノンコード
4回目	前回の応用(Ⅰ-Ⅵm-Ⅱm-Ⅴで分数コードアレンジ)→Ⅱm-Ⅴについて
5回目	音符の長さとリズム、ソルフェージュ　※初見
6回目	かっこいいBackingの作り方/リズムの組み合わせ　※打ち込みに挑戦
7回目	7th以上のvoicingの構築と効果的なvoicing
8回目	効果的なおかずの入れ方(add9とペンタトニックを使う) ※メロディー譜を使用
9回目	ヒット曲から見るリフの作り方(マイナーペンタトニックを使う) ※洋楽邦楽共に弾き比べ
10回目	小テスト
11回目	stringsの奏法(弦楽器種類、スラー、カウンターメロディ、ブレス、伸ばし方)／Brassの奏法(Hornの種類、音域、リズムのみ耳コピ、休符、ブレス、強弱)
12回目	Orgの奏法(gliss、手の甲を使ったコードチェンジ、ロングトーン、ドローバー)※ハモンドを使用／その他の楽器の特徴と奏法(マリンバ、steel drum、harpなど)
13回目	課題曲→講師とのアンサンブル／初見
14回目	ミュージカル演習　リハーサル
15回目	ミュージカル演習　本番
準備学習 時間外学習	2週目で取り扱う【ダイアトニックコード】は12のキー全て、転回型も出来るように練習しましょう。 好きな曲だけでなく、ジャンルを越えて幅広い音楽を聴くようにして下さい。
評価方法	小テストと課題曲の実技試験
受講生への メッセージ	今まで聴いてきた曲、好きな曲、そうでない曲も、どれもがこの授業で取り上げる内容を使用しており、要となっています。 ここでの学びが、あなたの自信と夢に繋がります。なかなか難しくて理解出来ない事があっても、学ぶ事は楽しい事なので、どんどん吸収して力と自信に繋げて下さい。 学校生活がスタートして、慣れない事が沢山待ち受けていると思いますが、どんな環境になっても自分を信じる事は忘れないで下さい。 この事については授業でまた深く話させてもらいますね。 最初にも書きましたが、あらゆる曲の基礎となる部分をこの授業では取り上げますので、音楽をやる上ではとても重要な内容です。

【使用教科書・教材・参考書】

ipadを毎時間持参して下さい

科目名（英）	ハーモニックコンセプトⅡ （ Harmonic ConceptsⅡ ）	選択必修	必修選択	年次	1	担当教員	田中華愛
学科・コース	プロミュージシャン科・キーボードコース	授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	1年次 後期
						曜日・時限	HarmonicConceptsⅠ

【授業の学習内容】

前期に引き続き、この授業ではキーボーディスト、ピアニスト、作編曲家としても大切なコードやハーモニーを中心に学びます。
また、コードアレンジ、リズムアレンジなどについても深掘りして行きます。
初見でのソロピアノ伴奏もそうですが、ヴォーカルを迎えての実践も計画しております。あらゆるスタイル、ジャンルの伴奏が出来るように洋楽邦楽問わず取り扱います。
（講師プロフィール）
メジャーアーティストのライブサポートやソロピアニストとして、店舗・様々な式典での演奏を行う。

アレンジ力が身につきます。バンドアレンジなどの際も即座に対応出来る。幅広い伴奏スタイルが身に付く。
音色や曲に合わせたカッコ良いタッチ、表現が出来る。リズム感を養います。
コミュニケーションが取れる。自身のアイデアや意見が言える。

授業計画・内容	
1回目	【コードの復習】ダイアトニックコード4和音
2回目	【表現力を身につける】バラード曲でritや強弱を表現する。／シンコペーションやアクセントの表現力を身に付ける
3回目	【耳の力を付ける】メジャー曲をマイナーで、マイナー曲をメジャーで弾き比べる。またアレンジにも取り組む。
4回目	【voicingとbackingの発想】曲やメロディーにコードの効果的なvoicingを作る。 ※メロディー譜を使った初見も並行
5回目	【アレンジ1】アレンジ力を付ける為にメロディーから発想しコードを付け演奏する
6回目	【アレンジ2】自分でメロディーを作る／メロディー譜を使いイントロや間奏などを自らがソロを弾く。
7回目	【リズム】色んな拍子やリズムの伴奏スタイルを身につける。6/8や2拍3連の曲を伴奏。ノリを出す。
8回目	【即興演奏1】一段譜を用いて、効果的なvoicingや表現を付けて演奏する ※試験及びグレード対策
9回目	【即興演奏2】モチーフを使って、続きのメロディーや伴奏を付ける事が出来る。
10回目	【打ち込み】16～32小節ほどの作編曲をし、pcに打ち込み。
11回目	【ピアノデュオ】ヴォーカルとのお仕事を想定して歌にあったvoicingを付けて、強弱などつけ実践伴奏する
12回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	ダイアトニックコード4和音も12のキー全て、転回型も含めて弾けるようになりましょう。 それをシンコペーションやリズムチェンジなどしてクリックに合わせて練習しましょう。
評価方法	作品評価とテスト
受講生へのメッセージ	2年生になる準備もしていかなければなりません。しっかりとしたリズム感と、音色の理解、効果的なvoicingのチョイスなど身に付け、他の授業やバンドでもその力を発揮して下さい。 また、自身のプレイにだけでなく、迎える新入生にもその知識と技術をアウトプット出来るように、友人や講師に協力してもらいコミュニケーション力を培いましょう。 それもお仕事に繋がる一歩です。

【使用教科書・教材・参考書】

ipad。あればmac。

科目名 （英）	ハーモニックコンセプト Ⅲ （ Harmonic Concept Ⅲ ）	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	田中　華愛
		授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分	2年次 前期
学科・コース	プロミュージシャン科 キーボードコース					曜日・時限	木曜2限

【授業の学習内容】

卒業前には進路が決まるように、講師／ピアニスト／サポートミュージシャンなど、あらゆる現場に対応出来るよう、実践を踏まえながら進めます。
前期は初見、課題曲、モチーフアドリブ、コード付けなどを中心に進行していきます。
また、様々な音楽スタイルを勉強していく中で、メロディー、ハーモニー、リズムのバランス感覚を身に付け、鍵盤上でのアプローチや作編曲へ反映させます。

【到達目標】

◉講師試験または演奏者試験を受ける→初見が出来るようになる。曲を読み解く力がつく(ソルフェージュ)。学びをアウトプット出来る。対応能力(面接官、クライアントやお客様への)を身につける。
◉式場や飲食店などでの演奏に対応できるようになる→レパートリーを増やす。季節イベント用のリストを作り、ステージとして成り立たせる。緊張に負けない度胸をつける。服装のマナーを身に付ける。
作編曲においては、コードやスタイルなどのトレンドを知り自作にも反映することが出来る。曲に合った音色を作る事が出来る。
演奏でも作曲でも「セルフプロデュース」を目標とします。

授業計画・内容	
1回目	自身の目標の再確認と履歴書(プロフィール)を作ることができる
2回目	【初見対策1邦楽】邦楽によく使われるコード進行4156やハーモニーを理解し、演奏の際のボイシングや伴奏の対策を習得できる
3回目	【初見対策2邦楽】メロディー譜の初見。メロディと同時に曲の雰囲気に合う伴奏をつけることができる
4回目	【初見対策3邦楽】リピートやダルセーニョなどの記号の見落としを無くし確実に演奏することができる
5回目	初見対策1～3で使用した課題曲で1ステージ演奏することができる
6回目	【初見対策4洋楽】メロディー譜の初見。スタンダード曲を右手でもコードを入れ演奏することができる
7回目	【初見対策5洋楽】映画音楽や映像音楽の初見。曲の特徴、強弱、表現法を掴み左右のバランスが取れた演奏ができる
8回目	【初見対策6洋楽】2段譜の初見。左手に経過音を入れ次のコードに繋げることができる
9回目	初見対策4～6で使用した課題曲で1ステージ演奏することができる
10回目	【作曲】マイナーコードの楽曲にピアノの切ないリフを作ることができる
11回目	【作曲】単純なコードにシンセでベースラインを作り16ビートの曲を作ることができる
12回目	オリジナル曲提出
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	卒業してからもステージで使える自分のレパートリーを作って下さい。
評価方法	課題
受講生への メッセージ	学校生活もあと一年です。一コマ一コマの授業もですが、時間の使い方を大切にして下さい。 復習と、自主練習が必ず実を結びます。練習を怠ればそのチャンスは誰かのものになります。 またチャンスを逃す一因は「不安」です。その不安を自信に変えるために、この授業では実践形式で技術だけでなくメンタル面も鍛えながら進めて行きます。

【使用教科書・教材・参考書】

iPad

科目名（英）	ハーモニックコンセプト Ⅳ （ Harmonic Concept Ⅳ ）	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	田中　華愛
		授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分	2年次 後期
学科・コース	プロミュージシャン科 キーボードコース					曜日・時限	木曜2限

【授業の学習内容】

卒業前には進路が決まるように、講師／ピアニスト／サポートミュージシャンなど、あらゆる現場に対応出来るよう、実践を踏まえながら進めます。
後期はアレンジ対応に応えられるように、コードネームから音の発想枠、フレーズメイクの幅を広げて行きます。
また、様々な音楽スタイルを勉強していく中で、メロディー、ハーモニー、リズムのバランス感覚を身に付け、鍵盤上でのアプローチや作編曲へ反映させます。

【到達目標】

◉講師試験または演奏者試験を受ける→初見が出来るようになる。曲を読み解く力がつく(ソルフェージュ)。学びをアウトプット出来る。対応能力(面接官、クライアントやお客様への)を身につける。
◉式場や飲食店などでの演奏に対応できるようになる→レパートリーを増やす。季節イベント用のリストを作り、ステージとして成り立たせる。緊張に負けない度胸をつける。服装のマナーを身に付ける。
作編曲においては、コードやスタイルなどのトレンドを知り自作にも反映することが出来る。曲に合った音色を作る事が出来る。
演奏でも作曲でも「セルフプロデュース」を目標とします。

授業計画・内容	
1回目	【アレンジ対応力1】講師が作ったメロディに伴奏及びウワモノを作りアレンジができる
2回目	【アレンジ対応力2】既存の曲をリハモ及びアレンジができる
3回目	【実技試験対策1】電子ピアノによる課題曲を初見で楽譜通りに、自由曲を初見でアレンジを入れながら演奏できる。実際の試験を想定して行います。※楽器店音楽教室対策
4回目	【実技試験対策2】クラシック曲の課題曲をピアノとオルガンで弾き分ける伴奏ができる。曲の途中でも曲を終わらせるコードの展開。実践形式。※挙式演奏対策
5回目	【生演奏対策1】JAZZのソロピアノ演奏ができる。課題曲「FLY ME TO THE MOON」「星に願いを」
6回目	【生演奏対策2】映画音楽、洋楽のソロピアノ演奏を自分のレパートリーで1ステージ演奏できる
7回目	【作曲】クリスマスの楽曲を作る事ができる
8回目	【作曲】クリスマス曲続き。完成した曲をSNSにアップする。
9回目	【演奏動画／レパートリー1】冬をテーマにした楽曲のレパートリーを作りアレンジした演奏ができ、動画に残す
10回目	【演奏動画／レパートリー2】クリスマスをテーマにした楽曲のレパートリーを作りアレンジした演奏ができ、動画に残す
11回目	【仕事に向けて】メールの返信の仕方
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	日々練習。いろんなメーカーの生ピアノに触る機会を。
評価方法	実技
受講生へのメッセージ	いよいよ卒業です。しっかりと自己管理と計画も立て、目標に向かって積み上げて下さい。 ピアノ演奏だけでなく、作曲募集もあります。前期と同じように実技対策等々も進めて行きます。準備をしておいて下さい。 卒業後の進路または演奏先が必ず決まっている！という状態でこの授業の最終日を一緒に迎えましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

iPad/mac

科目名 （英）	テクニックⅠ（キーボード） （　Keyboard Technique Ⅰ　）	選択 必修	必修選択	年次	1	担当教員	宗正恭平
学科・コース	プロミュージシャン科 キーボードコース	授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分 曜日・時限	1年次 前期 金曜5限

【授業の学習内容】

基礎的な楽器演奏方法、及び各楽器構造の理解、実践的なテクニックを学ぶ。
（講師プロフィール）
福岡中心にPops/Rock/Jazzなどは広いフィールドで活躍するほかにも、編曲・ミュージカルでの演奏アレンジなど活動は多岐にわたる

【到達目標】

シンセサイザーの操作方法、音作りの知識の習得

授業計画・内容	
1回目	楽器基礎知識
2回目	適切な音色の選択
3回目	レイヤー・スプリット機能
4回目	バンク作成1 (講義2,3を踏まえて)
5回目	バンク作成2 (音量調節、Mixの調整)
6回目	イコライジングについて
7回目	エフェクトの使用1
8回目	エフェクトの使用2
9回目	アナログシンセの使い方
10回目	オシレーター、フィルター、アンプ、LFO1
11回目	オシレーター、フィルター、アンプ、LFO2
12回目	前期まとめ
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	普段から楽曲を聴く際、キーボードパートが弾くであろう音色にしっかり耳を傾けておく。 授業やイベントで使うシンセサイザーの中にどのようなプリセットが入っているのか事前に把握しておく。
評価方法	13週目に行う実技テスト（60%） 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	「ピアニスト」ではなく「キーボーディスト」としての教養を身につける科目です。 ・キーボーディストはピアニストに比べて、とても人口が少ないです。つまりは「需要が高い」→「仕事に繋がりやすい」ということになります。 ・高度なプレイテクニックは無くとも、音色のみで感動を与えられるという魅力があります。 ・また近年の楽曲において、シンセサイザーは必要不可欠となってきました。どのような音色が最近の流行りなのか常に意識しておきましょう。 ・どのようなジャンルでも対応できる知識・能力を身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

iPad、課題テキスト、筆記用具

科目名 （英）	テクニックⅠ（キーボード） （ Keyboard Technique Ⅰ ）	選択 必修	必修選択	年次	1	担当教員	宗正恭平
学科・コース	プロミュージシャン科 キーボードコース	授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	1年次 後期 金曜5限

【授業の学習内容】

基礎的な楽器演奏方法、及び各楽器構造の理解、実践的なテクニックを学ぶ。
（講師プロフィール）
福岡中心にPops/Rock/Jazzなどは広いフィールドで活躍するほかにも、編曲・ミュージカルでの演奏アレンジなど活動は多岐にわたる

【到達目標】

シンセサイザーの操作方法、音作りの知識の習得

授業計画・内容	
1回目	オルガン奏法①
2回目	オルガン奏法②
3回目	オルガン奏法③
4回目	ストリングス奏法①
5回目	ストリングス奏法②
6回目	ストリングス奏法③
7回目	ピッチベンドの使い方①
8回目	ピッチベンドの使い方②
9回目	ピッチベンドの使い方③
10回目	シンセサイザー音作り総括①
11回目	シンセサイザー音作り総括②
12回目	シンセサイザー音作り総括③
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	授業で習った内容を活かし、色々な楽曲での演奏・他の授業に応用する。 授業で習った内容を継続的に復習する。
評価方法	授業へ取り組む姿勢（40%） 各授業での目標の達成度、実戦度（30%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	シンセサイザーはとても奥の深い楽器です。この授業で楽器の知識・楽しさを見出し、さらにシンセサイザーを好きになってほしいです。

【使用教科書・教材・参考書】

iPad、課題テキスト、筆記用具

科目名 （英）	テクニックⅢ(キーボード) （　Keyboard TechniqueⅢ　）	選択 必修	必修選択	年次	2	担当教員	宗正恭平
		授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分	2年次 前期
学科・コース	プロミュージシャン科・キーボードコース					曜日・時限	金曜2限

【授業の学習内容】

アンサンブル、楽曲制作で役立つシンセサイザーの操作、音作り、奏法を学ぶ。
耳コピの段階、またリハーサル中に音色へのオーダーなどが来た場合、即座に対応し、音色を作るスキルが必要となってきます。
プリセットの中から音色を探し、さらにパラメーターをいじって微調整まで出来るような知識を身につけます。
シンセサイザーの基本的な操作方法を学び、その後は音源を耳コピしながら音色を再現していきます。
（講師プロフィール）福岡中心にPops/Rock/Jazzなどは広いフィールドで活躍するほかにも、編曲・ミュージカルでの演奏アレンジなど活動は多岐にわたる

【到達目標】

シンセサイザーの操作方法を学び、音が出力されるまでのメカニズムの理解をする。
音作り（耳コピでの音の再現、アレンジ上での適切な音の調整）の方法を学び、素早く操作ができるような知識、対応力を身につける。
各音色においての適切な奏法を身につけ、演奏ができる。

授業計画・内容	
1回目	シンセサイザー(FA-07)の基本的な操作方法を知る。
2回目	パラメーターについての知識・操作方法を学ぶ①Filterの知識、Cutoff・Resonanceの理解
3回目	パラメーターについての知識・操作方法を学ぶ②Filter・AmpのEG(ADSR)の理解
4回目	シンセリードの奏法を学ぶ①ポルタメント・ピッチベンド
5回目	シンセリードの奏法を学ぶ②課題曲「Fly Me To The Moon」
6回目	音作り・バンク作成①
7回目	音作り・バンク作成②
8回目	音作り・バンク作成③
9回目	シンセサウンドの音作り・演奏①OSC・波形についての理解
10回目	シンセサウンドの音作り・演奏②
11回目	シンセサウンドの音作り・演奏③
12回目	シンセベースの音作り・奏法①
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	普段から楽曲を聴く際、キーボードパートが弾くであろう音色にしっかり耳を傾けておく。 授業やイベントで使うシンセサイザーの中にどのようなプリセットが入っているのか事前に把握しておく。
評価方法	12週目に行う実技テスト（60%） 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	「ピアニスト」ではなく「キーボーディスト」としての教養を身につける科目です。 ・キーボーディストはピアニストに比べて、とても人口が少ないです。つまりは「需要が高い」→「仕事に繋がりやすい」ということになります。 ・高度なプレイテクニックは無くとも、音色のみで感動を与えられるという魅力があります。 ・また近年の楽曲において、シンセサイザーは必要不可欠となってきました。どのような音色が最近の流行りなのか常に意識しておきましょう。 ・どのようなジャンルでも対応できる知識・能力を身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

iPad、課題テキスト、筆記用具

科目名（英）	テクニックⅣ(キーボード) （ Keyboard TechniqueⅣ ）	選択必修	必修選択	年次	2	担当教員	宗正恭平
学科・コース	プロミュージシャン科・キーボードコース	授業形態	講義/演習	総時間（単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	2年次 後期 金曜2限

【授業の学習内容】

アンサンブル、楽曲制作で役立つシンセサイザーの操作、音作り、奏法を学ぶ。
耳コピの段階、またリハーサル中に音色へのオーダーなどが来た場合、即座に対応し、音色を作るスキルが必要となってきます。
プリセットの中から音色を探し、さらにパラメーターをいじって微調整まで出来るような知識を身につけます。
シンセサイザーの基本的な操作方法を学び、その後は音源を耳コピしながら音色を再現していきます。
（講師プロフィール）福岡中心にPops/Rock/Jazzなどは広いフィールドで活躍するほかにも、編曲・ミュージカルでの演奏アレンジなど活動は多岐にわたる

【到達目標】

シンセサイザーの操作方法を学び、音が出力されるまでのメカニズムの理解をする。
音作り（耳コピでの音の再現、アレンジ上での適切な音の調整）の方法を学び、素早く操作ができるような知識、対応力を身につける。
各音色においての適切な奏法を身につけ、演奏ができる。

授業計画・内容	
1回目	シンセベースの音作り・奏法③課題曲「Man In The Mirror」
2回目	シーケンサーの使い方を学ぶ①
3回目	シーケンサーの使い方を学ぶ②
4回目	シーケンサーの使い方を学ぶ③
5回目	MIDIレコーディング①
6回目	MIDIレコーディング②
7回目	MIDIレコーディング③
8回目	MIDIレコーディング④
9回目	MIDIレコーディング⑤
10回目	MIDIレコーディング⑥
11回目	MIDIレコーディング⑦
12回目	期末テスト
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	普段から楽曲を聴く際、キーボードパートが弾くであろう音色にしっかり耳を傾けておく。 授業やイベントで使うシンセサイザーの中にどのようなプリセットが入っているのか事前に把握しておく。
評価方法	12週目に行う実技テスト（60%） 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生へのメッセージ	「ピアニスト」ではなく「キーボーディスト」としての教養を身につける科目です。 ・キーボーディストはピアニストに比べて、とても人口が少ないです。つまりは「需要が高い」→「仕事に繋がりやすい」ということになります。 ・高度なプレイテクニックは無くとも、音色のみで感動を与えられるという魅力があります。 ・また近年の楽曲において、シンセサイザーは必要不可欠となってきました。どのような音色が最近の流行りなのか常に意識しておきましょう。 ・どのようなジャンルでも対応できる知識・能力を身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

iPad、課題テキスト、筆記用具

科目名 （英）	インストアンサンブルⅠ （ Instrumennt Ensemble Ⅰ ）	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山口涼也
学科・コース	プロミュージシャン科 ギターコース	授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	1年次 前期 木曜 5限

【授業の学習内容】
ジャムセッションでよく演奏される楽曲やコードチェンジを通してジャムセッションのルールや編成に適した演奏方法を学ぶ。

【到達目標】
課題曲の中から1曲を選び、授業内でバンドを組み楽曲を演奏する。

授業計画・内容	
1回目	「Key=E 3コードのブルース(8th)」ステージマナーを養い、楽器・機材の基本的な使い方を覚える。
2回目	「Key=A 3コードのブルース(シャッフル)」カウントの出し方、曲の締め方を理解する。アンサンブルにおける音量バランスを覚える。□
3回目	「3コードのブルース(メロディあり)」基本的な楽譜の読み方を理解し、演奏する。□
4回目	「3コードのブルース(メロディ・ソロあり)」共通譜面におけるリピート記号や括弧、コーダ等の記号の意味を理解し演奏する。□
5回目	「Cissy Strut」演奏中のアイコンタクト等、コミュニケーション能力を養う。リハーサルマークの意味を理解し演奏する。□
6回目	「Cissy Strut」演奏中のアイコンタクト等、コミュニケーション能力を養う。楽曲を完成させる。□
7回目	「The Chicken」楽曲のリズムを演奏者全員が体の動きを通して共有し、Feelの合った演奏を学ぶ。□
8回目	「The Chicken」ストレートとスウィングの16beatの違いを理解し演奏する。楽曲を完成させる。□
9回目	「Sunny」楽曲における抑揚のつけかた、演奏の表現方法を学ぶ。□
10回目	「Sunny」イントロ、アウトロの作成方法を学ぶ。楽曲を完成させる。□
11回目	テスト週　これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。（リハーサル）□
12回目	テスト週　これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。（本番）□
13回目	ミュージカル演習
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	受講の前には音源、譜面を基に自信が演奏する事前練習を行う。
評価方法	授業へ取り組む姿勢（40%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（30%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにチャレンジする気持ちを大切にして、一緒に音楽を楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

音源、譜面、各自のMac、iPad（録音用、動画撮影用）、各パートの楽器

科目名 （英）	インストアンサンブルⅡ （ Instrumennt EnsembleⅡ ）	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山口涼也
学科・コース	プロミュージシャン科 ギターコース	授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （ 2 ）	開講区分 曜日・時限	1年次 前期 木曜 5限

【授業の学習内容】
ジャムセッションでよく演奏される楽曲やコードチェンジを通してジャムセッションのルールや編成に適した演奏方法を学ぶ。

【到達目標】
課題曲の中から1曲を選び、授業内でバンドを組み楽曲を演奏する。

授業計画・内容	
1回目	「Led Boots」リズムパターンのキメや変拍子を理解し演奏する。
2回目	「Led Boots」楽曲を完成させる。
3回目	「Footprints」4分の3拍子のリズムを理解し演奏する。□
4回目	「Footprints」楽曲を完成させる。□
5回目	「Billie' s Bounce」Swingのリズムを理解し演奏する。□
6回目	「Billie' s Bounce」4barsや8barsの受け渡しができるようになる。□
7回目	「Fly me to the moon」Bossa Novaのリズムを理解し演奏する。□
8回目	「Fly me to the moon」定番のイントロやエンディング、セクションの変わり目のリズムパターンを理解し演奏する。□
9回目	「Spain」Latinのリズムを理解し演奏する。□
10回目	「Spain」メンバー全員のソロ回しができるようになる。□
11回目	テスト週　これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。（リハーサル）□
12回目	テスト週　これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。（本番）□
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	受講の前には音源、譜面を基に自信が演奏する事前練習を行う。
評価方法	授業へ取り組む姿勢（40%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（30%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにチャレンジする気持ちを大切にして、一緒に音楽を楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

音源、譜面、各自のMac、iPad（録音用、動画撮影用）、各パートの楽器

科目名 （英）	インストアンサンブルⅢ （　Instrumennt EnsembleⅢ　）	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山口涼也
学科・コース	プロミュージシャン科 ギターコース	授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分	1年次 前期
						曜日・時限	木曜 5限

【授業の学習内容】
ジャムセッションでよく演奏される楽曲やコードチェンジを通してジャムセッションのルールや編成に適した演奏方法を学ぶ。バンドリーダーとしてバンドをまとめる能力を身に付ける。

【到達目標】
課題曲の中から1曲を選び、授業内でバンドを組み楽曲を演奏する。書きソロやアドリブで各パートのソロセクションを演奏する。

授業計画・内容	
1回目	「Key=E 3コードのブルース(8th)」
2回目	「Key=A 3コードのブルース(シャッフル)」□
3回目	「3コードのブルース(メロディあり)」□
4回目	「3コードのブルース(メロディ・ソロあり)」□
5回目	「Cissy Strut」□
6回目	「Cissy Strut」□
7回目	「The Chicken」□
8回目	「The Chicken」□
9回目	「Sunny」□
10回目	「Sunny」□
11回目	テスト週　これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(リハーサル)□
12回目	テスト週　これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(本番)□
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	受講の前には音源、譜面を基に自信が演奏する事前練習を行う。
評価方法	授業へ取り組む姿勢(40%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度(30%) 自己実現力と演奏力(歌唱力)の向上度(30%)
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにチャレンジする気持ちを大切にして、一緒に音楽を楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

音源、譜面、各自のMac、iPad(録音用、動画撮影用)、各パートの楽器

科目名 （英）	インストアンサンブルⅣ （　Instrumennt EnsembleⅣ　）	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	山口涼也
学科・コース	プロミュージシャン科 ギターコース	授業 形態	講義/演習	総時間 （単位）	30 （　2　）	開講区分 曜日・時限	1年次 前期 木曜 5限

【授業の学習内容】
ジャムセッションでよく演奏される楽曲やコードチェンジを通してジャムセッションのルールや編成に適した演奏方法を学ぶ。バンドリーダーとしてバンドをまとめる能力を身に付ける。

【到達目標】
課題曲の中から1曲を選び、授業内でバンドを組み楽曲を演奏する。書きソロやアドリブで各パートのソロセクションを演奏する。

授業計画・内容	
1回目	「Led Boots」リズムパターンのキメや変拍子を理解し演奏する。
2回目	「Led Boots」楽曲を完成させる。
3回目	「Footprints」4分の3拍子のリズムを理解し演奏する。
4回目	「Footprints」楽曲を完成させる。
5回目	「Billie' s Bounce」Swingのリズムを理解し演奏する。□
6回目	「Billie' s Bounce」4barsや8barsの受け渡しができるようになる。□
7回目	「Fly me to the moon」□Bosa Novaのリズムを理解し演奏する。□
8回目	「Fly me to the moon」□定番のイントロやエンディング、セクションの変わり目のリズムパターンを理解し演奏する。□
9回目	「Spain」Latinのリズムを理解し演奏する。□
10回目	「Spain」メンバー全員のソロ回しができるようになる。□
11回目	テスト週　これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。（リハーサル）□
12回目	テスト週　これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。（本番）□
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作　リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作　本番
準備学習 時間外学習	受講の前には音源、譜面を基に自信が演奏する事前練習を行う。
評価方法	授業へ取り組む姿勢（40%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（30%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにチャレンジする気持ちを大切にして、一緒に音楽を楽しみましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

音源、譜面、各自のMac、iPad（録音用、動画撮影用）、各パートの楽器